

# 令和6年度（2024年度）シラバス

## 1 科目概要

教科 <b>国語</b>	科目 <b>国語表現</b>	担当者(主) 脇本 将吾	履修年次(今年度) 3年	単位数(今年度) 3単位	
履修対象 全員必履修	前学年からの 継続履修 -	次学年での 継続履修 -			
教材(出版社)	教科書 『国語表現』(大修館書店)	副教材			
定期考査の実施 ※変更可能性あり	1学期中間 ※5月中旬あたり 有	1学期期末 ※7月上旬あたり 有	2学期中間 ※10月中旬あたり 有	2学期期末 ※12月上旬あたり 有	学年末 ※3年:1月末 他:2月中旬あたり 有
<b>科目の目標</b> 下記の(1)(2)(3)を目標とする。					
知識及び技能 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	思考力、判断力、表現力等 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	学びに向かう力、人間性等(全単元共通) (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			
<b>具体的な評価の方法</b> ・定期考査 ・プリントなどの提出物の状況 ・授業への取り組みの様子 ・発表学習への取り組みの様子 などから、総合的に評価する。					
知識・技能 定期考査を中心に評価	思考・判断・表現 授業の言語活動を中心に評価	主体的に学習に取り組む態度 取り組みの様子・提出物の状況を中心に評価			
担当者から受講上のアドバイス 「話す」「聞く」「書く」といったアウトプットを中心に行う科目です。					

## 2 年間指導計画

学習時期(予定)	学習単元	学習単元内の内容のまとめ	備考
4月～5月	1 言葉と出会う	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉と表記</li> <li>整った文を書く</li> <li>相手に応じた言葉遣い</li> <li>わかりやすい文を書く</li> <li>文のつなぎ方</li> </ul>	
6月～7月	2 伝える、伝え合う	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己紹介ゲーム</li> <li>言葉のストレッチ体操</li> <li>絵や写真を見て書く</li> <li>マイニュース記事を書こう</li> </ul>	
9月～11月	4 自己PRと面接	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分を見つめて</li> <li>効果的な自己PR</li> <li>将来の自分を考えよう</li> <li>志望理由を書こう</li> <li>面接にチャレンジ</li> </ul>	
12月～1月	5 メディアを駆使する	<ul style="list-style-type: none"> <li>通信文を書き分ける</li> <li>電話を使いこなす</li> <li>電子メールを活用しよう</li> <li>ネット社会との付き合い方</li> <li>ネットを活用した情報収集</li> <li>メディアと情報</li> </ul>	

(1) 言葉と出会う

<p><u>単元の目標</u></p> <p>知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉に興味をもち、表記や語彙に関する基本的な知識や、わかりやすい文を書くための方法を身につけること。</li> </ul>		<p>思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど、表現のしかたを工夫すること。</li> </ul>
<p><u>観点別評価規準</u></p>		
<p>知識・技能</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大切さを理解している。</li> <li>自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、語彙を豊かにしている。</li> <li>書き言葉の特徴について理解を深め、係り受けを整えたり文罰表現を統一したりすることについて理解している。</li> <li>話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解し、適切に使っている。</li> <li>語彙の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や手段に応じた適切でわかりやすい文を書く方法を理解している。</li> <li>自分の思いや考えを多彩に表現するために、接続表現の種類や働きを知り、文章の中で適切に用いている。</li> </ol>	<p>思考・判断・表現</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断して、表現のしかたを工夫している。</li> <li>「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするために、係り受けや文末表現の統一を正確に判断して、表現のしかたを工夫している。</li> <li>「書くこと」において、事象を的確に描写したり説明したりするために、相手に応じた言葉遣いを的確に使っている。</li> <li>「書くこと」において、長すぎる文やあいまいな文を避け、読点を適切に用いるなど、工夫している。</li> <li>「書くこと」において、自分が書いた文や文章が、読み手にわかりやすく伝わるかどうかを吟味し、表現全体を整えたり、読点の打ち方を工夫したりしている。</li> <li>「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように、接続表現の使い方を吟味し、文章全体を整えている。</li> </ol>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>正しい表記や語彙を豊かにすることについて積極的に取り組もうとしている。</li> <li>練習問題を解くことをとおして、文を整えて書く学習に対して積極的に取り組もうとしている。</li> <li>相手に応じた言葉を使い分けることについて、積極的に取り組もうとしている。</li> <li>練習問題を解くことで、わかりやすい文にする学習に積極的に取り組もうとしている。</li> <li>「接続表現クイズ」を解くことをとおして、文と文のつなぎ方に着目した学習に対して積極的に取り組もうとしている。</li> </ol>

<p><u>教材範囲</u></p> <p>教科書 P 12～25</p>	<p><u>内容のまとめり I</u></p> <p><b>自覚的に言葉を使うようにしよう</b></p>	<p><u>学習時期 (予定)</u></p> <p>4月～5月</p>	<p><u>配当時間</u></p> <p>18時間</p>		
<p><u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u></p>	<p><u>観点別学習評価</u></p>			<p><u>備考</u></p>	
	<p>規準</p>	<p>知・技 評価方法</p>	<p>思・判・表 評価方法</p>		<p>態度 評価方法</p>
<p>言葉と表記</p>	<p>①②</p>	<p>定期考査、言語活動の取り組み内容</p>	<p>①</p> <p>定期考査、言語活動の取り組み内容</p>	<p>①</p> <p>言語活動の取り組み状況、提出物の成果</p>	
<p>整った文を書く</p>	<p>①③</p>		<p>②</p>		
<p>相手に応じた言葉遣い</p>	<p>①④</p> <p>①⑤</p>		<p>③</p>		
<p>わかりやすい文を書く</p>	<p>①⑥</p>		<p>④⑤</p>	<p>④</p>	
<p>文のつなぎ方</p>	<p>①⑦</p>		<p>⑥</p>	<p>⑤</p>	

(2) 伝える、伝え合う

<p><u>単元の目標</u></p> <p>知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解すること。</li> <li>話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けること。</li> </ul>	<p>思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相手や目的に応じて、伝え合う内容を検討したり、表現を工夫したりすること。</li> <li>説明のしかたや5W1Hを意識して、わかりやすく正確な文章を書くこと。</li> </ul>
---	--

・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。

観点別評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、自己紹介している。 ②話し言葉や非言語的表現の特徴と役割について理解を深め、目的や場面に応じた適切な表現を理解している。 ③説明の順序や5W1H、比喻を用いた説明など、相手に伝わるように書く文章について理解を深めている。 ④実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深めている。	①「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、内容を検討している。 ②「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選び、同意や共感が得られるよう表現を工夫している。 ③「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 ④「話すこと・聞くこと」において、視点を明確にして聞きながら、共感を伝えたり相手の思いや考えを引き出したりしている。 ⑤「書くこと」において、伝えたい情報を整理し順序立てて、事象を的確に描写・説明するなど、表現のしかたを工夫している。 ⑥「書くこと」において、読み手に効果的に伝わるように書かれているかを吟味して、自分の文章の特長や課題をとらえ直している。 ⑦「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にする。	①ゲームをとおして言葉で伝え合うことを楽しみ、基礎的な対話活動に前向きに取り組もうとしている。 ②伝え合うことの楽しさを知り、積極的にコミュニケーションに取り組もうとしている。 ③絵や写真を文章で説明することに興味をもち、相手に伝わるように書く練習に意欲的に取り組もうとしている。 ④身近なテーマを見つけ、ニュース記事を書く活動に積極的に取り組もうとしている。

教材範囲 教科書P36～47	内容のまとめり I 話したり書いたりして伝え合う練習をしよう	学習時期(予定) 6月～7月	配当時間 18時間
-------------------	-----------------------------------	-------------------	--------------

学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価				備考	
	規準	知・技 評価方法	規準	思・判・表 評価方法		規準
自己紹介ゲーム	①	定期考	①②	定期考	①	言語活動
言葉のストレッチ体操	②	査、言語	③④	査、言語	②	の取り組
絵や写真を見て書く	③	活動の取	⑤⑥	活動の取	③	み状況、
マイニュース記事を書こう	④	り組み内 容	⑦	り組み内 容	④	提出物の 成果

(3) **自己PRと面接**

単元の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けること。 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	・目的や場に応じて、自分を効果的にアピールしたり、相手の共感をえられるように表現を工夫したりすること。

観点別評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①言葉には、自己と他者の相互理解	①「話すこと・聞くこと」において、	①自分のこれまでの人生を振り返

<p>を深める働きがあることを理解している。</p> <p>②話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解して使っている。</p>	<p>目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。</p> <p>②「話すこと・聞くこと」において、自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫している。</p> <p>③「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の職業や自分に関わる事柄の中から適切な題材を集め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>④「書くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報をもとに的確に説明するなど、表現の方法を工夫している。</p> <p>⑤「書くこと」において、目的や意図に応じて、志望先と自分に関わる事柄の中から適切な題材を集め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>⑥「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。</p> <p>⑦「話すこと・聞くこと」において、面接の場で自分のことを伝えたり、それらを聞いて批評したりしている。</p>	<p>ってまとめる活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>②効果的な自己PRをすることに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>③自分の将来を考えたり職業について調べてまとめたりする活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>④情報を調べて集め、説得力のある志望理由を書くことに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。</p> <p>⑤面接の留意点や面接での言葉遣いについて興味をもち、意欲的に自己評価や相互評価まで取り組もうとしている。</p>
---	---	--

<p>教材範囲 教科書P94～113</p>	<p>内容のまとめりⅠ 「自分」を的確に他者にアピールする力を身につけよう</p>	<p>学習時期(予定) 9月～11月</p>	<p>配当時間 28時間</p>
----------------------------	---	----------------------------	----------------------

学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価					備考
	知・技		思・判・表		態度	
	規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法
自分を見つめて	①	定期考	①	定期考	①	言語活動
効果的な自己PR	①	査、言語	①②	査、言語	②	の取り組み
将来の自分を考えよう	①	活動の取	③④	活動の取	③	み状況、
志望理由を書こう	①	り組み内	④⑤	り組み内	④	提出物の
面接にチャレンジ	②	容	⑥⑦	容	⑤	成果

(4) **メディアを駆使する**

<p>単元の目標</p>		
<p>知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けること。</li> <li>実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深めること。</li> </ul>	<p>思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまなメディアの特徴を知り、目的や意図に応じて適切な情報を収集・整理し、効果的に伝え合うこと。</li> </ul>	
<p>観点別評価規準</p>		
<p>知識・技能</p> <p>①書き言葉の特徴や役割、表現の特色、通信文ごとの形式の違いについて理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分</p>	<p>思考・判断・表現</p> <p>①「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど、表現のしかたを工夫している。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>①さまざまな通信文の使い分けや、手紙の書き方に興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。</p> <p>②電話での効果的なやりとりのし</p>

- けている。
- ②話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。
  - ③伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。
  - ④言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。
  - ⑤さまざまなメディアの種類や特徴、メディアリテラシーをもとにした情報との向き合い方について理解を深めている。

- ②「書くこと」において、紹介、連絡、依頼などの実務的な手紙や電子メールを書いている。
- ③「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選んだり、電話におけるマナーを意識したりやりとりを工夫したりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。
- ④「書くこと」において、電子メールの特徴を理解し、注意点や適切な表現のしかたを意識して電子メールを送っている。
- ⑤「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、ネット社会との付き合い方に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。
- ⑥「話すこと・聞くこと」において、共感を伝えたり、相手の思いや考えを引き出したりする工夫をして、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
- ⑦「書くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報をもとに的確に説明するなど、表現のしかたを工夫している。
- ⑧「書くこと」において、メディアとの付き合い方を題材に設定して多様な資料を集め、調べたことを整理したり話し合ったりして、自分や集団の意見をまとめている。

- かたに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。
- ③議論やワークシートへの書き込み、課題の提出を通して、電子メールの特徴や活用法について理解しようとしている。
  - ④ネット社会との付き合い方について興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。
  - ⑤インターネットでの情報検索のしかたやその留意点に興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。
  - ⑥さまざまなメディアの特徴とそれから得られる情報について興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。

<u>教材範囲</u> 教科書P127～150	<u>内容のまとめり I</u> <b>さまざまなメディアの特性を知り、使いこなそう</b>	<u>学習時期（予定）</u> 12月～1月	<u>配当時間</u> 16時間
----------------------------	---	---------------------------	---------------------

<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>	<u>観点別学習評価</u>						<u>備考</u>
	<u>知・技</u>		<u>思・判・表</u>		<u>態度</u>		
	<u>規準</u>	<u>評価方法</u>	<u>規準</u>	<u>評価方法</u>	<u>規準</u>	<u>評価方法</u>	
通信文を書き分ける	①	定期考	①②	定期考	①	言語活動	
電話を使いこなす	②	査、言語	③	査、言語	②	の取り組	
電子メールを活用しよう	③	活動の取	④	活動の取	③	み状況、	
ネット社会との付き合い方	④	り組み内	⑤	り組み内	④	提出物の	
ネットを活用した情報収集	④	容	⑥⑦	容	⑤	成果	
メディアと情報	⑤		⑧		⑥		

# 令和6年度（2024年度）シラバス

## 1 科目概要

教科 <b>地理歴史</b>	科目 <b>地理総合</b>	担当者（主） 甲斐田 真妃	履修年次（今年度） 3年	単位数（今年度） 3単位	
履修対象 全員必履修	前学年からの 継続履修 -	次学年での 継続履修 -			
教材（出版社）	教科書 地理総合（東京書籍）	副教材 標準高等地図（帝国書院）			
定期考査の実施 ※ 変更可能性あり	1学期中間 ※ 5月中旬あたり 有	1学期期末 ※ 7月上旬あたり 有	2学期中間 ※ 10月中旬あたり 有	2学期期末 ※ 12月上旬あたり 有	学年末 ※ 3年：1月末 他：2月中旬あたり 有
<b>科目の目標</b> 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。					
<b>知識及び技能</b> 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。		<b>思考力、判断力、表現力等</b> 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。		<b>学びに向かう力、人間性等（全単元共通）</b> 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。	
<b>具体的な評価の方法</b> 定期考査や授業で使用するプリント、授業での活動（レポート、プレゼン作成、発表、協議等）を評価します。					
<b>知識・技能</b> ・定期考査 ・小テスト ・ワークシート等		<b>思考・判断・表現</b> ・定期考査 ・レポート ・ワークシート ・授業の活動（プレゼン作成等）		<b>主体的に学習に取り組む態度</b> ・レポート ・ワークシート ・授業の活動（プレゼン作成等） ・自己評価、振り返り	
<b>担当者から受講上のアドバイス</b> 評価は自分自身の学習の過程や成果を確認するためになされるものです。このことをしっかり確認し、不十分な点があればその後の学習につなげるようにしましょう。そのためにも、返却されたテストやレポート、自己評価などの見直しを徹底しましょう。					

## 2 年間指導計画

学習時期（予定）	学習単元	学習単元内の内容のまとめ	備考
4月	第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界	第1章 私たちが暮らす世界	
5月		第2章 地図や地理情報システムの役割	
6月		第3章 資料から読み取る現代世界	
	第3編 持続可能な地域づくりと私たち	第1章 自然環境と防災	
7月～10月	第2編 国際理解と国際協力	第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境	
11月～1月		第2章 さまざまな地域的課題と国際協力	

(1) 単元：地図や地理情報システムでとらえる現代世界

<p><u>単元の目標</u></p> <p>知識及び技能</p> <p>①現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解すること。                  ②日常生活の中で見られる様々な地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解すること。                  ③現代世界の様々な地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けること。</p>		<p>思考力、判断力、表現力等</p> <p>①現代世界の地域構成について、位置や方位などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現すること。                  ②地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p>	
<p><u>観点別評価規準</u></p>			
<p>知識・技能</p> <p>①世界地図や地球儀での表現方法並びに日本の位置や領域についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。                  ②地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。                  ③地図についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。                  ④地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。                  ⑤交通・通信技術の発展と・交通・通信技術の発展と国境をこえたさまざまな結び付きについて、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。                  ⑥交通・通信手段や貿易構造の変化、世界の国家群の特徴などについて、地図や図表の読み取りを通じて理解を深めている。                  ⑦交通・通信の利用・整備の状況や国境をこえた人・モノ・情報の移動、世界の国家群などについて、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p>		<p>思考・判断・表現</p> <p>①地球上の位置に関する事柄について、緯度・経度や世界地図・地球儀や領域の特徴をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。                  ②さまざまな地図について、縮尺・媒体・用途などに着目し、適切に整理している。                  ③さまざまな統計数値を、適切な主題図で表現している。                  ④GIS を操作し、計測結果や主題図を表示している。                  ⑤交通・情報通信が国境をこえて結び付き、その結び付きがますます強固になっていることについて、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。                  ⑥貿易や観光などにみられる国境をこえたモノや人の動きについて、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。                  ⑦グローバル化の加速によって形成された地域経済圏や国家群について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p>	
<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>①地球上の位置に関する事柄に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。                  ②紙の地図やGISに対する関心を高め、閲覧や作業を通して、それらの特徴をとらえようとしている。                  ③交通・通信の発達による社会の変化と、それとともに起こるようになった諸問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。                  ④グローバル化の進む現代世界において、政治的・経済的な国家間の結び付きが強まっていることに対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p>			

<p><u>教材範囲</u></p> <p>P. 5～18</p>	<p><u>内容のまとめり I</u></p> <p><b>私たちが暮らす世界</b></p>	<p><u>学習時期 (予定)</u></p> <p>4 月</p>	<p><u>配当時間</u></p> <p>6 時間</p>																				
<p><u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u></p> <p>24時間、地球は眠らない 丸い地球を、平らな紙に正しく描けるだろうか。 小さな島が、大きな意味をもつのはなぜ？</p>	<p><u>観点別学習評価</u></p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">知・技</th> <th colspan="2">思・判・表</th> <th colspan="2">態度</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>規準</th> <th>評価方法</th> <th>規準</th> <th>評価方法</th> <th>規準</th> <th>評価方法</th> </tr> <tr> <td>①②</td> <td>・定期テスト ・プリン</td> <td>①</td> <td>・定期テスト ・プリン</td> <td>①</td> <td>・プリン ・授業の活動</td> <td></td> </tr> </table>	知・技		思・判・表		態度		備考	規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法	①②	・定期テスト ・プリン	①	・定期テスト ・プリン	①	・プリン ・授業の活動			
知・技		思・判・表		態度		備考																	
規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法																		
①②	・定期テスト ・プリン	①	・定期テスト ・プリン	①	・プリン ・授業の活動																		
<p><u>教材範囲</u></p> <p>P. 19～36</p>	<p><u>内容のまとめり II</u></p> <p><b>地図や地理情報システムの役割</b></p>	<p><u>学習時期 (予定)</u></p> <p>5 月</p>	<p><u>配当時間</u></p> <p>8 時間</p>																				
<p><u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u></p>	<p><u>観点別学習評価</u></p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">知・技</th> <th colspan="2">思・判・表</th> <th colspan="2">態度</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>規準</th> <th>評価方法</th> <th>規準</th> <th>評価方法</th> <th>規準</th> <th>評価方法</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	知・技		思・判・表		態度		備考	規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法									
知・技		思・判・表		態度		備考																	
規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法																		

地図を使わない人は、ほとんどいない	③④	・定期テスト	②	・定期テスト	②	・プリント
地形や土地利用の歴史がひと目でわかる	③④	・プリント	②	・プリント	②	・授業の活動
このテーマ、どんな地図で表すべきか	③④		③	・授業の活動	②	
地図の可能性は、まだまだ広がる	③④		④		②	

教材範囲 P. 37～54	内容のまとめ III <b>資料から読み取る現代世界</b>	学習時期 (予定) 6月	配当時間 10時間
------------------	-----------------------------------	-----------------	--------------

学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価						備考
	知・技		思・判・表		態度		
	規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法	
地球は、どんどん小さくなっている	⑤⑥ ⑦	・定期テスト		・定期テスト		・プリント	
世界中が、ネットでつながりはしたけれど		・プリント		・プリント		・授業の活動	
仕事に、旅行に。人々は外国をめざす				・授業の活動			
国同士の貿易は、どう変化しているのか							
国どうしの結び付き、世界どこに向かう？							

(2) **単元：国際理解と国際協力①**

単元の目標			
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		
<p>①世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解すること。</p> <p>②世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解すること。</p> <p>③世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食糧問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解すること。</p> <p>④世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食糧問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることなどについて理解すること。</p>	<p>①世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>②世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食糧問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p>		
観点別評価規準			
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
<p>①世界にみられる多様な文化について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>②さまざまな産業とそれらの分布について基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>③地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p>	<p>①文化の違いがなぜ生じるかということについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>②世界各地で多様な地形や気候・植生がみられることについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>③さまざまな産業の特徴や産業立地、それらの変化について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>④地域の文化や人々の暮らし、産業の違いを、それぞれの地域の自然環境との関連に着目しながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p>	<p>①文化の多様性と異なる文化の理解や共存に関して関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p> <p>②さまざまな自然環境に対応した人々の生活や産業の工夫について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p> <p>③技術の発展やグローバル化などによってどのように産業が発展・変容してきたかについて、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p>	
教材範囲	内容のまとめ I	学習時期 (予定)	配当時間

学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価						備考
	知・技		思・判・表		態度		
	規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法	
生活文化の多様性と国際理解	①②	・定期テスト ・プリント	①④	・定期テスト ・プリント ・授業の活動	①②	・プリント ・授業の活動	
生活文化と自然環境①地形	③		②④				
生活文化と自然環境②気候			②④				
生活文化と産業			③④				

(2) 単元：国際理解と国際協力②

単元の目標		
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	
<p>①世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解すること。</p> <p>②世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解すること。</p> <p>③世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食糧問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解すること。</p> <p>④世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食糧問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることなどについて理解すること。</p>	<p>①世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>②世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食糧問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p>	
観点別評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①さまざまな要因がからむ地球的な課題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>②地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。</p>	<p>①地球的な課題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p>	<p>①各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる地球的な課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p>

教材範囲

P. 121～168

内容のまとめり I

さまざまな地球的課題と国際協力

学習時期（予定）

11月～1月

配当時間

22時間

学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価						備考
	知・技		思・判・表		態度		
	規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法	
地球環境問題	①②	・定期テスト ・プリント	①	・定期テスト ・プリント ・授業の活動	①	・プリント ・授業の活動	
資源・エネルギー問題							
人口問題							
食料問題							
居住・都市問題							
民族問題							
持続可能な社会の実現をめざして							

(3) **単元：持続可能な地域づくりと私たち**

<p><u>単元の目標</u></p> <p style="text-align: center;">知識及び技能</p> <p>①我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解すること。                  ②様々な自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けること。                  ③生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取組や探究する手法などについて理解すること。</p>		<p style="text-align: center;">思考力、判断力、表現力等</p> <p>①地域制を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現すること。                  ②生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取組などを多面的・多角的に考察、構想し、表現すること。</p>	
<p><u>観点別評価規準</u></p>			
<p style="text-align: center;">知識・技能</p> <p>①変化に富んだ日本列島の自然環境、大きな被害をもたらす自然災害について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。                  ②多発している日本列島の自然災害とその克服について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。                  ③地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。                  ④地域調査の手順や注意すべきことを理解している。                  ⑤地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。</p>		<p style="text-align: center;">思考・判断・表現</p> <p>①日本列島の地形や気候と自然災害について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。                  ②日本列島のさまざまな自然災害と防災対策について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。                  ③身近な地域の特徴を、設定したテーマに沿ってとらえ、明らかにしたことを適切に表現している。</p>	
		<p style="text-align: center;">主体的に学習に取り組む態度</p> <p>①日本列島の豊かな自然環境と近年増大している自然災害に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。                  ②深刻な日本列島の自然災害と防災に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。                  ③身近な地域の特徴を明らかにするために、意欲的に地域調査に取り組もうとしている。</p>	

<p><u>教材範囲</u></p> <p>P. 173～202</p>		<p><u>内容のまとめり I</u></p> <p style="text-align: center;">自然環境と防災</p>		<p><u>学習時期 (予定)</u></p> <p>6月～7月</p>		<p><u>配当時間</u></p> <p>9 時間</p>	
<p><u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u></p>		<p><u>観点別学習評価</u></p>				<p><u>備考</u></p>	
<p>日本の自然環境の特色</p>		<p>規準</p> <p>①② ③</p>	<p>知・技</p> <p>評価方法</p> <p>・定期テスト ・プリント</p>	<p>規準</p> <p>①②</p>	<p>思・判・表</p> <p>評価方法</p> <p>・定期テスト ・プリント ・授業の活動</p>	<p>規準</p> <p>①②</p>	<p>態度</p> <p>評価方法</p> <p>・プリント ・授業の活動</p>
<p>さまざまな自然災害と防災</p>							
<p><u>教材範囲</u></p> <p>P. 203～210</p>		<p><u>内容のまとめり II</u></p> <p style="text-align: center;">生活圏の調査と地域の展望</p>		<p><u>学習時期 (予定)</u></p> <p>1月</p>		<p><u>配当時間</u></p> <p>4 時間</p>	
<p><u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u></p>		<p><u>観点別学習評価</u></p>				<p><u>備考</u></p>	
<p>地域調査</p>		<p>規準</p> <p>④⑤</p>	<p>知・技</p> <p>評価方法</p> <p>活動</p>	<p>規準</p> <p>③</p>	<p>思・判・表</p> <p>評価方法</p> <p>活動</p>	<p>規準</p> <p>③</p>	<p>態度</p> <p>評価方法</p> <p>活動</p>

# 令和6年度（2024年度）シラバス

## 1 科目概要

教科 <b>公民</b>	科目 <b>政治・経済</b>	担当者（主） 甲斐田 真妃	履修年次（今年度） 3年	単位数（今年度） 3単位
履修対象 選択履修	前学年からの 継続履修 -	次学年での 継続履修 -		
教材（出版社）	教科書 政治・経済（東京書籍）	副教材		
定期考査の実施 ※ 変更可能性あり	1学期中間 ※5月中旬あたり -	1学期期末 ※7月上旬あたり 有	2学期中間 ※10月中旬あたり -	2学期期末 ※12月上旬あたり 有
<b>科目の目標</b> 社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
知識及び技能 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	思考力、判断力、表現力等 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。	学びに向かう力、人間性等（全単元共通） よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。		
<b>具体的な評価の方法</b> 定期考査や授業で使用するプリント、授業での活動（レポート、協議、発表等）を評価します。				
知識・技能 ・定期考査 ・小テスト ・ワークシート等	思考・判断・表現 ・定期考査 ・レポート ・ワークシート ・授業の活動	主体的に学習に取り組む態度 ・レポート ・ワークシート ・授業の活動 ・自己評価、振り返り		
<b>担当者から受講上のアドバイス</b> 日ごろからメディアで報道される時事的な課題に関心を持ち、調べたり論点を見いだしたりすることに努めましょう。客観的な資料にもとづいて、諸課題を考察し、解決のあり方を模索する態度を身につけましょう。				

## 2 年間指導計画

学習時期（予定）	学習単元	学習単元内の内容のまとめ	備考
4月～7月	現代日本の政治と経済	現代日本の政治	
7月～9月		現代日本の経済	
9月		現代日本の諸課題	
10月～11月	グローバル化する国際社会	現代の国際政治	
11月～12月		現代の国際経済	
1月		国際社会の諸課題	

(1) 単元：現代日本における政治と経済

<p><u>単元の目標</u></p> <p>知識及び技能</p> <p>①政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解を深めること。                  ②経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めること。                  ③現代日本の政治・経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けること。</p>		<p>思考力、判断力、表現力等</p> <p>①民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現すること。                  ②政党政治や選挙などの観点から、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現すること。                  ③経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察し、表現すること。                  ④市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察、構想し、表現すること。</p>	
<p><u>観点別評価規準</u></p> <p>知識・技能</p> <p>①政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。                  ②現代日本の政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。                  ③経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民所得と経済成長、物価と景気変動、財政のしくみと役割および租税などの意義、金融のしくみと機能について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。                  ④現代日本の経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。                  ⑤現代日本における政治・経済の諸課題に関する諸資料について、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。</p>		<p>思考・判断・表現</p> <p>①個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、日本国憲法と現代政治のあり方との関連および望ましい政治のあり方ならびに主権者としての政治参加のあり方について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。                  ②経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民所得と経済成長、物価と景気変動、財政のしくみと役割および租税などの意義、金融のしくみと機能について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。                  ③現代日本の経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。                  ④少子高齢社会における社会保障、地域社会の活性化、多様な働き方・生き方の実現、中小企業の意義と課題、日本財政の健全化、持続可能な食料・農業の実現、防災と安全・安心な社会の実現などについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p>	
<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>①現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。                  ②現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。                  ③現代日本における政治・経済の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし、合意形成や社会参画に向かおうとしている。</p>			

<p><u>教材範囲</u></p> <p>P. 4～78</p>	<p><u>内容のまとめ</u> I</p> <p><b>現代日本の政治</b></p>	<p><u>学習時期(予定)</u></p> <p>4月～7月</p>	<p><u>配当時間</u></p> <p>23時間</p>																				
<p><u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u></p> <p>民主政治の基本原則                  日本国憲法の基本原則                  日本の政治機構                  現代政治の特質と課題</p>	<p><u>観点別学習評価</u></p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">知・技</th> <th colspan="2">思・判・表</th> <th colspan="2">態度</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>規準</th> <th>評価方法</th> <th>規準</th> <th>評価方法</th> <th>規準</th> <th>評価方法</th> </tr> <tr> <td>①②</td> <td>・定期考査 ・プリント</td> <td>①</td> <td>・定期考査 ・プリント ・授業の活動</td> <td>①</td> <td>・プリント ・授業の活動</td> <td></td> </tr> </table>	知・技		思・判・表		態度		備考	規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法	①②	・定期考査 ・プリント	①	・定期考査 ・プリント ・授業の活動	①	・プリント ・授業の活動			
知・技		思・判・表		態度		備考																	
規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法																		
①②	・定期考査 ・プリント	①	・定期考査 ・プリント ・授業の活動	①	・プリント ・授業の活動																		
<p><u>教材範囲</u></p> <p>P. 80～153</p>	<p><u>内容のまとめ</u> II</p> <p><b>現代日本の経済</b></p>	<p><u>学習時期(予定)</u></p> <p>7月～9月</p>	<p><u>配当時間</u></p> <p>23時間</p>																				
<p><u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u></p>	<p><u>観点別学習評価</u></p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">知・技</th> <th colspan="2">思・判・表</th> <th colspan="2">態度</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>規準</th> <th>評価方法</th> <th>規準</th> <th>評価方法</th> <th>規準</th> <th>評価方法</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	知・技		思・判・表		態度		備考	規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法									
知・技		思・判・表		態度		備考																	
規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法																		

現代の資本主義経済 現代経済のしくみ 日本経済の発展と現状 福祉社会と日本経済の課題	③④ ・定期考 査 ・プリン ト	② ・定期考 査 ・プリン ト ・授業の 活動	② ・プリン ト ・授業の 活動	
教材範囲 P. 156～160	内容のまとめ III <b>現代日本の諸課題</b>		学習時期 (予定) 9月	配当時間 3 時間
学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価			備考
	知・技	思・判・表	態度	
諸課題	規準 ⑤ 評価方法 ・プリン ト ・授業の 活動	規準 ③ 評価方法 ・定期考 査 ・プリン ト ・授業の 活動	規準 ③ 評価方法 ・プリン ト ・授業の 活動	

(2) 単元：グローバル化する国際社会の諸課題

単元の目標				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		
<p>①国際社会の変遷、人権、国家主権、領土（領海、領空を含む。）などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深めること。</p> <p>②貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解を深めること。</p> <p>③現代の国際政治・経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けること。</p>		<p>①国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>②国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現すること。</p> <p>③相互依存関係が深まる国際経済の特質について多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>④国際経済において果たすことが求められる日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現すること。</p>		
観点別評価規準				
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
<p>①国際社会の変遷、国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、軍縮と紛争防止、日本の国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。</p> <p>②現代の国際政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。</p> <p>③貿易の現状と意義、為替レートの変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。</p> <p>④現代の国際経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。</p> <p>⑤国際社会における政治・経済の諸課題に関する諸資料について、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。</p>	<p>①個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、国際法の果たす役割および国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>②個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、相互依存関係が深まる国際経済の特質および国際経済において果たすことが求められる日本の役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>③グローバル化にともなう社会変容、地球環境と資源・エネルギー問題、国際的な経済格差の是正、イノベーションの促進と成長市場、民族問題と紛争の解決、持続可能な社会の実現などについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p>	<p>①現代の国際政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p> <p>②現代の国際経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p> <p>④グローバル化にともなう社会変容、地球環境と資源・エネルギー問題、国際的な経済格差の是正、イノベーションの促進と成長市場、民族問題と紛争の解決、持続可能な社会の実現などについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p>		
教材範囲 P. 172～203	内容のまとめ I <b>現代の国際政治</b>		学習時期 (予定) 10月～11月	配当時間 9 時間

学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価						備考
	規準	知・技 評価方法	規準	思・判・表 評価方法	規準	態度 評価方法	
国際政治のしくみ 複雑化する国際政治と日本	①②	・プリント ・授業の活動	①	・定期考 査 ・プリン ト ・授業の 活動	①	・プリン ト ・授業の 活動	

教材範囲 P. 204～235	内容のまとめり II <b>現代の国際経済</b>	学習時期(予定) 11月～12月	配当時間 9時間
--------------------	------------------------------	---------------------	-------------

学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価						備考
	規準	知・技 評価方法	規準	思・判・表 評価方法	規準	態度 評価方法	
国民経済と国際経済 世界経済の現状と課題	③④	・プリント ・授業の活動	②	・定期考 査 ・プリン ト ・授業の 活動	②	・プリン ト ・授業の 活動	

教材範囲 P. 236～248	内容のまとめり III <b>国際社会の諸課題</b>	学習時期(予定) 1月	配当時間 3時間
--------------------	--------------------------------	----------------	-------------

学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価						備考
	規準	知・技 評価方法	規準	思・判・表 評価方法	規準	態度 評価方法	
諸課題	⑤	・プリント ・授業の活動	③	・定期考 査 ・プリン ト ・授業の 活動	③	・プリン ト ・授業の 活動	

## 令和6年度（2024年度）シラバス

## 1 科目概要

教科	科目	担当者	履修年次（今年度）	単位数（今年度）	
数 学	数 学 A	平山 光一	3 年	2 単位	
履修対象	前学年からの 継続履修	次学年での 継続履修			
	全員必修	-	-	-	
教材（出版社）	教科書 新 高校の数学 A（数研出版） 副教材 新 高校の数学 A 対応 ポイントノート数学 A（数研出版）				
定期考査の実施 ※ 変更可能性あり	1 学期中間 ※ 5 月中旬あたり	1 学期期末 ※ 7 月上旬あたり	2 学期中間 ※ 10 月中旬あたり	2 学期期末 ※ 12 月上旬あたり	学年末 ※ 3 年：1 月末 他：2 月中旬あたり
	有	有	有	有	有
<b>科目の目標</b> 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。					
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等（全単元共通）			
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間との関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。			
<b>具体的な評価の方法</b> 3つの観点について、それぞれ次に示す方法で評価する。					
知識、技能	思考、判断、表現	主体的に学習に取り組む態度			
・定期考査および授業中の小テスト ・学期末の計算テスト	・定期考査および授業中の小テスト	・授業中の学習態度や積極性 ・提出物の提出状況やアンケートへの回答状況 ・小テストの受査状況 ・学習教材や成果物の管理状況 ・学習内容等の振り返り状況			
<b>担当者から履修上のアドバイス</b> 1 授業には、「教科書」「『数学 I』専用ノート」「ポイントノート」「タブレット端末」「筆記用具」が必要です。 2 授業中に指名された際、発言や板書等の正誤は、一切評価の対象になりません。積極性重視です。 3 教科書には、中学校数学の振り返りの内容が多く収録されています。自分1人の学習でも取り組みやすいものですので、しっかり勉強し、わからないところは遠慮なく担当者に質問しましょう。予習は必要ありません。 4 ポイントノートには直接書き込みで解き、必ず○つけや解き直しまで済ませて提出しましょう。高評価のためのポイントは、正答の数ではなく、自分の数学力向上のために取り組もうとしたり、解けなかった問題を解けるようになるろうとする姿勢がみられるかです。評価の程度は生徒本人に通知しません。解き終わった問題の解き直しを希望する場合は、担当者のポイントノートのコピーを差し上げるので、いつでも申し出てください。 5 提出できない状態だったり、無断で提出期限を過ぎた提出物は一切受け付けません。また、提出物への取り組み状況に不誠実さが見受けられた場合（例えば、解けない問題の解答を黒で写して赤で○をつけ、自力で解けたかのようにみせた）、未提出とみなすことがあります。そのことは生徒本人に通知しません。					

## 2 年間指導計画

学習時期（予定）	学習単元	学習単元内の内容のまとめ	備考
年度当初～1 学期末	第 1 章 場合の数と確率	第 1 節 順列・組合せ 第 2 節 確率	
9 月上旬～2 学期末	第 2 章 図形の性質	第 1 節 平面図形 第 2 節 空間図形	
1 月上旬～年度末	第 3 章 整数の性質	整数の性質	

(1) 単元：第1章 場合の数と確率

<p><u>単元の目標</u></p> <table border="1"> <tr> <td> <p>知識及び技能</p> <p>・場合の数や確率を求めるときの基本的な考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。</p> </td> <td> <p>思考力、判断力、表現力等</p> <p>・場合の数や確率の意味およびそれらを求めるときの基本的な法則や考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。</p> </td> </tr> </table>		<p>知識及び技能</p> <p>・場合の数や確率を求めるときの基本的な考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。</p>	<p>思考力、判断力、表現力等</p> <p>・場合の数や確率の意味およびそれらを求めるときの基本的な法則や考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。</p>		
<p>知識及び技能</p> <p>・場合の数や確率を求めるときの基本的な考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。</p>	<p>思考力、判断力、表現力等</p> <p>・場合の数や確率の意味およびそれらを求めるときの基本的な法則や考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。</p>				
<p><u>観点別評価規準</u></p> <table border="1"> <tr> <td> <p>知識、技能</p> <p>①共通部分、和集合、空集合、全体集合、補集合など集合に関する用語を理解し、それらを求めることができる。</p> <p>②集合の要素の個数を、数え上げることで求めることができる。</p> <p>③補集合や和集合の要素の個数の公式を理解し、それらを用いて要素の個数を求めることができる。</p> <p>④樹形図を用いたり順序だてて並べたりすることで、場合の数をもれなく重複なく数えることができる。</p> <p>⑤和の法則や積の法則の利用場面を理解し、事象に応じて使い分けて場合の数を求めることができる。</p> <p>⑥順列の意味を理解し、公式を利用することができる。</p> <p>⑦簡単な場合の数を、順列の考えを利用して求めることができる。</p> <p>⑧すべてを取った順列の総数から得られる階乗とその記号を理解し、それを活用できる。</p> <p>⑨組合せの意味を理解し、公式を利用することができる。</p> <p>⑩簡単な場合の数を、組合せの考えを利用して求めることができる。</p> <p>⑪組合せの性質を理解し、公式を利用することができる。</p> <p>⑫様々な場合の数を、組合せの考えを利用して求めることができる。</p> <p>⑬確率の定義を理解し、簡単な確率を求めることができる。</p> <p>⑭表や組合せの考えを活用して、確率を求めることができる。</p> <p>⑮排反事象の意味を理解し、確率を求めることができる。</p> <p>⑯余事象の意味を理解し、確率を求めることができる。</p> <p>⑰試行が独立か、独立でないかを判断することができる。</p> <p>⑱独立な試行の確率を、公式を用いて求めることができる。</p> <p>⑲反復試行の確率を、公式を用いて求めることができる。</p> <p>⑳条件つき確率の定義を理解し、確率を求めることができる。</p> <p>㉑期待値について理解し、いろいろな場合の期待値を求めることができる。</p> </td> <td> <p>思考、判断、表現</p> <p>①条件を満たすものを集合の要素として考え、表すことができる。</p> <p>②ものを数え上げるのに集合を利用して考察することができる。</p> <p>③ベン図を利用して集合を図示することで、補集合や和集合の要素の個数を考察することができる。</p> <p>④和の法則を、表を利用することで、また積の法則を、樹形図の特別な場合として考察することで見いだすことができる。</p> <p>⑤となりあう場合の順列のような、特殊な条件が付く順列を、見方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができる。</p> <p>⑥既知の順列や積の法則をもとにして、円順列、重複順列を考察することができる。</p> <p>⑦組合せの総数と順列の総数の関係を理解し、順列の総数をもとにして、組合せの総数を考察することができる。</p> <p>⑧試行の結果を事象としてとらえ、事象を集合と結びつけて考察することができる。</p> <p>⑨ものごとの起こりやすさを、同様に確からしいという概念をもとに数量的に考察することができる。</p> <p>⑩独立な試行の確率を、具体的な例から直観的に考えることができる。</p> <p>⑪反復試行の意味を理解し、確率の求め方を組合せの考えと関連付けて考察することができる。</p> <p>⑫確率の乗法定理を利用することで、くじを引くときの順番には当たる確率は関係がないことを理解し、説明することができる。</p> <p>⑬期待値を、確率の考えに基づいて考察することができる。</p> </td> <td> <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>※提出物の提出状況やアンケートへの回答状況、学習内容等の振り返り状況等により、日常的に評価する。</p> </td> </tr> </table>		<p>知識、技能</p> <p>①共通部分、和集合、空集合、全体集合、補集合など集合に関する用語を理解し、それらを求めることができる。</p> <p>②集合の要素の個数を、数え上げることで求めることができる。</p> <p>③補集合や和集合の要素の個数の公式を理解し、それらを用いて要素の個数を求めることができる。</p> <p>④樹形図を用いたり順序だてて並べたりすることで、場合の数をもれなく重複なく数えることができる。</p> <p>⑤和の法則や積の法則の利用場面を理解し、事象に応じて使い分けて場合の数を求めることができる。</p> <p>⑥順列の意味を理解し、公式を利用することができる。</p> <p>⑦簡単な場合の数を、順列の考えを利用して求めることができる。</p> <p>⑧すべてを取った順列の総数から得られる階乗とその記号を理解し、それを活用できる。</p> <p>⑨組合せの意味を理解し、公式を利用することができる。</p> <p>⑩簡単な場合の数を、組合せの考えを利用して求めることができる。</p> <p>⑪組合せの性質を理解し、公式を利用することができる。</p> <p>⑫様々な場合の数を、組合せの考えを利用して求めることができる。</p> <p>⑬確率の定義を理解し、簡単な確率を求めることができる。</p> <p>⑭表や組合せの考えを活用して、確率を求めることができる。</p> <p>⑮排反事象の意味を理解し、確率を求めることができる。</p> <p>⑯余事象の意味を理解し、確率を求めることができる。</p> <p>⑰試行が独立か、独立でないかを判断することができる。</p> <p>⑱独立な試行の確率を、公式を用いて求めることができる。</p> <p>⑲反復試行の確率を、公式を用いて求めることができる。</p> <p>⑳条件つき確率の定義を理解し、確率を求めることができる。</p> <p>㉑期待値について理解し、いろいろな場合の期待値を求めることができる。</p>	<p>思考、判断、表現</p> <p>①条件を満たすものを集合の要素として考え、表すことができる。</p> <p>②ものを数え上げるのに集合を利用して考察することができる。</p> <p>③ベン図を利用して集合を図示することで、補集合や和集合の要素の個数を考察することができる。</p> <p>④和の法則を、表を利用することで、また積の法則を、樹形図の特別な場合として考察することで見いだすことができる。</p> <p>⑤となりあう場合の順列のような、特殊な条件が付く順列を、見方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができる。</p> <p>⑥既知の順列や積の法則をもとにして、円順列、重複順列を考察することができる。</p> <p>⑦組合せの総数と順列の総数の関係を理解し、順列の総数をもとにして、組合せの総数を考察することができる。</p> <p>⑧試行の結果を事象としてとらえ、事象を集合と結びつけて考察することができる。</p> <p>⑨ものごとの起こりやすさを、同様に確からしいという概念をもとに数量的に考察することができる。</p> <p>⑩独立な試行の確率を、具体的な例から直観的に考えることができる。</p> <p>⑪反復試行の意味を理解し、確率の求め方を組合せの考えと関連付けて考察することができる。</p> <p>⑫確率の乗法定理を利用することで、くじを引くときの順番には当たる確率は関係がないことを理解し、説明することができる。</p> <p>⑬期待値を、確率の考えに基づいて考察することができる。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>※提出物の提出状況やアンケートへの回答状況、学習内容等の振り返り状況等により、日常的に評価する。</p>	
<p>知識、技能</p> <p>①共通部分、和集合、空集合、全体集合、補集合など集合に関する用語を理解し、それらを求めることができる。</p> <p>②集合の要素の個数を、数え上げることで求めることができる。</p> <p>③補集合や和集合の要素の個数の公式を理解し、それらを用いて要素の個数を求めることができる。</p> <p>④樹形図を用いたり順序だてて並べたりすることで、場合の数をもれなく重複なく数えることができる。</p> <p>⑤和の法則や積の法則の利用場面を理解し、事象に応じて使い分けて場合の数を求めることができる。</p> <p>⑥順列の意味を理解し、公式を利用することができる。</p> <p>⑦簡単な場合の数を、順列の考えを利用して求めることができる。</p> <p>⑧すべてを取った順列の総数から得られる階乗とその記号を理解し、それを活用できる。</p> <p>⑨組合せの意味を理解し、公式を利用することができる。</p> <p>⑩簡単な場合の数を、組合せの考えを利用して求めることができる。</p> <p>⑪組合せの性質を理解し、公式を利用することができる。</p> <p>⑫様々な場合の数を、組合せの考えを利用して求めることができる。</p> <p>⑬確率の定義を理解し、簡単な確率を求めることができる。</p> <p>⑭表や組合せの考えを活用して、確率を求めることができる。</p> <p>⑮排反事象の意味を理解し、確率を求めることができる。</p> <p>⑯余事象の意味を理解し、確率を求めることができる。</p> <p>⑰試行が独立か、独立でないかを判断することができる。</p> <p>⑱独立な試行の確率を、公式を用いて求めることができる。</p> <p>⑲反復試行の確率を、公式を用いて求めることができる。</p> <p>⑳条件つき確率の定義を理解し、確率を求めることができる。</p> <p>㉑期待値について理解し、いろいろな場合の期待値を求めることができる。</p>	<p>思考、判断、表現</p> <p>①条件を満たすものを集合の要素として考え、表すことができる。</p> <p>②ものを数え上げるのに集合を利用して考察することができる。</p> <p>③ベン図を利用して集合を図示することで、補集合や和集合の要素の個数を考察することができる。</p> <p>④和の法則を、表を利用することで、また積の法則を、樹形図の特別な場合として考察することで見いだすことができる。</p> <p>⑤となりあう場合の順列のような、特殊な条件が付く順列を、見方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができる。</p> <p>⑥既知の順列や積の法則をもとにして、円順列、重複順列を考察することができる。</p> <p>⑦組合せの総数と順列の総数の関係を理解し、順列の総数をもとにして、組合せの総数を考察することができる。</p> <p>⑧試行の結果を事象としてとらえ、事象を集合と結びつけて考察することができる。</p> <p>⑨ものごとの起こりやすさを、同様に確からしいという概念をもとに数量的に考察することができる。</p> <p>⑩独立な試行の確率を、具体的な例から直観的に考えることができる。</p> <p>⑪反復試行の意味を理解し、確率の求め方を組合せの考えと関連付けて考察することができる。</p> <p>⑫確率の乗法定理を利用することで、くじを引くときの順番には当たる確率は関係がないことを理解し、説明することができる。</p> <p>⑬期待値を、確率の考えに基づいて考察することができる。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>※提出物の提出状況やアンケートへの回答状況、学習内容等の振り返り状況等により、日常的に評価する。</p>			
<p><u>教材範囲</u></p> <p>教科書 P. 6～31</p>	<p>内容のまとめり I</p> <p><b>第1節 順列・組合せ</b></p>	<p><u>学習時期(予定)</u></p> <p>年度当初～5月末</p>	<p><u>配当時間</u></p> <p>10時間</p>		
<p><u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u></p>	<p><u>観点別学習評価</u></p> <table border="1"> <tr> <td>知、技</td> <td>思、判、表</td> <td>態度</td> </tr> </table>	知、技	思、判、表	態度	<p><u>備考</u></p>
知、技	思、判、表	態度			

	規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法
1. 集合	①	定期考査および小テスト	①	定期考査および小テスト		
2. 集合の要素の個数	②③		②③			
3. 和の法則・積の法則	④⑤		④			
4. 順列	⑥⑦ ⑧		⑤⑥			
5. 組合せ	⑨⑩ ⑪⑫		⑦			

教材範囲 教科書 P. 32～51	内容のまとめり II <b>第2節 確率</b>	学習時期 (予定) 6月上旬～1学期末	配当時間 10時間
----------------------	-----------------------------	------------------------	--------------

学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価				備考
	規準	評価方法	規準	評価方法	
1. 事象と確率	⑬	定期考査および小テスト	⑧	定期考査および小テスト	
2. 確率の計算	⑬		⑨		
3. 独立な思考と確率	⑭～ ⑰		⑩⑪ ⑫		
4. 条件付き確率	⑳㉑		⑬		

(2) **単元：第2章 図形の性質**

<u>単元の目標</u>	
<p><u>知識及び技能</u></p> <p>平面図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。</p>	<p><u>思考力、判断力、表現力等</u></p> <p>平面図形や空間図形の性質についての理解を深め、それらを観察したり考察したりすることで、空間認識力の育成を図る。</p>
<u>観点別評価規準</u>	
<p><u>知識、技能</u></p> <p>① 図形の基本性質を理解し、それらを用いて角の大きさや辺の長さを求めることができる。</p> <p>② 角の二等分線と線分の比の定理を理解し、それらを用いて辺や線分の長さを求めることができる。</p> <p>③ 三角形の外心、内心、重心の定義とその性質を理解し、それらを用いて角の大きさや線分の長さを求めることができる。</p> <p>④ 弧、弦、円周角、中心角など円に関する用語を理解している。</p> <p>⑤ 円周角の定理を理解し、角の大きさを求めることができる。</p> <p>⑥ 円に内接する四角形の性質を理解し、角の大きさを求めることができる。</p> <p>⑦ 接線と弦のつくる角の性質を理解し、角の大きさを求めることができる。</p> <p>⑧ 円の接線の長さが等しいことを理解し、辺や線分の長さを求めることができる。</p> <p>⑨ 方べきの定理を理解し、線分の長さを求めることができる。</p> <p>⑩ 中学校で学んだ基本的な作図を行うことができる。</p> <p>⑪ 円の接線を、基本的な作図の組み合わせによって描くことができる。</p> <p>⑫ 2直線の関係、直線と平面の関係、2平面の関係には3種類ないしは2種類あることを理解し、それらの位置関係を示すことができる。</p> <p>⑬ 2直線のなす角、直線と平面の垂直条件、2平面の位置関係について理解</p>	<p><u>思考、判断、表現</u></p> <p>① 角の大きさや辺の長さを求めるのに、図形のどの基本性質を使えばよいかを判断できる。</p> <p>② 角の二等分線と線分の比の定理を証明するのに、既習事項を用いて、論理的に考察することができる。</p> <p>③ 三角形の外心、内心、重心の性質を証明するのに、既習事項を用いて、論理的に考察することができる。</p> <p>④ 円周角の定理の逆を理解し、等しい角に着目して考察することができる。</p> <p>⑤ 四角形が円に内接する条件について、対角に着目して考察することができる。</p> <p>⑥ 円と直線を動的にとらえて、それらの位置関係を考察することができる。</p> <p>⑦ 方べきの定理を証明するのに、既習事項を用いて、論理的に考察することができる。</p> <p>⑧ 2つの円の位置関係を、動的な視点によって観察・分類することができる。</p> <p>⑨ さまざまな図形を、基本的な作図の組合せによって描くことができることを説明することができる。</p> <p>⑩ 直線と平面が垂直になるための条件を、本を立てたときの状態に当てはめるなど具体的な事例によって考察することができる。</p> <p>⑪ 直線や平面が平行または垂直となるかどうかを、立方体を例として考察することができる。</p>
<p><u>主体的に学習に取り組む態度</u></p> <p>※提出物の提出状況やアンケートへの回答状況、学習内容等の振り返り状況等により、日常的に評価する。</p>	

し、角の大きさやそれらの関係性を求めることができる。

⑭多面体や正多面体の定義を理解し、それらの頂点、辺、面の数を求めることができる。

教材範囲 教科書 P. 52～84	内容のまとめり I <b>第1節 平面図形</b>	学習時期(予定) 9月上旬～11月下旬	配当時間 15時間
----------------------	------------------------------	------------------------	--------------

学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価				備考	
	知、技		思、判、表			態度
	規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法
1. 図形の基本	①		①			
2. 角の二等分線と線分の比	②		②			
3. 三角形の外心内心重心	③		③			
4. 円周角の定理	④⑤	定期検査および小テスト	④	定期検査および小テスト		
5. 円に内接する四角形	⑥		⑤			
6. 円の接線	⑦⑧		⑥			
7. 方べきの定理	⑨		⑦			
8. 2つの円	⑩⑪		⑧			
	⑫					

教材範囲 教科書 P. 85～91	内容のまとめり II <b>第2節 空間図形</b>	学習時期(予定) 12月上旬～2学期末	配当時間 6時間
----------------------	-------------------------------	------------------------	-------------

学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価				備考	
	知、技		思、判、表			態度
	規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法
1. 空間の直線・平面	⑬	定期検査および小テスト	⑨⑩	定期検査および小テスト		
2. 正多面体	⑭		⑪			

(3) **単元：第3章 整数の性質**

<u>単元の目標</u>	
<u>知識及び技能</u> ・整数およびその性質に関する基本的な概念を理解すること。	<u>思考力、判断力、表現力等</u> ・整数の性質の考えを用いて論理的に考察し、事象の考察に活用すること。
<u>観点別評価規準</u>	
<u>知識、技能</u> ①約数と倍数，素数の定義を理解している。 ②自然数を素因数分解できる。 ③素因数分解を利用することで最大公約数と最小公倍数を求めることができる。 ④ユークリッドの互除法を用いて，2数の最大公約数を求めることができる。 ⑤2進法について理解し，2進法で表された数を10進法で表すことができる。また，10進法で表された数を2進法で表すことができる。	<u>思考、判断、表現</u> ①素因数分解を利用した最大公約数や最小公倍数の求め方を理解し，説明することができる。 ②最大公約数を利用して，長方形を敷き詰めることのできる最大の正方形の大きさについて考察することができる。 ③ユークリッドの互除法の仕組みについて，長方形を正方形に分割する図を通して直感的に理解し，考察することができる。 ④普段使用している記数法が10進法であると認識し，その仕組みを改めて考察することができる。
<u>主体的に学習に取り組む態度</u> ※提出物の提出状況やアンケートへの回答状況、学習内容等の振り返り状況等により、日常的に評価する。	

<u>教材範囲</u> 教科書 P. 92～111	<u>内容のまとめり I</u> <b>整数の性質</b>	<u>学習時期 (予定)</u> 1月上旬～年度末	<u>配当時間</u> 12時間
<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>	<u>観点別学習評価</u>		
	<u>知、技</u>	<u>思、判、表</u>	<u>態度</u>
	規準	規準	規準
	評価方法	評価方法	評価方法
1. 約数と倍数	①② 定期考査および小テスト	①② 定期考査および小テスト	
2. ユークリッドの互除法	③④		
3. 方程式を満たす整数		③	
4. 2進法	⑤	④	
			<u>備考</u>

## 令和6年度（2024年度）シラバス

## 1 科目概要

教科	科目	担当者	履修年次（今年度）	単位数（今年度）	
数 学	<b>数学探究</b>	平山 光一	3 年	3 単位	
履修対象	前学年からの 継続履修	次学年での 継続履修			
	選択履修	-	-	-	
教材（出版社）	教科書	数学探究テキスト（学校独自教材）			
	副教材	数学探究問題集（学校独自教材）			
定期考査の実施 ※ 変更可能性あり	1 学期中間 ※ 5月中旬あたり	1 学期期末 ※ 7月上旬あたり	2 学期中間 ※ 10月中旬あたり	2 学期期末 ※ 12月上旬あたり	学年末 ※ 3年：1月末 他：2月中旬あたり
	-	有	-	有	有
<b>科目の目標</b> 数学 I で学んだ分野についての理解を深めるとともに、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。					
知識及び技能	数と式、2次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的に表現・処理する技能を身に付けるようにする。三角比やデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的に表現・処理する技能を身に付けるようにする。	思考力、判断力、表現力等	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、数量関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を養う。図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	学びに向かう力、人間性等（全単元共通）	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
<b>具体的な評価の方法</b> 3つの観点について、それぞれ次に示す方法で評価する。					
知識、技能	・ 定期考査および授業中の小テスト ・ 学期末の計算テスト	思考、判断、表現	・ 定期考査および授業中の小テスト	主体的に学習に取り組む態度	・ 授業中の学習態度や積極性 ・ 提出物の提出状況やアンケートへの回答状況 ・ 小テストの受査状況 ・ 学習教材や成果物の管理状況 ・ 学習内容等の振り返り状況
<b>担当者から履修上のアドバイス</b> 1 授業には、「数学探究テキスト（最初の授業で配布）」「数学 I の教科書」「タブレット端末」「筆記用具」が必要です。 2 授業中に指名された際、発言や板書等の正誤は、一切評価の対象になりません。積極性重視です。 3 教科書には、中学校数学の振り返りの内容が多く収録されています。自分1人の学習でも取り組みやすいものですので、しっかり勉強し、わからないところは遠慮なく担当者に質問しましょう。予習は必要ありません。 4 提出できない状態だったり、無断で提出期限を過ぎた提出物は一切受け付けません。また、提出物への取り組み状況に不誠実さが見受けられた場合（例えば、解けない問題の解答を黒で写して赤で○をつけ、自力で解けたかのようにみせた）、未提出とみなすことがあります。そのことは生徒本人に通知しません。					

## 2 年間指導計画

学習時期（予定）	学 習 単 元	学習単元内の内容の まとめり	備 考
年度当初 ～5月下旬	数学 I 数と式	・ 数と式の計算 ・ 1次不等式	学んだ内容について復習を行い、学んだ内容を深化させる。（例）絶対値を含む1次方程

			式や1次不等式の解法
6月上旬 ～7月上旬	数学Ⅰ 2次関数	<ul style="list-style-type: none"> <li>2次関数のグラフ</li> <li>2次関数のグラフの変化</li> </ul>	学んだ内容について復習を行い、学んだ内容を深化させる。(例)軸や定義域が変化する2次関数の最大値・最小値
7月中旬 ～9月中旬	数学Ⅰ 図形と計量	<ul style="list-style-type: none"> <li>三角比</li> <li>三角比への応用</li> </ul>	学んだ内容について復習を行い、学んだ内容を深化させる。(例)身近な測量や、三角形の面積を利用した円周率の計算等
9月下旬 ～10月下旬	数学Ⅰ 集合と命題	<ul style="list-style-type: none"> <li>集合と命題</li> </ul>	学んだ内容について復習を行い、学んだ内容を深化させる。(例)背理法を用いた、命題の真偽
11月上旬 ～2学期末	数学Ⅰ データの分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>データの分析</li> </ul>	学んだ内容について復習を行い、学んだ内容を深化させる。(例)気温やスポーツなど身近な事象を基にした箱ひげ図や散布図の作成
3学期	課題学習		今までの学習の振り返りを行い、生徒の興味関心と数学的事象を結びつけたテーマについて課題学習を行う。

### 3 指導と評価の計画

※「単元の目標」 - 「学びに向かう人間性等」は、すべて前ページ「科目の目標」のものに準じるので、割愛

#### (1) 単元：第1章 数と式

<p><u>単元の目標</u></p> <table border="1"> <tr> <td> <p><u>知識及び技能</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。</li> <li>2次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。</li> <li>不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、1次不等式の解を求めること。</li> </ul> </td> <td> <p><u>思考力、判断力、表現力等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。</li> <li>不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察すること。</li> </ul> </td> </tr> </table>			<p><u>知識及び技能</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。</li> <li>2次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。</li> <li>不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、1次不等式の解を求めること。</li> </ul>	<p><u>思考力、判断力、表現力等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。</li> <li>不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察すること。</li> </ul>	
<p><u>知識及び技能</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。</li> <li>2次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。</li> <li>不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、1次不等式の解を求めること。</li> </ul>	<p><u>思考力、判断力、表現力等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。</li> <li>不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察すること。</li> </ul>				
<p><u>観点別評価規準</u></p> <table border="1"> <tr> <td> <p><u>知識、技能</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①整数や小数の他、累乗の形の数、分数を含む四則計算ができる。</li> <li>②文字式の積を適切にかき表せる。</li> <li>③整式周辺の数学用語を理解し、係数や次数が答えられる。</li> <li>④同類項を理解し、これをまとめられる。また、降べきの順、昇べきの順を理解している。</li> <li>⑤多項式の加法、減法ができる。</li> <li>⑥指数法則を用いた計算ができる。</li> <li>⑦多項式の乗法ができる。</li> <li>⑧展開の公式を理解し、これを用いて計算できる。</li> <li>⑨因数分解の公式を理解し、これを用いて計算できる。</li> <li>⑩根号を含む計算、分母の有理化ができる。</li> <li>⑪絶対値を理解し、その計算ができる。</li> <li>⑫有理数が細かく分類できる。</li> <li>⑬絶対値が求められる。</li> <li>⑭1次方程式が解ける。</li> <li>⑮値の範囲が図示できる。</li> <li>⑯1次不等式が解ける。</li> </ol> </td> <td> <p><u>思考、判断、表現</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①複雑な計算の過程を論理的にかき示すことができる。</li> <li>②言葉で示された数量の関係が数式でかき表せる。</li> <li>③整式を見て、用いるべき因数分解の公式が判断できる。</li> <li>④たすきがけを用いた因数分解ができる。</li> <li>⑤展開や因数分解の工夫について、言葉で説明できる。</li> <li>⑥平方根の意味を説明できる。</li> <li>⑦数の分類について説明できる。</li> <li>⑧移項の意味を説明できる。</li> <li>⑨不等号の反転する場合について説明できる。</li> <li>⑩連立不等式の解を示すための数直線の図がかける。</li> </ol> </td> <td> <p><u>主体的に学習に取り組む態度</u></p> <p>※提出物の提出状況やアンケートへの回答状況、学習内容等の振り返り状況等により、日常的に評価</p> </td> </tr> </table>			<p><u>知識、技能</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①整数や小数の他、累乗の形の数、分数を含む四則計算ができる。</li> <li>②文字式の積を適切にかき表せる。</li> <li>③整式周辺の数学用語を理解し、係数や次数が答えられる。</li> <li>④同類項を理解し、これをまとめられる。また、降べきの順、昇べきの順を理解している。</li> <li>⑤多項式の加法、減法ができる。</li> <li>⑥指数法則を用いた計算ができる。</li> <li>⑦多項式の乗法ができる。</li> <li>⑧展開の公式を理解し、これを用いて計算できる。</li> <li>⑨因数分解の公式を理解し、これを用いて計算できる。</li> <li>⑩根号を含む計算、分母の有理化ができる。</li> <li>⑪絶対値を理解し、その計算ができる。</li> <li>⑫有理数が細かく分類できる。</li> <li>⑬絶対値が求められる。</li> <li>⑭1次方程式が解ける。</li> <li>⑮値の範囲が図示できる。</li> <li>⑯1次不等式が解ける。</li> </ol>	<p><u>思考、判断、表現</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①複雑な計算の過程を論理的にかき示すことができる。</li> <li>②言葉で示された数量の関係が数式でかき表せる。</li> <li>③整式を見て、用いるべき因数分解の公式が判断できる。</li> <li>④たすきがけを用いた因数分解ができる。</li> <li>⑤展開や因数分解の工夫について、言葉で説明できる。</li> <li>⑥平方根の意味を説明できる。</li> <li>⑦数の分類について説明できる。</li> <li>⑧移項の意味を説明できる。</li> <li>⑨不等号の反転する場合について説明できる。</li> <li>⑩連立不等式の解を示すための数直線の図がかける。</li> </ol>	<p><u>主体的に学習に取り組む態度</u></p> <p>※提出物の提出状況やアンケートへの回答状況、学習内容等の振り返り状況等により、日常的に評価</p>
<p><u>知識、技能</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①整数や小数の他、累乗の形の数、分数を含む四則計算ができる。</li> <li>②文字式の積を適切にかき表せる。</li> <li>③整式周辺の数学用語を理解し、係数や次数が答えられる。</li> <li>④同類項を理解し、これをまとめられる。また、降べきの順、昇べきの順を理解している。</li> <li>⑤多項式の加法、減法ができる。</li> <li>⑥指数法則を用いた計算ができる。</li> <li>⑦多項式の乗法ができる。</li> <li>⑧展開の公式を理解し、これを用いて計算できる。</li> <li>⑨因数分解の公式を理解し、これを用いて計算できる。</li> <li>⑩根号を含む計算、分母の有理化ができる。</li> <li>⑪絶対値を理解し、その計算ができる。</li> <li>⑫有理数が細かく分類できる。</li> <li>⑬絶対値が求められる。</li> <li>⑭1次方程式が解ける。</li> <li>⑮値の範囲が図示できる。</li> <li>⑯1次不等式が解ける。</li> </ol>	<p><u>思考、判断、表現</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①複雑な計算の過程を論理的にかき示すことができる。</li> <li>②言葉で示された数量の関係が数式でかき表せる。</li> <li>③整式を見て、用いるべき因数分解の公式が判断できる。</li> <li>④たすきがけを用いた因数分解ができる。</li> <li>⑤展開や因数分解の工夫について、言葉で説明できる。</li> <li>⑥平方根の意味を説明できる。</li> <li>⑦数の分類について説明できる。</li> <li>⑧移項の意味を説明できる。</li> <li>⑨不等号の反転する場合について説明できる。</li> <li>⑩連立不等式の解を示すための数直線の図がかける。</li> </ol>	<p><u>主体的に学習に取り組む態度</u></p> <p>※提出物の提出状況やアンケートへの回答状況、学習内容等の振り返り状況等により、日常的に評価</p>			

⑰連立不等式が解ける。 する。

教材範囲 教科書 P. 8～39	内容のまとめり I <b>第1節 数と式の計算</b>	学習時期(予定) 年度当初～5月中旬	配当時間 10時間				
学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価			備考			
	知、技		思、判、表		態度		
	規準	評価方法	規準		評価方法	規準	評価方法
	1. 計算の基本	① 定期検査および小テスト	①		定期検査および小テスト		
	2. 単項式と多項式	②③	②				
	3. 多項式の加法と減法	④⑤					
	4. 多項式の乗法	⑥⑦					
	5. 展開の公式	⑦⑧					
	6. 因数分解	⑨	③④				
	7. 展開、因数分解の工夫	⑨	③⑤				
8. 根号を含む式の計算	⑩⑪	⑥					
9. 実数	⑫⑬	⑦					

教材範囲 教科書 P. 40～51	内容のまとめり II <b>第2節 1次不等式</b>	学習時期(予定) 5月中旬～5月下旬	配当時間 5時間				
学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価			備考			
	知、技		思、判、表		態度		
	規準	評価方法	規準		評価方法	規準	評価方法
	1. 1次方程式	⑭	⑧		定期検査および小テスト		
2. 不等式	⑮	⑨					
3. 不等式の解	⑮⑯⑰	⑨⑩			教科書P. 50は授業で取り扱わない。		

(2) 単元：第2章 2次関数

単元の目標		
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。</li> <li>2次関数の最大値や最小値を求めること。</li> <li>2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解すること。また、2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察すること。</li> </ul>	
観点別評価規準		
知識、技能	思考、判断、表現	主体的に学習に取り組む態度
①関数の変数に値を代入し、適切に計算できる。 ②1次関数のグラフの傾き、切片を理解している。 ③関数の表が完成できる。 ④関数のグラフがかける。 ⑤2次関数( $x^2$ の係数が1)が平方完成できる。 ⑥2次関数の最大値、最小値が求められる。 ⑦因数分解を用いて2次方程式が解ける。 ⑧2次方程式の解の公式を理解している。 ⑨解の公式を用いて2次方程式が解ける。 ⑩2次方程式の解と、2次関数のグラフとx軸の共有点の関係を理解している。 ⑪2次不等式が解ける。	①関数とは何か、説明できる。 ②1次関数のグラフの平行移動を説明できる。 ③2次関数のグラフに付随してかくことが求められる各点の座標が正しくかける。 ④2次関数( $x^2$ の係数が1以外)が平方完成できる。 ⑤2次方程式を解くために、因数分解と解の公式のいずれを用いるべきか、根拠をもち選択できる。 ⑥2次関数のグラフとx軸が接したり、共有点をもたない場合の根拠が説明できる。 ⑦2次関数のグラフとx軸の共有点が2個未満である場合の2次不等式の解が正しく答えられる。	※提出物の提出状況やアンケートへの回答状況、学習内容等の振り返り状況等により、日常的に評価する。

教材範囲 教科書 P. 58～76	内容のまとめり I <b>第1節 2次関数のグラフ</b>	学習時期(予定) 9月下旬～6月中旬	配当時間 10時間
学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価		
	知、技		態度
	規準	評価方法	規準 評価方法

1. 関数	①		①②		
2. 1次関数のグラフ	②③ ④	定期検査お よび小テス ト		定期検査お よび小テス ト	
3. 2次関数のグラフ(1)	③④		③		
4. 2次関数のグラフ(2)	④⑤		③④		

教材範囲 教科書 P. 77～93		内容のまとめり II <b>第2節 2次関数の値の変化</b>			学習時期(予定) 6月下旬～7月上旬	配当時間 5 時間	
学習活動、学習のねらい、学習形式等		観点別学習評価				備考	
		知・技		思・判・表		態度	
		規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法
1. 2次関数の最大値、最小値		④⑥	定期検査お よび小テス ト	⑤	定期検査お よび小テス ト		
2. グラフと2次方程式		⑦⑧ ⑨⑩		⑥			
3. グラフと2次不等式		④⑩ ⑪		⑦			

(3) 単元：3章 図形と計量

単元の目標		
知識及び技能 三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比の相互関係などを理解できるようにする。		思考力、判断力、表現力等 日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、三角比を活用して問題を解決する力を培う。
観点別評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①直角三角形において、三平方の定理を利用して、辺の長さを求めることができる ②三角定規で用いられる形の三角形について、辺の比を知っている。 ③直角三角形において、正弦・余弦・正接を求めることができる。 ④三角比の表を利用して、三角比の値や角を調べることができる。 ⑤三角比を利用して、直角三角形の辺の長さを求めることができる。 ⑥三角比を利用して、直角三角形の角のおよその大きさを求めることができる。 ⑦三角比の相互関係を利用して、三角比の1つの値から残りの2つの値を求めることができる。 ⑧鈍角の三角比の値を求めることができる。 ⑨鈍角の場合についても、三角比の相互関係を利用して、三角比の1つの値から残りの2つの値を求めることができる。 ⑩正弦定理を利用して、三角形の辺の長さや外接円の半径を求めることができる。 ⑪余弦定理を利用して、三角形の辺の長さや角の大きさを求めることができる。 ⑫2辺の長さとその間の角の大きさが与えられた三角形の面積を求めることができる。	①三角比が三角形の大きさに関係なく、鋭角のみに依存していることを、三角形の相似から考察することができる。 ②測量の問題に三角比を活用することができる。 ③ $\sin^2 A + \cos^2 A = 1$ を三平方の定理としてとらえることができる。 ④拡張された三角比を、座標平面に図示して考察することができる。 ⑤測量の問題に正弦定理を活用することができる。 ⑥測量の問題に余弦定理を活用することができる。 ⑦問題をランダムに配した「まとめ」を解く際、正弦定理や余弦定理を的確に適用できる。 ⑧測量の問題に三角比を活用することができる。	①直接測ることのできない距離を求めることに関心をもつ。 ②道路標識やソーラーパネルの具体例を通して、傾斜と三角比との関連に関心をもち、考察しようとする。 ③三角比の相互関係を調べようとする。 ④鋭角の場合と異なり、鈍角の三角比が座標を利用して定義される理由に関心をもち、考察しようとする。 ⑤座標を利用して定義した鈍角の三角比を、図形を利用して考察し、矛盾なく定義できることに関心をもち、考察しようとする。 ⑥正弦定理の図形的な意味を考察しようとする。 ⑦余弦定理の図形的な意味を考察しようとする。 ⑧三角比と三角形の面積の関係に関心をもち、公式を導こうとする。 ⑨自ら作成した角度測定器を用いて、他者と協力しながら、校舎の高さをより正確に測ろうとする。  ※提出物の提出状況やアンケートへの回答状況、学習内容等の振り返り状況等により、日常的に評価する。

教材範囲 教科書 P. 98～119		内容のまとめり I <b>第1節 三角比</b>			学習時期(予定) 7月中旬～9月上旬	配当時間 10 時間	
学習活動、学習のねらい、学習形式等		観点別学習評価				備考	
		知・技		思・判・表		態度	
		規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法
1. 直角三角形		①②	定期検査お		定期検査お		

2. 三角比	③④	よび小テスト	①	よび小テスト		
3. 三角比の利用	⑤⑥	ト	②	ト		
4. 三角比の相互関係	⑦		③			
5. 鈍角の三角比	⑧⑨		④			

教材範囲 教科書 P. 120～133	内容のまとめり II <b>第2節 三角比の応用</b>	学習時期(予定) 9月上旬～9月中旬	配当時間 5 時間
------------------------	---------------------------------	-----------------------	--------------

学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価				備考	
	知・技		思・判・表			態度
	規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法
1. 正弦定理	⑩	定期考査お	⑤	定期考査お		
2. 余弦定理	⑪	よび小テスト	⑥	よび小テスト		
3. 三角形の面積	⑫	ト	⑦⑧	ト		

(4) **単元：第4章 集合と命題**

単元の目標	
知識及び技能 ・集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。	思考力、判断力、表現力等 ・集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明すること。

観点別評価規準		
知識、技能	思考、判断、表現	主体的に学習に取り組む態度
①集合を理解し、適切に表現できる。 ②集合周辺の数学用語とそれを表す記号が理解できる。 ③ベン図の意味や有用性を理解している。 ④命題の真偽が理解できる。 ⑤命題の真偽が調べられる。 ⑥仮定と結論を理解している。 ⑦命題の真偽と、集合の包含関係が結び付けて理解できる。 ⑧反例や否定が理解できる。 ⑨十分条件、必要条件、必要十分条件を理解している。 ⑩命題の逆、対偶が示せる。 ⑪命題の真偽と、その対偶の真偽の一致性が理解できる。 ⑫背理法を理解している。	①部分集合、真部分集合の意味や違いが説明できる。 ②命題とは何か、説明できる。 ③命題の真偽が判断できる。 ④真である命題中の各条件が、十分条件、必要条件、必要十分条件のいずれであるか判断できる。 ⑤十分条件、必要条件、必要十分条件となり得る条件を適切に判断できる。	※提出物の提出状況やアンケートへの回答状況、学習内容等の振り返り状況等により、日常的に評価する。

教材範囲 教科書 P. 136～146	内容のまとめり I <b>集合と命題</b>	学習時期(予定) 9月下旬～10月下旬	配当時間 5 時間
------------------------	---------------------------	------------------------	--------------

学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価				備考	
	知・技		思・判・表			態度
	規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法
1. 集合	①② ③	定期考査お よび小テスト	①	定期考査お よび小テスト		
2. 命題と集合	④⑤ ⑥⑦ ⑧	ト	②③	ト		
3. 必要条件と十分条件	⑨⑩ ⑪⑫		④⑤			教科書P. 145「背理法」を用いた命題が真であることの証明は、具体的には取り扱わない。

(5) **単元：5章 データの分析**

単元の目標	
知識及び技能 データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察でき	思考力、判断力、表現力等 目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量や

るようにする。	グラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現する力、不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりする力を養う。
---------	---

観点別評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①階級、度数などの用語を理解し、データを度数分布表にまとめ、ヒストグラムをかくことができる。 ②データを度数分布表やヒストグラムに表すことよさを理解している ③最頻値、中央値、平均値の定義や意味を理解し、それらを求めることができる。 ④四分位数の定義を理解し、四分位数を求めることができる。 ⑤四分位範囲、四分位偏差の定義やその意味を理解し、それらを求めることができる。 ⑥箱ひげ図をかくことができる。 ⑦外れ値について理解している。 ⑧散布図を作成することができる。 ⑨相関係数と散布図の関連を理解している。	①どの代表値を用いるのが適切なのか場面によって変わってくることを理解している。 ②四分位範囲や箱ひげ図をもとに、中央値の周りのデータの散らばり具合を比較することができる。 ③標準偏差をもとに、平均値の周りのデータの散らばり具合を比較することができる。 ④散布図をもとに、データの相関を考察することができる。	①データを整理して全体の傾向を考察しようとする。 ②データの代表値から、その特性や傾向などを考察しようとする。 ③データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察しようとする。 ④相関係数と散布図の関連に関心を持ち、考察しようとする。  ※提出物の提出状況やアンケートへの回答状況、学習内容等の振り返り状況等により、日常的に評価する。

教材範囲	内容のまとめ I	学習時期 (予定)	配当時間	
教科書 P. 150～169	<b>データの分析</b>	11月上旬～12月下旬	10時間	
学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価			備考
	規準	知・技 評価方法	思・判・表 評価方法	
1. データの整理	①②	定期考査および小テスト	定期考査および小テスト	
2. データの代表値	③④		①	
3. データの散らばり	⑤⑥⑦		②	
4. データの相関	⑧		③	
課題学習	⑨		④	

(6) **単元：課題学習**

単元の目標		
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	
・高校生活で学んだことを実生活に活かすうえで基本的な概念を理解すること。	・日常生活と数学の関わりについて論理的に考察すること。	
観点別評価規準		
知識・技能	思考、判断、表現	主体的に学習に取り組む態度
・設定した課題を考察・解決するうえで必要な知識や技能が身についている	・日常生活と数学について思考し、判断や表現を行うことができる	※提出物の提出状況やアンケートへの回答状況、学習内容等の振り返り状況等により、日常的に評価する。

教材範囲	内容のまとめ I	学習時期 (予定)	配当時間	
	<b>課題学習</b>	3学期	10時間	
学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価			備考
	規準	知・技 評価方法	思・判・表 評価方法	
1. 課題の設定集合		授業の取り組みや	授業の取り組みや	
2. 探究活動		定期考査および小テスト	定期考査および小テスト	
3. 発表				

# 令和6年度（2024年度）シラバス

## 1 科目概要

教科 <b>理科</b>	科目 <b>生物基礎</b>	担当者(主) 川野 文寛	履修年次(今年度) 3年	単位数(今年度) 2単位
履修対象 全員必履修	前学年からの 継続履修 -	次学年での 継続履修 有		
教材(出版社)	教科書 啓林館「生物基礎」(生基705)	副教材		
定期考査の実施 ※変更可能性あり	1学期中間 ※5月中旬あたり -	1学期期末 ※7月上旬あたり 有	2学期中間 ※10月中旬あたり -	2学期期末 ※12月上旬あたり 有
<b>科目の目標</b> 自然の事物・現象に関わり、理科の見方や考え方をはたらかせ、見通しをもって観察・実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探求するために必要な資質や能力を育てることを目指す。				
知識及び技能 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	思考力、判断力、表現力等 自然の事物・現象を人間生活と関連付けて、問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	学びに向かう力、人間性等(全単元共通) 自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。		
<b>具体的な評価の方法</b> 3つの観点について、それぞれに示す方法で評価する。				
知識、技能 ・小テスト ・考査対策のプリント ・学期末考査	思考、判断、表現 ・小テスト ・考査対策のプリント ・学期末考査	主体的に学習に取り組む態度 ・実験のレポート ・授業プリント		
<b>担当者から受講上のアドバイス</b> 1 授業は主に授業プリントと板書・スライドを用いて進める。 2 小テストや考査対策のプリントは、主に家庭学習用で用いる。解答を一緒に配布するので丸付け・採点とやり直しを済ませて提出すること。この時正答数は成績に関係はせず、提出の有無を評価する。 3 提出物の期限を過ぎての提出は減点する。				

## 2 年間指導計画

学習時期(予定)	学習単元	学習単元内の内容のまとめ	備考
年度当初～6月上旬	第3章 神経系と内分泌系による調節	1節 情報の伝達 2節 体内環境の維持のしくみ	
6月下旬～9月上旬	第4章 免疫	1節 免疫のはたらき	
9月上旬～11月上旬	第5章 植生と遷移	1節 植生と遷移	
11月下旬～1月下旬	第6章 生態系とその保全	1節 生態系と生物の多様性 2節 生態系のバランスと保全	

## 3 指導と評価の計画

※「単元の目標」 - 「学びに向かう人間性等」は、すべて前ページ「科目の目標」のものに準じるので、割愛

### (1) 単元：第3章 神経系と内分泌系による調節

単元の目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
①体内環境とは体液の環境であり、体内環境が一定に保たれていること、つまり恒常性が重要である。体液(血液・リンパ液・組織液)の成分や働き、循環系を理解する。	①生物の体内環境が一定に保たれていると考えることができる。循環系と体液の働き(酸素解離や血液凝固など)を考えることができる。	①生物の体内環境が一定に保たれていると考えることができる。
②運動前後において、心拍数を計測することで、心拍数の変化を観察することができる。	②動物の恒常性が自律神経により調節されていると考えることができる。	②動物の恒常性が自律神経により調節されていると考えることができる。

③心拍は自律神経やアドレナリンというホルモンによっても調節を受けていることを理解する。	③ホルモンにより器官の活動が調節されており、その量はフィードバック調節されている。
④特定の内分泌腺からは特定のホルモンが分泌され、血液で運ばれてきた細胞に働く。ホルモン量はフィードバック調節されている。	

観点別評価規準		
知識、技能	思考、判断、表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①体内環境とは体液の環境であり、体内環境が一定に保たれていること、つまり恒常性が重要である。体液(血液・リンパ液・組織液)の成分や働き、循環系を理解できる。</p> <p>②運動前後において、心拍数を計測することで、心拍数の変化を観察することができる。</p> <p>③心拍は自律神経やアドレナリンというホルモンによっても調節を受けていることを理解できる。</p> <p>④特定の内分泌腺からは特定のホルモンが分泌され、血液で運ばれてきた細胞に働く。ホルモン量はフィードバック調節されていることを理解できる。</p>	<p>①生物の体内環境が一定に保たれていると考えることができ、循環系と体液の働き(酸素解離や血液凝固など)を考えることができる。</p> <p>②動物の恒常性が自律神経により調節されていると考えることができる。</p> <p>③ホルモンにより器官の活動が調節されており、その量はフィードバック調節されている。</p>	<p>①体内環境の恒常性に関心を持ち、体液の成分、体液の働き、循環に興味を持つ。</p> <p>②体内環境の恒常性に自律神経がかかわっていることを調べようとする。</p> <p>③多様なホルモンが特定の内分泌腺から分泌されていることに関心を持つ。</p>

教材範囲 教科書 p 104～135	内容のまとめり I 1節 情報の伝達 2節 体内環境の維持のしくみ	学習時期(予定) 年度当初～6月上旬	配当時間 12時間
-----------------------	---	-----------------------	--------------

学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価						備考
	知、技		思、判、表		態度		
	規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法	
A 体液と恒常性		小テスト		小テスト			
B 自律神経系と恒常性		小テスト		小テスト			
C 内分泌系		小テスト		小テスト			
D ホルモン分泌の調節		小テスト		小テスト			
A 血糖濃度の調節		小テスト		小テスト			
B ヒトの体温調節		小テスト		小テスト			
C 水分量の調節		小テスト		小テスト			

(2) 単元：第4章 免疫

単元の目標	
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
<p>①生体防御には異物に対する防御と自然免疫、獲得免疫があることを理解する。</p> <p>②微生物が共通してもつパターンを認識しての防御反応であることを理解する。</p> <p>③免疫寛容に関係するリンパ球の選択を理解する。生体に異物が侵入してから起こる経過を体液性免疫と細胞性免疫にわけて理解する。</p> <p>④予防接種、ワクチンと免疫の関係がわかる。</p>	<p>①マクロファージの食作用を観察して免疫について考えることができる。</p> <p>②自然免疫を獲得免疫と対比させて考えることができる。</p> <p>③体液性免疫と細胞性免疫を説明できる。</p> <p>④アレルギーなどの免疫反応を例をあげて説明できる。</p>
観点別評価規準	
知識、技能	思考、判断、表現
	主体的に学習に取り組む態度

①生体防御には異物に対する防御と自然免疫、獲得免疫があることを理解できる。 ②微生物が共通してもつパターンを認識しての防御反応であることを理解できる。 ③免疫寛容に関係するリンパ球の選択を理解する。生体に異物が侵入してから起こる経過を体液性免疫と細胞性免疫にわけて理解できる。 ④予防接種、ワクチンと免疫の関係がわかる。	①マクロファージの食作用を観察して免疫について考えることができる。 ②自然免疫を獲得免疫と対比させて考えることができる。 ③体液性免疫と細胞性免疫を説明できる。 ④アレルギーなどの免疫反応を例をあげて説明できる。	①免疫とそれにかかわる細胞の働きについて調べようとする。 ②細菌などを食作用で除く生体防御反応である。 ③免疫のしくみに関心を持つ。 ④予防接種や感染症との関連も含めて、免疫に関する話題に興味を持つ。
---	---	---

教材範囲 教科書 p 136～163	内容のまとめり I 1節 免疫のはたらき	学習時期(予定) 6月下旬～9月上旬	配当時間 11時間		
学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価			備考	
	知、技	思、判、表	態度		
	規準	評価方法	規準		評価方法
	A 生体防御	小テスト	小テスト		
	B 自然免疫	小テスト	小テスト		
C 獲得免疫	小テスト	小テスト			
D 免疫と病気	小テスト	小テスト			

(3) **単元：第5章 植生と遷移**

単元の目標	
知識及び技能 ①植物の形態に環境への適応が現れる例があり、光要因も大きな要因のひとつであることが分かる。 ②植生の一次遷移に伴って植物種数や地表照度、土壌の厚さ、土壌有機物%などの変化をグラフ化し、読みとることができる。 ③気温と降水量のデータから各地のバイオームを予想できる。 ④水平分布、垂直分布がわかる。	思考力、判断力、表現力等 ①植物の生活形に影響する環境要因には主に水・土壌・温度・光がある。 ②荒原が草原、森林へと変化してゆく過程には環境要因が関わっていることを考察する。 ③バイオームが成立する際の環境要因について考えることができる。 ④バイオームが成立する際の環境要因と日本の地理的な関係がわかる。

観点別評価規準		
知識、技能	思考、判断、表現	主体的に学習に取り組む態度
①植物の形態に環境への適応が現れる例があり、光要因も大きな要因のひとつであることが分かる。 ②植生の一次遷移に伴って植物種数や地表照度、土壌の厚さ、土壌有機物%などの変化をグラフ化し、読みとることができる。 ③気温と降水量のデータから各地のバイオームを予想できる。 ④水平分布、垂直分布がわかる。	①植物の生活形に影響する環境要因には主に水・土壌・温度・光がある。 ②荒原が草原、森林へと変化してゆく過程には環境要因が関わっていることを考察する。 ③バイオームが成立する際の環境要因について考えることができる。 ④バイオームが成立する際の環境要因と日本の地理的な関係がわかる。	①植物の生活に影響を及ぼす環境要因を考察する意欲を持つ。 ②植生の変化に注目し、その要因に関心を持つ。 ③世界のバイオームの特色に関心を持つ。 ④世界のバイオームの特色に関心を持つ。

教材範囲 教科書 p 164～191	内容のまとめり I 1節 植生と遷移	学習時期(予定) 9月上旬～11月上旬	配当時間 9時間		
学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価			備考	
	知、技	思、判、表	態度		
	規準	評価方法	規準		評価方法

A 環境	小テスト	小テスト		
B 植生の遷移	小テスト	小テスト		
C 遷移とバイオーム	小テスト	小テスト		
D 日本のバイオーム	小テスト	小テスト		

(4) **単元：第6章 生態系とその保全**

<u>単元の目標</u>		
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	
① 土壤にすむ動物を観察することができる。 ② 生態系を食物連鎖の関係で把握することができ、それぞれの量的関係を理解できる。 ③ キーストーン種について理解できる。 ④ COD や下水道普及率のデータから、アオコの原因を推測できる。 ⑤ 生物多様性を保全することの重要性がわかる。	① 生態系の成り立ちと構成要素について具体的な生物をあげて考えることができる。 ② 間接効果について考えることができる。 ③ 生態系のバランスについて考えることができる。 ④ 外来生物の影響について考えることができる。 ⑤ 生態系の保全が重要であると考えられる。 ⑥ 絶滅と生息地の面積の関係について考えることができる。	
<u>観点別評価規準</u>		
知識、技能	思考、判断、表現	主体的に学習に取り組む態度
① 土壤にすむ動物を観察することができる。 ② 生態系を食物連鎖の関係で把握することができ、それぞれの量的関係を理解できる。 ③ キーストーン種について理解できる。 ④ COD や下水道普及率のデータから、アオコの原因を推測できる。 ⑤ 生物多様性を保全することの重要性がわかる。	① 生態系の成り立ちと構成要素について具体的な生物をあげて考えることができる。 ② 間接効果について考えることができる。 ③ 生態系のバランスについて考えることができる。 ④ 外来生物の影響について考えることができる。 ⑤ 生態系の保全が重要であると考えられる。 ⑥ 絶滅と生息地の面積の関係について考えることができる。	① 生態系をどのように把握できるか関心を持っている。 ② ヒトゲを除去すると、生態系を構成する生物の種数が変化することに関心をもち生態系について理解しようとする。 ③ 生態系に与える人間生活の影響について関心をもっている。 ④ 環境問題などについて関心をもっている。

<u>教材範囲</u>	<u>内容のまとめり I</u>	<u>学習時期 (予定)</u>	<u>配当時間</u>
教科書 p 192～221	1 節 生態系と生物の多様性 2 節 生態系のバランスと保全	11月下旬～1月下旬	10時間

<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>	<u>観点別学習評価</u>						<u>備考</u>
	知、技		思、判、表		態度		
	規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法	
A 生態系における生物どうしのつながり		小テスト		小テスト			
B 種多様性と生物間の関係		小テスト		小テスト			
A 生態系のバランスと変動		小テスト		小テスト			
B 生態系の保全		小テスト		小テスト			

# 令和6年度（2024年度）シラバス

## 1 科目概要

教科 <b>保健体育</b>	科目 <b>体育</b>	担当者(主) 山本 淳	履修年次(今年度) 3年	単位数(今年度) 2単位	
履修対象 全員必履修	前学年からの 継続履修 有	次学年での 継続履修 有			
教材(出版社)	教科書				
	副教材				
定期考査の実施 ※ 変更可能性あり	1学期中間 ※5月中旬あたり 有	1学期期末 ※7月上旬あたり -	2学期中間 ※10月中旬あたり 有	2学期期末 ※12月上旬あたり -	学年末 ※3年:1月末 他:2月中旬あたり -
<b>科目の目標</b> 体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。					
知識及び技能 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	思考力、判断力、表現力等 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	学びに向かう力、人間性等(全単元共通) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を育てる。			
<b>具体的な評価の方法</b> 生徒や地域の実態に即して定めた目標や内容に照らして、その実現状況を下記の3観点ごとに評価する。 「十分満足できる」: A 「おおむね満足できる」: B 「努力を要する」: C					
知識・技能 運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や運動の多様性や体力の必要性及び生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。	思考・判断・表現 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	主体的に学習に取り組む態度 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。			
<b>担当者から受講上のアドバイス</b> 体を動かすことを通して、運動やスポーツの多様な関わり方を状況によって選択し、課題の発見や合理的、計画的に解決する能力を養い、健康・安全を確保し、運動の特性や魅力を味わうとともに、公正、協力、責任、参画、共生などの社会的態度を身に付ける。 (1) 運動を合理的・計画的に実践する (2) 健康の保持増進・体力の向上を図る (3) 生涯にわたって継続して運動に親しむことができるスポーツの多様な楽しみ方を理解する (4) 自己や他者の課題解決に協力して主体的に取り組む					

## 2 年間指導計画

学習時期(予定)	学習単元	学習単元内の内容のまとめ	備考
年度当初～5月上旬	体づくり運動・体育理論	体ほぐしの運動	
5月上旬～5月中旬	陸上競技・新体力テスト種目	短距離走・リレー	
5月中旬～学期末	球技	バレーボール	
9月上旬～9月下旬	体づくり運動・ダンス・体育理論	体ほぐしの運動・ダンス	
10月～11月中旬	球技	サッカー	
11月中旬～学期末	陸上競技	長距離走	
学期始め～学年末	球技	実生活に生かす運動の計画 バスケットボール・ソフトボール	



(2) 単元： 球技

<u>単元の目標</u> <p style="text-align: center;">知識及び技能</p> ①勝敗を競う楽しさや喜びを味わえるようにする。 ②技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する。 ③作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する。		<p style="text-align: center;">思考力、判断力、表現力等</p> ①知識や技能を得たり生かしたりしながら、攻防などの自己やチームの課題を発見する。 ②知識や技能を得たり生かしたりしながら、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫する。 ③知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。						
<u>観点別評価規準</u> <p style="text-align: center;">知識、技能</p> ①勝敗を競う楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアなプレイを大切にしている。 ②技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法、試合の行い方を理解している。 ③特性に応じたゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを身につけている。		<p style="text-align: center;">思考、判断、表現</p> ①攻防などの自己やチームの課題を発見している。 ②合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 ③自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。						
		<p style="text-align: center;">主体的に学習に取り組む態度</p> ①自主的に取り組むとともにフェアなプレイを大切にしようとしている。 ②自己の責任を果たそうとすることや作戦などについて話し合いに貢献しようとする。 ③一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしている。 ④健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとしている。						
<u>教材範囲</u> なし	<u>内容のまとめり I</u> バドミントン・バレーボール	<u>学習時期 (予定)</u> 6月上旬～7月下旬	<u>配当時間</u> 12時間					
<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>	<u>観点別学習評価</u>			<u>備考</u>				
	規準	知、技 評価方法	規準		思、判、表 評価方法	規準	態度 評価方法	
	基礎技術の確認	② 記録、観察	①②		記録、観察	②	観察	スキルテスト
	応用技術の確認	③ 記録、観察	①②		記録、観察	③	観察	スキルテスト
	ゲーム	①③ 記録、観察	③		記録、観察	①④	観察	
グループデジタル班ノート	②③ 入力確認	①②	入力確認	③④	入力確認	ICT活用		
<u>教材範囲</u> なし	<u>内容のまとめり II</u> サッカー・ソフトボール	<u>学習時期 (予定)</u> 9月中旬～11月中旬	<u>配当時間</u> 14時間					
<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>	<u>観点別学習評価</u>			<u>備考</u>				
	規準	知、技 評価方法	規準		思、判、表 評価方法	規準	態度 評価方法	
	基礎技術の確認	② 記録、観察	①②		記録、観察	②	観察	スキルテスト
	応用技術の確認	③ 記録、観察	①②		記録、観察	③	観察	スキルテスト
	ゲーム	①③ 記録、観察	③		記録、観察	①④	観察	
グループデジタル班ノート	②③ 入力確認	①②	入力確認	③④	入力確認	ICT活用		
<u>教材範囲</u> なし	<u>内容のまとめり III</u> バスケットボール	<u>学習時期 (予定)</u> 1月下旬～3月下旬	<u>配当時間</u> 12時間					
<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>	<u>観点別学習評価</u>			<u>備考</u>				
	規準	知、技 評価方法	規準		思、判、表 評価方法	規準	態度 評価方法	
	基礎技術の確認	② 記録、観察	①②		記録、観察	②	観察	スキルテスト
	応用技術の確認	③ 記録、観察	①②		記録、観察	③	観察	スキルテスト
	ゲーム	①③ 記録、観察	③		記録、観察	①④	観察	
グループデジタル班ノート	②③ 入力確認	①②	入力確認	③④	入力確認	ICT活用		

(3) 単元： 体づくり運動

<u>単元の目標</u> <p style="text-align: center;">知識及び運動</p> ①体を動かす楽しさや心地よさを味わえるようにする。 ②運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解する。 ③健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組む。		<p style="text-align: center;">思考力、判断力、表現力等</p> ①自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。	
<u>観点別評価規準</u>			
<p style="text-align: center;">知識、運動</p> ①体を動かす楽しさや心地よさを味わえるようにしている。 ②運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 ③健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組んでいる。		<p style="text-align: center;">思考、判断、表現</p> ①自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	
		<p style="text-align: center;">主体的に学習に取り組む態度</p> ①体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	

<u>教材範囲</u> なし		<u>内容のまとめり I</u> 体ほぐし運動		<u>学習時期 (予定)</u> 4月、9月、1月		<u>配当時間</u> 4 時間		
<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>		<u>観点別学習評価</u>						<u>備考</u>
		<p style="text-align: center;">知、運</p> 規準   評価方法		<p style="text-align: center;">思、判、表</p> 規準   評価方法		<p style="text-align: center;">態度</p> 規準   評価方法		
体ほぐしのための運動		①②	観察	①	観察	①	観察	
道具を活用した運動		①②	観察	①	観察	①	観察	
運動の組み立て		③	観察	①	観察	①	観察	発表

<u>教材範囲</u> なし		<u>内容のまとめり II</u> 実生活に生かす運動の計画		<u>学習時期 (予定)</u> 4月、9月、1月		<u>配当時間</u> 6 時間		
<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>		<u>観点別学習評価</u>						<u>備考</u>
		<p style="text-align: center;">知、技</p> 規準   評価方法		<p style="text-align: center;">思、判、表</p> 規準   評価方法		<p style="text-align: center;">態度</p> 規準   評価方法		
ラジオ体操第2		①②③	記録、観察	①②③	記録、観察	①②③	観察	発表

(4) 単元：            **体育理論**           

<u>単元の目標</u>		
知識	思考力、判断力、表現力等	
① スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解する。	① スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える。	
<u>観点別評価規準</u>		
知識	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
① 豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解している。	① 豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	① 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている。

<u>教材範囲</u> 大修館書店 現代保健体育 体育編	<u>内容のまとめり</u> I 豊かなスポーツライフの設計の仕方	<u>学習時期(予定)</u> 4月・5月、9月	<u>配当時間</u> 4 時間
------------------------------------	--------------------------------------	-----------------------------	---------------------

<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>	<u>観点別学習評価</u>						<u>備考</u>
	規準	知 評価方法	規準	思、判、表 評価方法	規準	態度 評価方法	
ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方	①	記録、観察	①	記録、観察	①	観察	確認テスト
ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方	①	記録、観察	①	記録、観察	①	観察	
スポーツ推進のための施策と諸条件	①	記録、観察	①	記録、観察	①	観察	
豊かなスポーツライフが広がる未来の社会	①	記録、観察	①	記録、観察	①	観察	

# 令和6年度（2024年度）シラバス

## 1 科目概要

教科 <b>外国語</b>	科目 <b>英語コミュニケーションII</b>	担当者(主) 井上 典仁	履修年次(今年度) 3年	単位数(今年度) 3単位	
履修対象	選択履修	前学年からの 継続履修	次学年での 継続履修	-	
教材(出版社)	教科書 Amity English Communication II	副教材			
定期考査の実施 ※ 変更可能性あり	1学期中間 ※5月中旬あたり 有	1学期期末 ※7月上旬あたり 有	2学期中間 ※10月中旬あたり -	2学期期末 ※12月上旬あたり 有	学年末 ※3年:1月末 他:2月中旬あたり 有
<b>科目の目標</b> ●英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。					
・聞くこと 日常的话题や社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、文章の展開や書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。	・読むこと 日常的话题や社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。	・話すこと【やり取り】 日常的话题や社会的な話題について、使用される語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いたり、聞いたり読んだりしたことを基にしたりすることで、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。	・話すこと【発表】 日常的话题や社会的な話題について、使用される語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いたり、聞いたり読んだりしたことを基にしたりすることで、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができる。	・書くこと 日常的话题や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いたり、聞いたり読んだりしたことを基にしたりして、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。	
<b>具体的な評価の方法</b> ●上記の5つの領域別の目標をもとに、下記の3つの観点・方法で評価する。					
知識・技能 ・定期考査 ・授業中の単語テスト ・音読テスト ・スピーキングテスト	思考・判断・表現 ・定期考査 ・音読テスト ・スピーキングテスト	主体的に学習に取り組む態度 ・音読テスト、スピーキングテスト ・授業中の発表態度や積極性 ・提出物の提出状況 ・学習教材や成果物の管理状況			
<b>担当者から受講上のアドバイス</b> ・毎回持参するもの 教科書、単語帳(新ユメタン①)、ドリル(REPEAT英文法ドリル)、紙ファイル、タブレット ・辞書について 電子、紙、タブレット端末の辞書機能など、スマホ以外なら、いずれも使用可能です。図書室から紙辞書を借りたら、自宅等に持ち帰らないよう、授業後は速やかに責任を持って返却しましょう。 ・単語テストについて 単語帳から出題します。10点満点で、基本的に毎時間授業の最初にタブレットを使って実施します。範囲は見開き2ページ分で、UNIT02からスタートします。第1回のテストはp170-173が範囲です。授業で学習する時間は十分とれませんので、自宅等で付属のCDを活用してテストに臨んでください。 ・音読テストとスピーキングテストについて 音読テストは教科書のLessonが終わるごとに実施します。音読の評価の観点は、①声の大きさ②明瞭さ③スムーズさ④正確さ⑤まとまり・態度です。スピーキングテストは音読に加え、本文の内容についてのQ&Aも行います。 ・その他 授業中に配付するワークシートは必ず紙ファイルに綴じて確実に保管しましょう。各定期考査後に紙ファイルを集めますので、日頃からプリント類の整理整頓を心がけましょう。授業中以外の連絡はタブレットのクラスルームで連絡をしますので、頻りにチェックをお願いします。					

## 2 年間指導計画

学習時期(予定)	学習単元	学習単元内の内容のまとめ	備考
年度当初～5月上旬	Okinawa	動詞の過去形・動名詞の復習	
5月中旬～6月中旬	The History of Japanese Food	動詞の過去形・動名詞の復習	
6月中旬～7月中旬	Volunteer Work	不定詞の復習/受動態の復習	
8月下旬～9月下旬	Gacha-gacha	SV00の文/SVOCの文	
9月下旬～10月下旬	Interesting Aquariums	形式主語it/形式目的語it	
10月下旬～11月下旬	The Relay of Ahmed's Life	知覚動詞/使役動詞	
11月下旬～12月中旬	Artificial Intelligence	接続詞/前置詞	
1月上旬～1月下旬	The Mystery of Colors	現在完了/現在完了進行形	

3 指導と評価の計画

(1) **単元：英語で表現するには**

<u>単元の目標</u>	
知識及び技能 be 動詞・一般動詞の現在形、助動詞について理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。	思考力、判断力、表現力等 be 動詞・一般動詞の現在形や助動詞を用いて、旅行で日本食の歴史について、場所や理由を紹介している。
<u>観点別評価規準</u>	
<u>知識、技能</u>	<u>思考、判断、表現</u>
<p>① 聞くこと be 動詞・一般動詞の現在形や助動詞を理解し、それを元に英文の内容を聞き取る技能を身に付けている。</p> <p>② 読むこと be 動詞・一般動詞の現在形や助動詞を理解し、それを基に、沖縄の魅力について書かれた文章の内容を読み取る技能を身につけている。</p> <p>③ 話すこと〈やり取り〉 be 動詞・一般動詞の現在形や助動詞を理解し、沖縄の魅力について、be 動詞・一般動詞の現在形や助動詞を用いて伝え合う技能を身につけている。</p> <p>④ 話すこと〈発表〉 be 動詞・一般動詞の現在形や助動詞を理解し、行きたい場所にある有名なものについて、基本的な語句や表現を用いて紹介する技能を身につけている。</p> <p>⑤ 書くこと be 動詞・一般動詞の現在形や助動詞を理解し、日本食の歴史の魅力について、書く技能を身につけている。</p>	<p>① 聞くこと 他者が行ってみたい場所の魅力について理解するために、他者が話している内容を聞いて、その概要や要点を捉えている。</p> <p>② 読むこと 沖縄の魅力についてまとめるために、書かれた文章の概要を捉えている。</p> <p>③ 話すこと〈やり取り〉 相手にわかってもらえるように、行ってみたい場所の魅力について、基本的な語句や表現を用いて伝え合っている。</p> <p>④ 話すこと〈発表〉 聞き手に伝わるように、行きたい場所にある有名なものについて、基本的な語句や表現を用いて紹介している。</p> <p>⑤ 書くこと 読み手に伝わるように、行きたい場所について、基本的な語句や表現を用いて書いている。</p>
	<u>主体的に学習に取り組む態度</u>
	<p>① 聞くこと 他者が行ってみたい場所の魅力について理解するために、他者が話している内容を聞いて、その概要や要点を捉えようとしている。</p> <p>② 読むこと 沖縄の魅力についてまとめるために、書かれた文章の概要を捉えようとしている。</p> <p>③ 話すこと〈やり取り〉 相手にわかってもらえるように、行きたい場所の魅力について、基本的な語句や表現を用いて伝え合おうとしている。</p> <p>④ 話すこと〈発表〉 聞き手に伝わるように、行きたい場所にある有名なものについて、基本的な語句や表現を用いて紹介しようとしている。</p> <p>⑤ 書くこと 読み手に伝わるように、行きたい場所について、基本的な語句や表現を用いて書こうとしている。</p>

<u>教材範囲</u> 教科書 P. 8～15	<u>内容のまとめり I</u> 沖縄について、動詞（現在形）、助動詞	<u>学習時期（予定）</u> 年度当初～5月上旬	<u>配当時間</u> 12時間			
<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>	<u>観点別学習評価</u>			<u>備考</u>		
	<u>知、技</u>	<u>思、判、表</u>	<u>態度</u>			
	規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法
沖縄について音読とQ&A、T/F	②	単元テスト 音読テスト			②	単元テスト 音読テスト
本文確認、インターネット検索 宮古島の有名人について音読とQ&A、T/F	①	単元テスト 音読テスト	②③	単元テスト	③	単元テスト 音読テスト
本文確認、インターネット検索 FOCUS、SKILLS、TRY	①	単元テスト	②③	単元テスト	③	単元テスト
Lesson 本文全体内容の再確認	②⑤	単元テスト	①② ③⑤	単元テスト	③⑤	単元テスト
自分が日本食の歴史について紹介する文を発表	④	パフォーマンステスト	④	パフォーマンステスト	④	パフォーマンステスト

(2) 単元：Lesson2 The History of Japanese Food

<p>単元の目標</p> <p>知識及び技能 be 動詞・一般動詞の過去形や動名詞を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。</p> <p>思考力、判断力、表現力等 be 動詞・一般動詞の過去形や動名詞を用いて、友だちの好きな食べ物について、理由や考えを紹介している。</p>							
<p>観点別評価規準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>知識、技能</th> <th>思考、判断、表現</th> <th>主体的に学習に取り組む態度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>①聞くこと be 動詞・一般動詞の過去形や動名詞を理解し、それを元に英文の内容を聞き取る技能を身に付けている。</p> <p>②読むこと be 動詞・一般動詞の過去形や動名詞を理解し、それを基に、日本食の歴史について書かれた文章の内容を読み取る技能を身につけている。</p> <p>③話すこと〈やり取り〉 be 動詞・一般動詞の過去形や動名詞を理解し、日本食の歴史について、be 動詞・一般動詞の過去形や動名詞を用いて伝え合う技能を身につけている。</p> <p>④話すこと〈発表〉 be 動詞・一般動詞の過去形や動名詞を理解し、日本食の歴史について、基本的な語句や表現を用いて紹介する技能を身につけている。</p> <p>⑤書くこと be 動詞・一般動詞の過去形や動名詞を理解し、日本食の歴史の魅力について、書く技能を身につけている。</p> </td> <td> <p>①聞くこと 他者の日本食の歴史についての考え理解するために、他者が話している内容を聞いて、その概要や要点を捉えている。</p> <p>②読むこと 日本食の歴史についてまとめるために、書かれた文章の概要を捉えている。</p> <p>③話すこと〈やり取り〉 相手にわかってもらえるように、日本食の歴史の魅力について、基本的な語句や表現を用いて伝え合っている。</p> <p>④話すこと〈発表〉 聞き手に伝わるように、日本食の歴史にある有名なものについて、基本的な語句や表現を用いて紹介している。</p> <p>⑤書くこと 読み手に伝わるように、日本食の歴史について、基本的な語句や表現を用いて書いている。</p> </td> <td> <p>①聞くこと 他者の日本食の歴史について理解するために、話している内容を聞いて、その概要や要点を捉えようとしている。</p> <p>②読むこと 日本食の歴史についてまとめるために、書かれた文章の概要を捉えようとしている。</p> <p>③話すこと〈やり取り〉 相手にわかってもらえるように、日本食の歴史の魅力について、基本的な語句や表現を用いて伝え合おうとしている。</p> <p>④話すこと〈発表〉 聞き手に伝わるように、日本食の歴史について、基本的な語句や表現を用いて紹介しようとしている。</p> <p>⑤書くこと 読み手に伝わるように、日本食の歴史について、基本的な語句や表現を用いて書こうとしている。</p> </td> </tr> </tbody> </table>		知識、技能	思考、判断、表現	主体的に学習に取り組む態度	<p>①聞くこと be 動詞・一般動詞の過去形や動名詞を理解し、それを元に英文の内容を聞き取る技能を身に付けている。</p> <p>②読むこと be 動詞・一般動詞の過去形や動名詞を理解し、それを基に、日本食の歴史について書かれた文章の内容を読み取る技能を身につけている。</p> <p>③話すこと〈やり取り〉 be 動詞・一般動詞の過去形や動名詞を理解し、日本食の歴史について、be 動詞・一般動詞の過去形や動名詞を用いて伝え合う技能を身につけている。</p> <p>④話すこと〈発表〉 be 動詞・一般動詞の過去形や動名詞を理解し、日本食の歴史について、基本的な語句や表現を用いて紹介する技能を身につけている。</p> <p>⑤書くこと be 動詞・一般動詞の過去形や動名詞を理解し、日本食の歴史の魅力について、書く技能を身につけている。</p>	<p>①聞くこと 他者の日本食の歴史についての考え理解するために、他者が話している内容を聞いて、その概要や要点を捉えている。</p> <p>②読むこと 日本食の歴史についてまとめるために、書かれた文章の概要を捉えている。</p> <p>③話すこと〈やり取り〉 相手にわかってもらえるように、日本食の歴史の魅力について、基本的な語句や表現を用いて伝え合っている。</p> <p>④話すこと〈発表〉 聞き手に伝わるように、日本食の歴史にある有名なものについて、基本的な語句や表現を用いて紹介している。</p> <p>⑤書くこと 読み手に伝わるように、日本食の歴史について、基本的な語句や表現を用いて書いている。</p>	<p>①聞くこと 他者の日本食の歴史について理解するために、話している内容を聞いて、その概要や要点を捉えようとしている。</p> <p>②読むこと 日本食の歴史についてまとめるために、書かれた文章の概要を捉えようとしている。</p> <p>③話すこと〈やり取り〉 相手にわかってもらえるように、日本食の歴史の魅力について、基本的な語句や表現を用いて伝え合おうとしている。</p> <p>④話すこと〈発表〉 聞き手に伝わるように、日本食の歴史について、基本的な語句や表現を用いて紹介しようとしている。</p> <p>⑤書くこと 読み手に伝わるように、日本食の歴史について、基本的な語句や表現を用いて書こうとしている。</p>
知識、技能	思考、判断、表現	主体的に学習に取り組む態度					
<p>①聞くこと be 動詞・一般動詞の過去形や動名詞を理解し、それを元に英文の内容を聞き取る技能を身に付けている。</p> <p>②読むこと be 動詞・一般動詞の過去形や動名詞を理解し、それを基に、日本食の歴史について書かれた文章の内容を読み取る技能を身につけている。</p> <p>③話すこと〈やり取り〉 be 動詞・一般動詞の過去形や動名詞を理解し、日本食の歴史について、be 動詞・一般動詞の過去形や動名詞を用いて伝え合う技能を身につけている。</p> <p>④話すこと〈発表〉 be 動詞・一般動詞の過去形や動名詞を理解し、日本食の歴史について、基本的な語句や表現を用いて紹介する技能を身につけている。</p> <p>⑤書くこと be 動詞・一般動詞の過去形や動名詞を理解し、日本食の歴史の魅力について、書く技能を身につけている。</p>	<p>①聞くこと 他者の日本食の歴史についての考え理解するために、他者が話している内容を聞いて、その概要や要点を捉えている。</p> <p>②読むこと 日本食の歴史についてまとめるために、書かれた文章の概要を捉えている。</p> <p>③話すこと〈やり取り〉 相手にわかってもらえるように、日本食の歴史の魅力について、基本的な語句や表現を用いて伝え合っている。</p> <p>④話すこと〈発表〉 聞き手に伝わるように、日本食の歴史にある有名なものについて、基本的な語句や表現を用いて紹介している。</p> <p>⑤書くこと 読み手に伝わるように、日本食の歴史について、基本的な語句や表現を用いて書いている。</p>	<p>①聞くこと 他者の日本食の歴史について理解するために、話している内容を聞いて、その概要や要点を捉えようとしている。</p> <p>②読むこと 日本食の歴史についてまとめるために、書かれた文章の概要を捉えようとしている。</p> <p>③話すこと〈やり取り〉 相手にわかってもらえるように、日本食の歴史の魅力について、基本的な語句や表現を用いて伝え合おうとしている。</p> <p>④話すこと〈発表〉 聞き手に伝わるように、日本食の歴史について、基本的な語句や表現を用いて紹介しようとしている。</p> <p>⑤書くこと 読み手に伝わるように、日本食の歴史について、基本的な語句や表現を用いて書こうとしている。</p>					
<p>教材範囲 教科書P. 16～23</p>	<p>内容のまとめり I 日本食の歴史、動詞（過去形）、動名詞</p>	<p>学習時期（予定） 5月中旬～6月中旬</p>	<p>配当時間 12時間</p>				

学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価						備考
	知、技		思、判、表		態度		
	規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法	
昔の日本食について音読とQ&A、T/F	②	単元テスト 音読テスト			②	単元テスト 音読テスト	
本文確認、インターネット検索	①	単元テスト	②③	単元テスト	③	単元テスト	
現在の日本食について音読とQ&A、T/F	②	単元テスト 音読テスト			②	単元テスト 音読テスト	
本文確認、インターネット検索	①	単元テスト	②③	単元テスト	③	単元テスト	
FOCUS、SKILLS、TRY	③	単元テスト			③	単元テスト	
Lesson 本文全体内容の再確認	②⑤	単元テスト	①② ③⑤	単元テスト	③⑤	単元テスト	
自分が好きな食べ物について紹介する文を発表	④	パフォーマンステスト	④	パフォーマンステスト	④	パフォーマンステスト	

(3) 単元：Lesson3 Volunteer Work

<p>単元の目標</p> <p>知識及び技能 不定詞や受動態を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。</p>		<p>思考力、判断力、表現力等 不定詞や受動態を用いて、参加してみたいボランティアについて、理由や考えを書いて伝えている。</p>
<p>観点別評価規準</p>		
<p>知識、技能</p> <p>① 聞くこと 不定詞の用法と受動態を理解し、それを元に英文の内容を聞き取る技能を身に付けている。</p> <p>② 読むこと 不定詞の用法と受動態を理解し、それを基に、ボランティア活動について書かれた文章の内容を読み取る技能を身につけている。</p> <p>③ 話すこと〈やり取り〉 不定詞の用法と受動態を理解し、高校生が行っているボランティア活動について、不定詞の用法と受動態を用いて伝え合う技能を身につけている。</p> <p>④ 話すこと〈発表〉 不定詞の用法と受動態を理解し、高校生ができるさまざまなボランティア活動について、基本的な語句や表現を用いて紹介する技能を身につけている。</p> <p>⑥ 書くこと 不定詞の用法と受動態を理解し、ボランティア活動について、不定詞の用法と受動態を用いて書く技能を身につけている。</p>	<p>思考、判断、表現</p> <p>① 聞くこと 他者のボランティア活動をする意義について理解するために、他者が話している内容を聞いて、その概要や要点を捉えている。</p> <p>② 読むこと ボランティア活動をする意義についてまとめるために、書かれた文章の概要を捉えている。</p> <p>③ 話すこと〈やり取り〉 相手にわかってもらえるように、高校生が行っているボランティア活動やその意義について、基本的な語句や表現を用いて伝え合っている。</p> <p>④ 話すこと〈発表〉 聞き手に伝わるように、高校生ができるボランティア活動について、基本的な語句や表現を用いて紹介している。</p> <p>⑤ 書くこと 読み手に伝わるように、高校生ができるボランティア活動について、基本的な語句や表現を用いて書いている。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>① 聞くこと 他者のボランティア活動をする意義について理解するために、話している内容を聞いて、その概要や要点を捉えようとしている。</p> <p>② 読むこと ボランティア活動をする意義についてまとめるために、書かれた文章の概要を捉えようとしている。</p> <p>③ 話すこと〈やり取り〉 相手にわかってもらえるように、高校生が行っているボランティア活動やその意義について、基本的な語句や表現を用いて伝え合おうとしている。</p> <p>④ 話すこと〈発表〉 聞き手に伝わるように、高校生ができるさまざまなボランティア活動について、基本的な語句や表現を用いて紹介しようとしている。</p> <p>⑤ 書くこと 読み手に伝わるように、高校生ができるさまざまなボランティア活動について、基本的な語句や表現を用いて書こうとしている。</p>

<p>教材範囲</p> <p>教科書P. 16～23</p>	<p>内容のまとめり I</p> <p>ボランティア活動、不定詞、受動態</p>	<p>学習時期(予定)</p> <p>6月中旬～7月中旬</p>	<p>担当時間</p> <p>12時間</p>				
<p>学習活動、学習のねらい、学習形式等</p>	<p>観点別学習評価</p>			<p>備考</p>			
	<p>知、技</p> <p>規準</p>	<p>評価方法</p>	<p>思、判、表</p> <p>規準</p>		<p>評価方法</p>	<p>態度</p> <p>規準</p>	<p>評価方法</p>
<p>ボランティア活動について音読とQ&amp;A、T/F</p>	<p>②</p>	<p>単元テスト 音読テスト</p>			<p>②</p>	<p>単元テスト 音読テスト</p>	
<p>本文確認、インターネット検索</p>	<p>①</p>	<p>単元テスト</p>	<p>②③</p>	<p>単元テスト</p>	<p>③</p>	<p>単元テスト</p>	
<p>岡山県の伝統的な踊りについて音読とQ&amp;A、T/F</p>	<p>②</p>	<p>単元テスト 音読テスト</p>			<p>②</p>	<p>単元テスト 音読テスト</p>	
<p>本文確認、インターネット検索</p>	<p>①</p>	<p>単元テスト</p>	<p>②③</p>	<p>単元テスト</p>	<p>③</p>	<p>単元テスト</p>	
<p>FOCUS、SKILLS、TRY</p>	<p>③</p>	<p>単元テスト</p>			<p>③</p>	<p>単元テスト</p>	
<p>Lesson 本文全体内容の再確認</p>	<p>②⑤</p>	<p>単元テスト</p>	<p>①② ③⑤</p>	<p>単元テスト</p>	<p>③⑤</p>	<p>単元テスト</p>	
<p>自分が好きな食べ物について紹介する文を発表</p>	<p>④</p>	<p>パフォーマンステスト</p>	<p>④</p>	<p>パフォーマンステスト</p>	<p>④</p>	<p>パフォーマンステスト</p>	

(4) 単元：Lesson4 Gacha-gacha

<p>単元の目標</p> <p style="text-align: center;">知識及び技能</p> <p>SV00 の文や SV0C の文を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。</p>		<p style="text-align: center;">思考力、判断力、表現力等</p> <p>SV00 の文や SV0C の文を用いて、ガチャガチャにあったらうれしいものについて、理由や考えを説明している。</p>
<p>観点別評価規準</p>		
知識、技能	思考、判断、表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①聞くこと</p> <p>第4、5文型を理解し、それを元に英文の内容を聞き取る技能を身に付けている。</p> <p>②読むこと</p> <p>第4、5文型を理解し、それを基に、ガチャガチャについて書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。</p> <p>③話すこと〈やり取り〉</p> <p>第4、5文型を理解し、ガチャガチャの景品が外国人に人気がある理由について、第4、5文型を用いて伝え合う技能を身に付けている。</p> <p>④話すこと〈発表〉</p> <p>第4、5文型を理解し、ガチャガチャの中にあつたらうれしいと思うものについて、基本的な語句や表現を用いて紹介する技能を身に付けている。</p> <p>⑦書くこと</p> <p>第4、5文型を理解し、外国人に人気の日本文化について、第4、5文型を用いて書く技能を身に付けている。</p>	<p>①聞くこと</p> <p>ガチャガチャの景品が外国人に人気がある理由について理解するために、他者が話している内容を聞いて、その概要や要点を捉えている。</p> <p>②読むこと</p> <p>ガチャガチャが日本文化の象徴である理由についてまとめるために、書かれた文章の概要を捉えている。</p> <p>③話すこと〈やり取り〉</p> <p>相手にわかってもらえるように、ガチャガチャの景品が外国人に人気のある理由について、基本的な語句や表現を用いて伝え合っている。</p> <p>④話すこと〈発表〉</p> <p>聞き手に伝わるように、ガチャガチャの中にあつたらうれしいと思うものについて、基本的な語句や表現を用いて紹介している。</p> <p>⑤書くこと</p> <p>読み手に伝わるように、外国人に人気の日本文化について、基本的な語句や表現を用いて書いている。</p>	<p>①聞くこと</p> <p>ガチャガチャの景品が外国人に人気がある理由について理解するために、話している内容を聞いて、その概要や要点を捉えようとしている。</p> <p>②読むこと</p> <p>ガチャガチャが日本文化の象徴である理由についてまとめるために、書かれた文章の概要を捉えようとしている。</p> <p>③話すこと〈やり取り〉</p> <p>相手にわかってもらえるように、ガチャガチャの景品が外国人に人気のある理由について、基本的な語句や表現を用いて伝え合おうとしている。</p> <p>④話すこと〈発表〉</p> <p>聞き手に伝わるように、ガチャガチャの中にあつたらうれしいと思うものについて、基本的な語句や表現を用いて紹介しようとしている。</p> <p>⑤書くこと</p> <p>読み手に伝わるように、外国人に人気の日本文化について、基本的な語句や表現を用いて書こうとしている。</p>

<p>教材範囲</p> <p>教科書P. 16～23</p>	<p>内容のまとめり I</p> <p>ガチャガチャについて、第4、5文型</p>	<p>学習時期(予定)</p> <p>8月下旬～9月下旬</p>	<p>配当時間</p> <p>12時間</p>
--------------------------------	---	----------------------------------	-------------------------

学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価						備考
	知、技		思、判、表		態度		
	規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法	
ガチャガチャについて音読とQ&A、T/F	②	単元テスト 音読テスト			②	単元テスト 音読テスト	
本文確認、インターネット検索	①	単元テスト	②③	単元テスト	③	単元テスト	
ガチャガチャが外国人に人気な理由について音読とQ&A、T/F	②	単元テスト 音読テスト			②	単元テスト 音読テスト	
本文確認、インターネット検索	①	単元テスト	②③	単元テスト	③	単元テスト	
ガチャガチャが日本文化の象徴であることについて音読とQ&A、T/F	②	単元テスト 音読テスト			②	単元テスト 音読テスト	
本文確認、インターネット検索	①	単元テスト	②③	単元テスト	③	単元テスト	
FOCUS、SKILLS、TRY	③	単元テスト			③	単元テスト	
Lesson 本文全体内容の再確認	②⑤	単元テスト	①② ③⑤	単元テスト	③⑤	単元テスト	
ガチャガチャの中にあつたらうれしいものについて紹介する文を発表	④	パフォーマンステスト	④	パフォーマンステスト	④	パフォーマンステスト	

(5) **単元：Lesson5 Interesting Aquariums**

<p><u>単元の目標</u></p> <p style="text-align: center;">知識及び技能</p> <p>形式主語 it や形式目的語 it について理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。</p>		<p style="text-align: center;">思考力、判断力、表現力等</p> <p>形式主語 it や形式目的語 it を用いて、水族館と動物園のどちらが好きかについて、理由や考えを説明している。</p>	
<p><u>観点別評価規準</u></p>			
<p style="text-align: center;">知識、技能</p> <p>①聞くこと 形式主語と形式目的語を理解し、それを元に英文の内容を聞き取る技能を身に付けている。</p> <p>②読むこと 形式主語と形式目的語を理解し、それを基に、日本のユニークな水族館について書かれた文章の内容を読み取る技能を身につけている。</p> <p>③話すこと〈やり取り〉 形式主語と形式目的語を理解し、好きな水族館や動物園について、形式主語と形式目的語を用いて伝え合う技能を身につけている。</p> <p>④話すこと〈発表〉 形式主語と形式目的語を理解し、好きな水族館や動物園について、基本的な語句や表現を用いて紹介する技能を身につけている。</p> <p>⑤書くこと 形式主語と形式目的語を理解し、好きな水族館や動物園について、形式主語と形式目的語を用いて書く技能を身につけている。</p>		<p style="text-align: center;">思考、判断、表現</p> <p>①聞くこと 他者が水族館や動物園について説明しているのを聞いて、その概要や要点を捉えている。</p> <p>②読むこと ユニークな水族館や動物園についてまとめるために、書かれた文章の概要を捉えている。</p> <p>③話すこと〈やり取り〉 相手にわかってもらえるように、水族館や海の生き物について、基本的な語句や表現を用いて伝え合っている。</p> <p>④話すこと〈発表〉 聞き手に伝わるように、水族館と動物園とではどちらが好きかについて、基本的な語句や表現を用いて紹介している。</p> <p>⑤書くこと 読み手に伝わるように、水族館と動物園とではどちらが好きかについて、基本的な語句や表現を用いて書いている。</p>	
		<p style="text-align: center;">主体的に学習に取り組む態度</p> <p>①聞くこと 他者が水族館や動物園について説明している内容を聞いて、その概要や要点を捉えようとしている。</p> <p>②読むこと ユニークな水族館や動物園についてまとめるために、書かれた文章の概要を捉えようとしている。</p> <p>③話すこと〈やり取り〉 相手にわかってもらえるように、水族館や海の生き物について、基本的な語句や表現を用いて伝え合おうとしている。</p> <p>④話すこと〈発表〉 聞き手に伝わるように、水族館と動物園とではどちらが好きかについて、基本的な語句や表現を用いて紹介しようとしている。</p> <p>⑤書くこと 読み手に伝わるように、水族館と動物園とではどちらが好きかについて、基本的な語句や表現を用いて書こうとしている。</p>	

<u>教材範囲</u> 教科書P. 16～23	<u>内容のまとめり I</u> 水族館について、形式主語、形式目的語	<u>学習時期(予定)</u> 9月下旬～10月下旬	<u>配当時間</u> 12時間
----------------------------	--	-------------------------------	---------------------

学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価						備考
	知、技		思、判、表		態度		
	規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法	
水族館について音読とQ&A、T/F	②	単元テスト 音読テスト			②	単元テスト 音読テスト	
本文確認、インターネット検索	①	単元テスト	②③	単元テスト	③	単元テスト	
加茂水族館について音読とQ&A、T/F	②	単元テスト 音読テスト			②	単元テスト 音読テスト	
本文確認、インターネット検索	①	単元テスト	②③	単元テスト	③	単元テスト	
高知県室戸市にある水族館について音読とQ&A、T/F	②	単元テスト 音読テスト			②	単元テスト 音読テスト	
本文確認、インターネット検索	①	単元テスト	②③	単元テスト	③	単元テスト	
FOCUS、SKILLS、TRY	③	単元テスト			③	単元テスト	
Lesson 本文全体内容の再確認	②⑤	単元テスト	①② ③⑤	単元テスト	③⑤	単元テスト	
水族館と動物園どちらが好きかについて紹介する文を発表	④	パフォーマンステスト	④	パフォーマンステスト	④	パフォーマンステスト	

(6) 単元：Lesson6 The Relay of Ahmed' s Life

単元の目標	
知識及び技能 知覚動詞や使役動詞について理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。	思考力、判断力、表現力等 知覚動詞や使役動詞を用いて、パレスチナとイスラエルの問題について、考えや気持ちを発表している。
観点別評価規準	
知識、技能	思考、判断、表現
<p>①聞くこと 知覚動詞や使役動詞を理解し、それを基に英文の内容を聞き取る技能を身に付けている。</p> <p>②読むこと 知覚動詞や使役動詞を理解し、それを基に、アハメドくんのいのちのリレーについて書かれた文章の内容を読み取る技能を身につけている。</p> <p>③話すこと〈やり取り〉 知覚動詞や使役動詞を理解し、体調等について、知覚動詞や使役動詞を用いて伝え合う技能を身につけている。</p> <p>④話すこと〈発表〉 知覚動詞や使役動詞を理解し、自分の考える平和について、基本的な語句や表現を用いて紹介する技能を身につけている。</p> <p>⑤書くこと 知覚動詞や使役動詞を理解し、自分の考える平和について、知覚動詞や使役動詞を用いて書く技能を身につけている。</p>	<p>①聞くこと 他者が将来の夢について話している内容を聞いて、その概要や要点を捉えている。</p> <p>②読むこと 平和やいのちについてまとめるために、書かれた文章の概要を捉えている。</p> <p>③話すこと〈やり取り〉 相手にわかってもらえるように、自分の体調や症状などについて、基本的な語句や表現を用いて伝え合っている。</p> <p>④話すこと〈発表〉 聞き手に伝わるように、自分の考える平和や問題解決方法について、基本的な語句や表現を用いて紹介している。</p> <p>⑤書くこと 読み手に伝わるように、自分の考える平和や問題解決方法について、基本的な語句や表現を用いて書いている。</p>
	主体的に学習に取り組む態度
	<p>①聞くこと 他者が将来の夢について話している内容を聞いて、その概要や要点を捉えようとしている。</p> <p>②読むこと 平和やいのちについてまとめるために、書かれた文章の概要を捉えようとしている。</p> <p>③話すこと〈やり取り〉 相手にわかってもらえるように、自分の体調や症状などについて、基本的な語句や表現を用いて伝え合おうとしている。</p> <p>④話すこと〈発表〉 聞き手に伝わるように、自分の考える平和や問題解決方法について、基本的な語句や表現を用いて紹介しようとしている。</p> <p>⑤書くこと 読み手に伝わるように、自分の考える平和や問題解決方法について、基本的な語句や表現を用いて書こうとしている。</p>

教材範囲 教科書P. 52～61	内容のまとめり I 平和について、知覚動詞、使役動詞	学習時期(予定) 10月下旬～11月下旬	配当時間 12時間
---------------------	-------------------------------	-------------------------	--------------

学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価						備考
	知、技		思、判、表		態度		
	規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法	
アハメドくんに起きた出来事について音読とQ&A、T/F	②	単元テスト 音読テスト			②	単元テスト 音読テスト	
本文確認、インターネット検索	①	単元テスト	②③	単元テスト	③	単元テスト	
アハメドくんの死について音読とQ&A、T/F	②	単元テスト 音読テスト			②	単元テスト 音読テスト	
本文確認、インターネット検索	①	単元テスト	②③	単元テスト	③	単元テスト	
アハメドくんの夢について音読とQ&A、T/F	②	単元テスト 音読テスト			②	単元テスト 音読テスト	
本文確認、インターネット検索	①	単元テスト	②③	単元テスト	③	単元テスト	
FOCUS、SKILLS、TRY	③	単元テスト			③	単元テスト	
Lesson 本文全体内容の再確認	②⑤	単元テスト	①② ③⑤	単元テスト	③⑤	単元テスト	
自分の考える平和について紹介する文を発表	④	パフォーマンステスト	④	パフォーマンステスト	④	パフォーマンステスト	

(7) **単元：Lesson7 Artificial Intelligence**

<p><u>単元の目標</u></p> <p style="text-align: center;">知識及び技能</p> <p>接続詞や前置詞について理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。</p>		<p style="text-align: center;">思考力、判断力、表現力等</p> <p>接続詞や前置詞を用いて、自分の欲しいAI ロボットについて、考えや気持ちを絵を使って説明している。</p>	
<p><u>観点別評価規準</u></p>			
<p style="text-align: center;">知識、技能</p> <p>①聞くこと 接続詞や前置詞を理解し、それを基に AI ロボットに関する英文の内容を聞き取る技能を身に付けている。</p> <p>②読むこと 接続詞や前置詞を理解し、それを基に、AI ができることについて書かれた文章の内容を読み取る技能を身につけている。</p> <p>③話すこと〈やり取り〉 接続詞や前置詞を理解し、AI ロボットと人間の関係について、接続詞等を用いて伝え合う技能を身につけている。</p> <p>④話すこと〈発表〉 接続詞や前置詞を理解し、自分が欲しい AI ロボットについて、基本的な語句や表現を用いて紹介する技能を身につけている。</p> <p>⑤書くこと 接続詞や前置詞を理解し、自分が欲しい AI ロボットについて、接続詞や前置詞を用いて書く技能を身につけている。</p>		<p style="text-align: center;">思考、判断、表現</p> <p>①聞くこと 他者が欲しいと思う AI ロボットについて話している内容を聞いて、その概要や要点を捉えている。</p> <p>②読むこと AI が人間の日常生活にどのように活用されているか、将来 AI ロボットと人間の関係はどのようになるかについてまとめるために、書かれた文章の概要を捉えている。</p> <p>③話すこと〈やり取り〉 相手にわかってもらえるように、AI ロボットと人間の関係について、基本的な語句や表現を用いて伝え合っている。</p> <p>④話すこと〈発表〉 聞き手に伝わるように、自分の欲しい AI ロボットについて、基本的な語句や表現を用いて紹介している。</p> <p>⑤書くこと 読み手に伝わるように、自分の欲しい AI ロボットについて、基本的な語句や表現を用いて書いている。</p>	
		<p style="text-align: center;">主体的に学習に取り組む態度</p> <p>①聞くこと 他者が欲しいと思う AI ロボットについて話しているのを聞いて、その概要や要点を捉えようとしている。</p> <p>②読むこと AI が人間の日常生活にどのように活用されているか、将来 AI ロボットと人間の関係はどのようになるかについてまとめるために、書かれた文章の概要を捉えようとしている。</p> <p>③話すこと〈やり取り〉 相手にわかってもらえるように、AI ロボットと人間の関係について、基本的な語句や表現を用いて伝え合おうとしている。</p> <p>④話すこと〈発表〉 聞き手に伝わるように、自分の欲しい AI ロボットについて、基本的な語句や表現を用いて紹介しようとしている。</p> <p>⑤書くこと 読み手に伝わるように、自分の欲しい AI ロボットについて、基本的な語句や表現を用いて書こうとしている。</p>	

<u>教材範囲</u> 教科書 P. 64～73	<u>内容のまとめ</u> I AI ロボットについて、接続詞、前置詞	<u>学習時期（予定）</u> 1 1月下旬～1 2月中旬	<u>配当時間</u> 1 2時間
-----------------------------	--	----------------------------------	----------------------

<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>	<u>観点別学習評価</u>						<u>備考</u>
	知、技		思、判、表		態度		
	規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法	
AI ロボットについて音読とQ & A、T/F	②	単元テスト 音読テスト			②	単元テスト 音読テスト	
本文確認、インターネット検索	①	単元テスト	②③	単元テスト	③	単元テスト	
AI と生活について音読とQ & A、T/F	②	単元テスト 音読テスト			②	単元テスト 音読テスト	
本文確認、インターネット検索	①	単元テスト	②③	単元テスト	③	単元テスト	
AI ロボットと人間の関係について音読とQ & A、T/F	②	単元テスト 音読テスト			②	単元テスト 音読テスト	
本文確認、インターネット検索	①	単元テスト	②③	単元テスト	③	単元テスト	
FOCUS、SKILLS、TRY	③	単元テスト			③	単元テスト	
Lesson 本文全体内容の再確認	②⑤	単元テスト	①② ③⑤	単元テスト	③⑤	単元テスト	
自分の欲しい AI ロボットについて紹介する文を発表	④	パフォーマンステスト	④	パフォーマンステスト	④	パフォーマンステスト	

(8) 単元：Lesson8 The Mystery of Colors

<p>単元の目標</p> <p>知識及び技能 現在完了・現在完了進行形について理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。</p>		<p>思考力、判断力、表現力等 現在完了や現在完了進行形を用いて、写っている果物の色について、考えを説明している。</p>
<p>観点別評価規準</p>		
<p>知識、技能</p> <p>①聞くこと 現在完了・現在完了進行形を理解し、それを基に英文の内容を聞き取る技能を身に付けている。</p> <p>②読むこと 現在完了・現在完了進行形を理解し、それを基に、色の不思議について書かれた文章の内容を読み取る技能を身につけている。</p> <p>③話すこと〈やり取り〉 現在完了・現在完了進行形を理解し、日常生活や自分の好きな色について、現在完了等を用いて伝える技能を身につけている。</p> <p>④話すこと〈発表〉 現在完了・現在完了進行形を理解し、色の持つ力や日常生活について、基本的な語句や表現を用いて紹介する技能を身につけている。</p> <p>⑤書くこと 現在完了・現在完了進行形を理解し、色の持つ力や日常生活について、現在完了・現在完了進行形を用いて書く技能を身につけている。</p>	<p>思考、判断、表現</p> <p>①聞くこと 色が持つ力や色が私たちに与える影響について理解するために、他社が話している内容を聞いて、その概要や要点を捉えている。</p> <p>②読むこと 色の不思議や色の持つ力についてまとめるために、書かれた文章の概要を捉えている。</p> <p>③話すこと〈やり取り〉 相手にわかってもらえるように、日常生活や好きな色について、基本的な語句や表現を用いて伝え合っている。</p> <p>④話すこと〈発表〉 聞き手に伝わるように、色の持つ力や友人関係について、基本的な語句や表現を用いて紹介している。</p> <p>⑤書くこと 読み手に伝わるように、色の持つ力や友人関係について、基本的な語句や表現を用いて書いている。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>①聞くこと 色が持つ力や色が私たちに与える影響について理解するために、他社が話している内容を聞いて、その概要や要点を捉えようとしている。</p> <p>②読むこと 色の不思議や色の持つ力についてまとめるために、書かれた文章の概要を捉えようとしている。</p> <p>③話すこと〈やり取り〉 相手にわかってもらえるように、日常生活や好きな色について、基本的な語句や表現を用いて伝え合おうとしている。</p> <p>④話すこと〈発表〉 聞き手に伝わるように、色の持つ力や友人関係について、基本的な語句や表現を用いて紹介しようとしている。</p> <p>⑤書くこと 読み手に伝わるように、色の持つ力や友人関係について、基本的な語句や表現を用いて書こうとしている。</p>

<p>教材範囲 教科書P. 74～83</p>	<p>内容のまとめ I 色について、現在完了・現在完了進行形</p>	<p>学習時期(予定) 1月上旬～1月下旬</p>	<p>配当時間 12時間</p>
-----------------------------	--	-------------------------------	----------------------

学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価						備考
	知、技		思、判、表		態度		
	規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法	
色の持つ力について音読とQ&A、T/F	②	単元テスト 音読テスト			②	単元テスト 音読テスト	
本文確認、インターネット検索	①	単元テスト	②③	単元テスト	③	単元テスト	
色が心身に及ぼす影響について音読とQ&A、T/F	②	単元テスト 音読テスト			②	単元テスト 音読テスト	
本文確認、インターネット検索	①	単元テスト	②③	単元テスト	③	単元テスト	
色が食欲に及ぼす影響について音読とQ&A、T/F	②	単元テスト 音読テスト			②	単元テスト 音読テスト	
本文確認、インターネット検索	①	単元テスト	②③	単元テスト	③	単元テスト	
FOCUS、SKILLS、TRY	③	単元テスト			③	単元テスト	
Lesson 本文全体内容の再確認	②⑤	単元テスト	①② ③⑤	単元テスト	③⑤	単元テスト	
自分の欲しいAIロボットについて紹介する文を発表	④	パフォーマンステスト	④	パフォーマンステスト	④	パフォーマンステスト	

# 令和6年度（2024年度）シラバス

## 1 科目概要

教科 <b>外国語</b>	科目 <b>論理・表現 I</b>	担当者(主) 井上 典仁	履修年次(今年度) 3年	単位数(今年度) 2単位
履修対象 全員必履修	前学年からの 継続履修 -	次学年での 継続履修 -		
教材(出版社)	教科書 東京書籍			
	副教材			
定期考査の実施 ※ 変更可能性あり	1学期中間 ※5月中旬あたり -	1学期期末 ※7月上旬あたり 有	2学期中間 ※10月中旬あたり -	2学期期末 ※12月上旬あたり 有
				学年末 ※3年:1月末 他:2月中旬あたり 有
<b>科目の目標</b> ●英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、三つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。				
話すこと [やり取り]		話すこと [発表]		書くこと
ア 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝えることができる。 イ デイバートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合うことができる。		ア 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができる。 イ スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができる。		ア 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができる。 イ 聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができる。
<b>具体的な評価の方法</b> 上記の3つの領域別の目標をもとに、下記の3つの観点・方法で評価する。				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>スピーキングテスト</li> <li>章末小テスト</li> <li>定期考査</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>スピーキングテスト</li> <li>スピーチ</li> <li>章末小テスト</li> <li>定期考査</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>スピーキングテスト</li> <li>スピーチ</li> <li>定期考査</li> <li>提出物</li> <li>授業態度</li> </ul>
<b>担当者から受講上のアドバイス</b> ①授業に出席し、与えられた提出物は必ず提出する。 ②授業では、積極的にペアワークやグループワークに参加すること。多少のミスは恐れず、話し方や顔の表情、しぐさなどを工夫して自分の考えや気持ちを相手に伝えることが大切である。 ③配付されたワークシートと考査問題は整理整頓してファイルに保存する。 ④分からないところは、時間に余裕を持って質問すること。 ⑤月に2回はALTの先生の授業を実施する。 ⑥スピーキングテストと章末小テスト、スピーチ発表を定期的実施する。				

## 2 年間指導計画

学習時期(予定)	学習単元	学習単元内の内容のまとめ	備考
年度当初～4月中旬	英語で表現するには	既習内容の復習	
4月下旬～5月中旬	初めての食事	ほめる、勧める、断る	
5月下旬～6月中旬	道に迷う	提案する、依頼する	
6月下旬～7月中旬	人物紹介	身近な人を紹介する	
8月下旬～9月中旬	体調が悪い	体調を伝える、指示等をする	
9月下旬～10月中旬	買い物	描写、相づちをうつ	
10月下旬～11月中旬	行ってみたい場所	希望・理由を述べる、	
11月下旬～12月中旬	イベントに誘われる	誘う、誘いを受ける・断る	
1月上旬～1月下旬	スクールカウンセラーに相談	状況を説明する。手助けを申し出る。 お礼や感謝を述べる。	

(1) 単元：英語で表現するには

<p><u>単元の目標</u></p> <p>知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主語、動詞、文構造、疑問文と否定文、品詞、句と節について理解している。</li> <li>英語で表現するときに、まずはやさしい日本語に言い換えたり、発想自体を変えたりするなどの技能を身につけている。</li> </ul>		<p>思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>左記の知識・技能を基に、自分の身の回りの事柄を表現しようとしている。</li> </ul>
<p><u>観点別評価規準</u></p>		
<p>知識、技能</p> <p>①話すこと〈やり取り〉 主語、動詞、文構造、疑問文と否定文、品詞、句と節について理解し、それらを用いて自分のことを伝え合う技能を身につけている。</p> <p>②話すこと〈発表〉 主語、動詞、文構造、疑問文と否定文、品詞、句と節について理解し、それらを用いて自分のことを表現する技能を身につけている。</p> <p>③書くこと 主語、動詞、文構造、疑問文と否定文、品詞、句と節について理解し、それらを用いて自分のことを書く技能を身につけている。</p>	<p>思考、判断、表現</p> <p>①話すこと〈やり取り〉 相手にわかってもらえるように、自分のことについて、基本的な語句や表現を用いて伝え合っている。</p> <p>②話すこと〈発表〉 聞き手に伝わるように、自分のことについて、基本的な語句や表現を用いて紹介している。</p> <p>③書くこと 読み手に伝わるように、自分のことについて、基本的な語句や表現を用いて書いている。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>①話すこと〈やり取り〉 相手にわかってもらえるように、自分のことについて、基本的な語句や表現を用いて伝え合おうとしている。</p> <p>⑧話すこと〈発表〉 聞き手に伝わるように、自分のことについて、基本的な語句や表現を用いて紹介しようとしている。</p> <p>⑨書くこと 読み手に伝わるように、自分のことについて、基本的な語句や表現を用いて書こうとしている。</p>

<p><u>教材範囲</u></p> <p>教科書P. 6～11</p>	<p><u>内容のまとめり I</u></p> <p>英語の表現方法について</p>	<p><u>学習時期(予定)</u></p> <p>年度当初～4月中旬</p>	<p><u>配当時間</u></p> <p>6 時間</p>
--------------------------------------	--	---	--------------------------------

学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価						備考
	知、技		思、判、表		態度		
	規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法	
英語には主語が必要、	② ③	単元テスト スピーキング ライティング	② ③	単元テスト スピーキング ライティング	② ③	スピーキング ライティング	
主語の直後に動詞を置いて始めよう	② ③	単元テスト スピーキング ライティング	② ③	単元テスト スピーキング ライティング	② ③	スピーキング ライティング	
動詞は2種類	② ③	単元テスト スピーキング ライティング	② ③	単元テスト スピーキング ライティング	② ③	スピーキング ライティング	
一般動詞や Be 動詞のどちらかを使おう！	② ③	単元テスト スピーキング ライティング	② ③	単元テスト スピーキング ライティング	② ③	スピーキング ライティング	
疑問文・否定文	② ③	単元テスト スピーキング ライティング	② ③	単元テスト スピーキング ライティング	② ③	スピーキング ライティング	
内容を伝える工夫をしよう！	① ② ③	単元テスト スピーキング ライティング	① ② ③	単元テスト スピーキング ライティング	① ② ③	スピーキング ライティング	

(2) 単元：Lesson 1 初めての食事

<p>単元の目標</p> <p>知識及び技能 褒める、勧める、断るときの表現の形・意味・用法を理解し、学んだ知識を用いて、これらの表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。</p>		<p>思考力、判断力、表現力等 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、相手を褒めたり、物事を勧めたりしている。また、勧誘内容を理解し、提案を断ったりして、自分の考えや気持ちなどを表現している。</p>
<p>観点別評価規準</p>		
<p>知識、技能</p> <p>①話すこと〈やり取り〉 褒める、勧める、断るときの表現の形・意味・用法を理解し、自分の考えや気持ちなどを伝え合う基本的な技能を身につけている。</p> <p>②話すこと〈発表〉 褒める、勧める、断るときの表現の形・意味・用法を理解し、自分の考えや気持ちなどを発表する基本的な技能を身につけている。</p> <p>③書くこと 褒める、勧める、断るときの表現の形・意味・用法を理解し、自分の考えや気持ちなどを書く基本的な技能を身につけている。</p>	<p>思考、判断、表現</p> <p>①話すこと〈やり取り〉 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、相手を褒めたり、物事を勧めたりしている。また、勧誘内容を理解し、提案を断ったりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。</p> <p>②話すこと〈発表〉 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、相手を褒めたり、物事を勧めたりしている。また、勧誘内容を理解し、提案を断ったりして、自分の考えや気持ちなどを発表している。</p> <p>③書くこと 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、相手を褒めたり、物事を勧めたりしている。また、勧誘内容を理解し、提案を断ったりして、自分の考えや気持ちなどを書いて伝えている。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>①話すこと〈やり取り〉 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、相手を褒めたり、物事を勧めたりするために、繰り返し活動に取り組もうとしている。また、勧誘内容を理解し、提案を断ったりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。</p> <p>②話すこと〈発表〉 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、相手を褒めたり、物事を勧めたりするために、繰り返し活動に取り組もうとしている。また、勧誘内容を理解し、提案を断ったりして、自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。</p> <p>③書くこと 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、相手を褒めたり、物事を勧めたりするために、繰り返し活動に取り組もうとしている。また、勧誘内容を理解し、提案を断ったりして、自分の考えや気持ちなどを自分の言葉で書いて伝えようとしている。</p>

<p>教材範囲</p> <p>教科書P. 14～19</p>	<p>内容のまとめり I</p> <p>ほめる、勧める、断る</p>	<p>学習時期(予定)</p> <p>4月下旬～5月中旬</p>	<p>配当時間</p> <p>6 時間</p>				
<p>学習活動、学習のねらい、学習形式等</p>	<p>観点別学習評価</p>						<p>備考</p>
	<p>規準</p>	<p>知、技</p> <p>評価方法</p>	<p>規準</p>	<p>思、判、表</p> <p>評価方法</p>	<p>規準</p>	<p>態度</p> <p>評価方法</p>	
<p>Warm-up</p> <p>Give it a try</p>	②	単元テスト	②	単元テスト	②	スピーキング	
	③	スピーキング	③	スピーキング	③	ライティング	
		ライティング		ライティング			
<p>Model</p>	①	単元テスト	①	単元テスト	①	スピーキング	
	②	スピーキング	②	スピーキング	②	ライティング	
	③	ライティング	③	ライティング	③		
<p>Expand Your English 1</p>	①	単元テスト	①	単元テスト	①	スピーキング	
	②	スピーキング	②	スピーキング	②	ライティング	
	③	ライティング	③	ライティング	③		
<p>Expand Your English 2</p>	①	単元テスト	①	単元テスト	①	スピーキング	
	②	スピーキング	②	スピーキング	②	ライティング	
	③	ライティング	③	ライティング	③		
<p>Make Your Own 1</p>	①	単元テスト	①	単元テスト	①	スピーキング	
	②	スピーキング	②	スピーキング	②	ライティング	
	③	ライティング	③	ライティング	③		
<p>Make Your Own 2</p>	①	単元テスト	①	単元テスト	①	スピーキング	
	②	スピーキング	②	スピーキング	②	ライティング	
	③	ライティング	③	ライティング	③		

(3) 単元：Lesson 2 道に迷う

<p><u>単元の目標</u></p> <p>知識及び技能 提案する、依頼する、道順を説明するときの表現の形・意味・用法を理解し、それらを用いて、提案する、依頼する、道順を説明するときの表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。</p>		<p>思考力、判断力、表現力等 相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、物事を提案したり、依頼したりしている。また、相手にわかりやすく道順を説明するなどして、自分の考えや気持ちなどを表現している。</p>
<p><u>観点別評価規準</u></p>		
<p>知識、技能</p> <p>①話すこと〈やり取り〉 提案する、依頼する、道順を説明するときの表現の形・意味・用法を理解し、それらを用いて、提案する、依頼する、道順を説明するときの表現を適切に運用している。自分の考えや気持ちなどを伝え合う基本的な技能を身につけている。</p> <p>②話すこと〈発表〉 提案する、依頼する、道順を説明するときの表現の形・意味・用法を理解し、それらを用いて、提案する、依頼する、道順を説明するときの表現を適切に運用している。自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。</p> <p>③書くこと 提案する、依頼する、道順を説明するときの表現の形・意味・用法を理解し、それらを用いて、提案する、依頼する、道順を説明するときの表現を適切に運用している。自分の考えや気持ちなどを書く基本的な技能を身につけている。</p>	<p>思考、判断、表現</p> <p>①話すこと〈やり取り〉 相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、物事を提案したり、依頼したりしている。また、相手にわかりやすく道順を説明するなどして、自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。</p> <p>②話すこと〈発表〉 相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、物事を提案したり、依頼したりしている。また、相手にわかりやすく道順を説明するなどして、自分の考えや気持ちなどを表現している。</p> <p>③書くこと 相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、物事を提案したり、依頼したりしている。また、相手にわかりやすく道順を説明するなどして、自分の考えや気持ちなどを書いて伝えている。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>①話すこと〈やり取り〉 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、物事を提案したり、依頼したり、相手にわかりやすく道順を説明するために、繰り返し活動に取り組もうとしている。また、自分の考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。</p> <p>②話すこと〈発表〉 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、物事を提案したり、依頼したり、相手にわかりやすく道順を説明するために、繰り返し活動に取り組もうとしている。また、自分の考えや気持ちなどを発表しようとしている。</p> <p>③書くこと 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、物事を提案したり、依頼したり、相手にわかりやすく道順を説明するために、繰り返し活動に取り組もうとしている。また、自分の考えや気持ちなどを自分の言葉で書いて伝えようとしている。</p>

<p><u>教材範囲</u> 教科書P. 20～25</p>	<p><u>内容のまとめり</u> I 提案、依頼、道順の説明</p>	<p><u>学習時期(予定)</u> 5月下旬～6月中旬</p>	<p><u>配当時間</u> 6 時間</p>	
<p><u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u></p>	<p><u>観点別学習評価</u></p>			<p><u>備考</u></p>
	<p>規準</p>	<p>知、技 評価方法</p>	<p>思、判、表 評価方法</p>	
<p>Warm-up Give it a try</p>	<p>② 単元テスト ③ スピーキング ライティング</p>	<p>② 単元テスト ③ スピーキング ライティング</p>	<p>② スピーキング ③ ライティング</p>	
<p>Model</p>	<p>① 単元テスト ② スピーキング ③ ライティング</p>	<p>① 単元テスト ② スピーキング ③ ライティング</p>	<p>① スピーキング ② ライティング ③</p>	
<p>Expand Your English 1</p>	<p>① 単元テスト ② スピーキング ③ ライティング</p>	<p>① 単元テスト ② スピーキング ③ ライティング</p>	<p>① スピーキング ② ライティング ③</p>	
<p>Expand Your English 2</p>	<p>① 単元テスト ② スピーキング ③ ライティング</p>	<p>① 単元テスト ② スピーキング ③ ライティング</p>	<p>① スピーキング ② ライティング ③</p>	
<p>Make Your Own 1</p>	<p>① 単元テスト ② スピーキング ③ ライティング</p>	<p>① 単元テスト ② スピーキング ③ ライティング</p>	<p>① スピーキング ② ライティング ③</p>	
<p>Make Your Own 2</p>	<p>① 単元テスト ② スピーキング ③ ライティング</p>	<p>① 単元テスト ② スピーキング ③ ライティング</p>	<p>① スピーキング ② ライティング ③</p>	

(4) 単元：Lesson 3 人物紹介

<p><u>単元の目標</u></p> <p style="text-align: center;">知識及び技能</p> <p>身近な人を紹介する、聞き手や読み手の注意を引くときの表現の形・意味・用法を理解し、それらを用いて身近な人を紹介する、関連する表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。</p>		<p style="text-align: center;">思考力、判断力、表現力等</p> <p>相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、1つのテーマに沿って、身近な人を紹介したり、テーマに関連性を持たせたりしている。また、聞き手や読み手の注意を引いたりして、自分の考えや気持ちなどを表現している。</p>
<p><u>観点別評価規準</u></p>		
<p style="text-align: center;">知識、技能</p> <p>①話すこと〈やり取り〉 身近な人を紹介する、聞き手の注意を引くときの表現の形・意味・用法を理解し、それらを用いて、身近な人を紹介する、聞き手の注意を引くときの表現を適切に運用している。また、自分の考えや気持ちなどを話して伝える基本的な技能を身につけている。</p> <p>②話すこと〈発表〉 身近な人を紹介する、聞き手の注意を引くときの表現の形・意味・用法を理解し、それらを用いて、身近な人を紹介する、聞き手の注意を引くときの表現を適切に運用している。また、自分の考えや気持ちなどを話して伝える基本的な技能を身につけている。</p> <p>③書くこと 身近な人を紹介する、読み手の注意を引くときの表現の形・意味・用法を理解し、それらを用いて、身近な人を紹介する、読み手の注意を引くときの表現を適切に運用している。また、自分の考えや気持ちなどを書く基本的な技能を身につけている。</p>	<p style="text-align: center;">思考、判断、表現</p> <p>①話すこと〈やり取り〉 相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、1つのテーマに沿って、身近な人を紹介したり、テーマに関連性を持たせたりしている。また、聞き手の注意を引いたりして、自分の考えや気持ちなどを、聞き手にわかりやすく伝えあっている。</p> <p>②話すこと〈発表〉 相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、1つのテーマに沿って、身近な人を紹介したり、テーマに関連性を持たせたりしている。また、聞き手の注意を引いたりして、自分の考えや気持ちなどを、聞き手にわかりやすく話して伝えている。</p> <p>③書くこと 相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、1つのテーマに沿って、身近な人を紹介したり、テーマに関連性を持たせたりしている。また、読み手の注意を引いたりして、自分の考えや気持ちなどを、書いて伝えている。</p>	<p style="text-align: center;">主体的に学習に取り組む態度</p> <p>①話すこと〈やり取り〉 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、1つのテーマに沿って、身近な人を紹介したり、テーマに関連性を持たせたりするために、繰り返し活動に取り組もうとしている。また、聞き手の注意を引いたりして、自分の考えや気持ちなどを、相手にわかりやすく伝えあっている。</p> <p>②話すこと〈発表〉 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、1つのテーマに沿って、身近な人を紹介したり、テーマに関連性を持たせたりするために、繰り返し活動に取り組もうとしている。また、聞き手の注意を引いたりして、自分の考えや気持ちなどを、相手にわかりやすく話して伝えようとしている。</p> <p>③書くこと 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、1つのテーマに沿って、身近な人を紹介したり、テーマに関連性を持たせたりするために、繰り返し活動に取り組もうとしている。また、読み手の注意を引いたりして、自分の考えや気持ちなどを、書いて伝えようとしている。</p>

<p><u>教材範囲</u></p> <p>教科書P. 26～31</p>	<p><u>内容のまとめ</u> I</p> <p>身近な人物の紹介、注意を引く</p>	<p><u>学習時期(予定)</u></p> <p>6月下旬～7月中旬</p>	<p><u>配当時間</u></p> <p>6 時間</p>				
<p><u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u></p>	<p><u>観点別学習評価</u></p>						<p><u>備考</u></p>
	<p>規準</p>	<p>知、技</p> <p>評価方法</p>	<p>規準</p>	<p>思、判、表</p> <p>評価方法</p>	<p>規準</p>	<p>態度</p> <p>評価方法</p>	
<p>Warm-up</p> <p>Give it a try</p>	<p>②</p>	<p>単元テスト</p>	<p>②</p>	<p>単元テスト</p>	<p>②</p>	<p>スピーキング</p>	
	<p>③</p>	<p>スピーキング</p>	<p>③</p>	<p>スピーキング</p>	<p>③</p>	<p>ライティング</p>	
		<p>ライティング</p>		<p>ライティング</p>			
<p>Model</p>	<p>①</p>	<p>単元テスト</p>	<p>①</p>	<p>単元テスト</p>	<p>①</p>	<p>スピーキング</p>	
	<p>②</p>	<p>スピーキング</p>	<p>②</p>	<p>スピーキング</p>	<p>②</p>	<p>ライティング</p>	
	<p>③</p>	<p>ライティング</p>	<p>③</p>	<p>ライティング</p>	<p>③</p>		
<p>Expand Your English 1</p>	<p>①</p>	<p>単元テスト</p>	<p>①</p>	<p>単元テスト</p>	<p>①</p>	<p>スピーキング</p>	
	<p>②</p>	<p>スピーキング</p>	<p>②</p>	<p>スピーキング</p>	<p>②</p>	<p>ライティング</p>	
	<p>③</p>	<p>ライティング</p>	<p>③</p>	<p>ライティング</p>	<p>③</p>		
<p>Expand Your English 2</p>	<p>①</p>	<p>単元テスト</p>	<p>①</p>	<p>単元テスト</p>	<p>①</p>	<p>スピーキング</p>	
	<p>②</p>	<p>スピーキング</p>	<p>②</p>	<p>スピーキング</p>	<p>②</p>	<p>ライティング</p>	
	<p>③</p>	<p>ライティング</p>	<p>③</p>	<p>ライティング</p>	<p>③</p>		
<p>Make Your Own 1</p>	<p>①</p>	<p>単元テスト</p>	<p>①</p>	<p>単元テスト</p>	<p>①</p>	<p>スピーキング</p>	
	<p>②</p>	<p>スピーキング</p>	<p>②</p>	<p>スピーキング</p>	<p>②</p>	<p>ライティング</p>	
	<p>③</p>	<p>ライティング</p>	<p>③</p>	<p>ライティング</p>	<p>③</p>		
<p>Make Your Own 2</p>	<p>①</p>	<p>単元テスト</p>	<p>①</p>	<p>単元テスト</p>	<p>①</p>	<p>スピーキング</p>	
	<p>②</p>	<p>スピーキング</p>	<p>②</p>	<p>スピーキング</p>	<p>②</p>	<p>ライティング</p>	
	<p>③</p>	<p>ライティング</p>	<p>③</p>	<p>ライティング</p>	<p>③</p>		

(5) 単元：Lesson 4 体調が悪い

<p><u>単元の目標</u></p> <p>知識及び技能 体調を伝える、体調を尋ねる、指示・アドバイスをするときの表現の形・意味・用法を理解し、それらを用いて、関連する表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。</p> <p>思考力、判断力、表現力等 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、現在の体調・具体的な症状などを伝えている。また、相手の立場や状況を理解し、具体的な返答がしやすい形で、体調を尋ねたり、指示・アドバイスを提示したりして、自分の考えや気持ちなどを表現している。</p>		
<p><u>観点別評価規準</u></p> <p>知識、技能 ①話すこと〈やり取り〉 体調を伝える、体調を尋ねる、指示・アドバイスをするときの表現の形・意味・用法を理解し、それらを用いて、体調を伝える、体調を尋ねる、指示・アドバイスをするときの表現を適切に運用している。自分の考えや気持ちなどを伝え合う基本的な技能を身につけている。 ②話すこと〈発表〉 体調を伝える、体調を尋ねる、指示・アドバイスをするときの表現の形・意味・用法を理解し、それらを用いて、体調を伝える、体調を尋ねる、指示・アドバイスをするときの表現を適切に運用している。自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。 ③書くこと 体調を伝える、体調を尋ねる、指示・アドバイスをするときの表現の形・意味・用法を理解し、それらを用いて、体調を伝える、体調を尋ねる、指示・アドバイスをするときの表現を適切に運用している。自分の考えや気持ちなどを書く基本的な技能を身につけている。</p> <p>思考、判断、表現 ①話すこと〈やり取り〉 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、現在の体調・具体的な症状などを伝えている。また、相手の立場や状況を理解し、具体的な返答がしやすい形で、体調を尋ねたり、指示・アドバイスを提示したりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。 ②話すこと〈発表〉 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、現在の体調・具体的な症状などを伝えている。また、相手の立場や状況を理解し、具体的な返答がしやすい形で、体調を尋ねたり、指示・アドバイスを提示したりして、自分の考えや気持ちなどを発表している。 ③書くこと 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、現在の体調・具体的な症状などを伝えている。また、相手の立場や状況を理解し、具体的な返答がしやすい形で、体調を尋ねたり、指示・アドバイスを提示したりして、自分の考えや気持ちなどを書いて伝えている。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 ①話すこと〈やり取り〉 自身の活動を振り返り、適切な表現を用いて、現在の体調・具体的な症状などを伝えるために繰り返し活動に取り組もうとしている。また、相手の立場や状況を理解し、具体的な返答がしやすい形で、自分の考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。 ②話すこと〈発表〉 自身の活動を振り返り、適切な表現を用いて、現在の体調・具体的な症状などを伝えるために繰り返し活動に取り組もうとしている。また、相手の立場や状況を理解し、具体的な返答がしやすい形で、自分の考えや気持ちなどを発表しようとしている。 ③書くこと 自身の活動を振り返り、適切な表現を用いて、現在の体調・具体的な症状などを伝えるために、繰り返し活動に取り組もうとしている。また、相手の立場や状況を理解し、具体的な返答がしやすい形で、体調を尋ねたり、指示・アドバイスをしたりして、自分の考えや気持ちなどを書いて伝えようとしている。</p>		

<p><u>教材範囲</u></p> <p>教科書P. 32～37</p>	<p><u>内容のまとめ</u> I</p> <p>体調を伝えたりたずねたりする、指示、アドバイス</p>	<p><u>学習時期（予定）</u></p> <p>8月下旬～9月中旬</p>	<p><u>配当時間</u></p> <p>6 時間</p>
---------------------------------------	---	---	--------------------------------

学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価						備考
	知、技		思、判、表		態度		
	規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法	
Warm-up Give it a try	②	単元テスト	②	単元テスト	②	スピーキング	
	③	スピーキング	③	スピーキング	③	ライティング	
		ライティング		ライティング			
Model	①	単元テスト	①	単元テスト	①	スピーキング	
	②	スピーキング	②	スピーキング	②	ライティング	
	③	ライティング	③	ライティング	③		
Expand Your English 1	①	単元テスト	①	単元テスト	①	スピーキング	
	②	スピーキング	②	スピーキング	②	ライティング	
	③	ライティング	③	ライティング	③		
Expand Your English 2	①	単元テスト	①	単元テスト	①	スピーキング	
	②	スピーキング	②	スピーキング	②	ライティング	
	③	ライティング	③	ライティング	③		
Make Your Own 1	①	単元テスト	①	単元テスト	①	スピーキング	
	②	スピーキング	②	スピーキング	②	ライティング	
	③	ライティング	③	ライティング	③		
Make Your Own 2	①	単元テスト	①	単元テスト	①	スピーキング	
	②	スピーキング	②	スピーキング	②	ライティング	
	③	ライティング	③	ライティング	③		

(6) 単元：Lesson 5 買い物

<p>単元の目標</p> <p>知識及び技能 描写する、相づちを打つときの表現の形・意味・用法を理解し、それらを用いて、関連する表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。</p>		<p>思考力、判断力、表現力等 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、わかりやすく物事を描写している。また、文脈に応じて、適切な表現で相づちを打ったりして、自分の考えや気持ちなどを表現している。</p>
<p>観点別評価規準</p>		
<p>知識、技能</p> <p>①話すこと〈やり取り〉 描写する、相づちを打つときの表現の形・意味・用法を理解し、それらを用いて、関連する表現を適切に運用している。自分の考えや気持ちなどを伝え合う基本的な技能を身につけている。</p> <p>②話すこと〈発表〉 描写する、相づちを打つときの表現の形・意味・用法を理解し、それらを用いて、関連する表現を適切に運用している。自分の考えや気持ちなどを発表する基本的な技能を身につけている。</p> <p>③書くこと 描写するときの表現の形・意味・用法を理解し、それらを用いて、関連する表現を適切に運用している。自分の考えや気持ちなどを書く基本的な技能を身につけている。</p>	<p>思考、判断、表現</p> <p>①話すこと〈やり取り〉 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、わかりやすく物事を描写している。また、文脈に応じて、適切な表現で相づちを打ったりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。</p> <p>②話すこと〈発表〉 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、わかりやすく物事を描写している。また、文脈に応じて、適切な表現で相づちを打ったりして、自分の考えや気持ちなどを発表している。</p> <p>③書くこと 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、わかりやすく物事を描写している。また、自分の考えや気持ちなどを書いて伝えている。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>①話すこと〈やり取り〉 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、わかりやすく物事を描写するために繰り返し活動に取り組もうとしている。また、文脈に応じて、適切な表現で相づちを打ったりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。</p> <p>②話すこと〈発表〉 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、わかりやすく物事を描写するために繰り返し活動に取り組もうとしている。また、文脈に応じて、適切な表現で相づちを打ったりして、自分の考えや気持ちなどを発表しようとしている。</p> <p>③書くこと 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、わかりやすく物事を描写するために繰り返し活動に取り組もうとしている。また、自分の考えや気持ちなどを書いて伝えようとしている。</p>

<p>教材範囲 教科書P. 38～43</p>	<p>内容のまとめり I 描写、相づちを打つ</p>	<p>学習時期(予定) 9月下旬～10月中旬</p>	<p>配当時間 6 時間</p>
-----------------------------	--------------------------------	--------------------------------	----------------------

学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価						備考
	知、技		思、判、表		態度		
	規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法	
Warm-up Give it a try	②	単元テスト	②	単元テスト	②	スピーキング	
	③	スピーキング	③	スピーキング	③	ライティング	
		ライティング		ライティング			
Model	①	単元テスト	①	単元テスト	①	スピーキング	
	②	スピーキング	②	スピーキング	②	ライティング	
	③	ライティング	③	ライティング	③		
Expand Your English 1	①	単元テスト	①	単元テスト	①	スピーキング	
	②	スピーキング	②	スピーキング	②	ライティング	
	③	ライティング	③	ライティング	③		
Expand Your English 2	①	単元テスト	①	単元テスト	①	スピーキング	
	②	スピーキング	②	スピーキング	②	ライティング	
	③	ライティング	③	ライティング	③		
Make Your Own 1	①	単元テスト	①	単元テスト	①	スピーキング	
	②	スピーキング	②	スピーキング	②	ライティング	
	③	ライティング	③	ライティング	③		
Make Your Own 2	①	単元テスト	①	単元テスト	①	スピーキング	
	②	スピーキング	②	スピーキング	②	ライティング	
	③	ライティング	③	ライティング	③		

(7) 単元：Lesson 6 行ってみたい場所

<p><u>単元の目標</u></p> <p>知識及び技能 希望を述べる、理由を述べるときの表現の形・意味・用法を理解し、それらを用いて、関連する表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。</p> <p>思考力、判断力、表現力等 相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、具体的かつ一貫した繋がりを持たせ希望を述べている。また、相手が納得できるよう論理を一貫させて理由を述べたりして、自分の考えや気持ちなどを表現している。</p>				
<p><u>観点別評価規準</u></p> <table border="1"> <tr> <td> <p>知識、技能</p> <p>①話すこと〈やり取り〉 希望を述べる、理由を述べるときの表現の形・意味・用法を理解し、それらを用いて、関連する表現を適切に運用している。自分の考えや気持ちなどを伝え合う基本的な技能を身につけている。</p> <p>②話すこと〈発表〉 希望を述べる、理由を述べるときの表現の形・意味・用法を理解し、それらを用いて、関連する表現を適切に運用している。自分の考えや気持ちなどを発表する基本的な技能を身につけている。</p> <p>③書くこと 希望を述べる、理由を述べるときの表現の形・意味・用法を理解し、それらを用いて、関連する表現を適切に運用している。自分の考えや気持ちなどを書く基本的な技能を身につけている。</p> </td> <td> <p>思考、判断、表現</p> <p>①話すこと〈やり取り〉 相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、具体的かつ一貫した繋がりを持たせ希望を述べている。また、相手が納得できるよう論理を一貫させて理由を述べたりして、自分の考えや気持ちなどを書いて伝え合っている。</p> <p>②話すこと〈発表〉 相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、具体的かつ一貫した繋がりを持たせ希望を述べている。また、相手が納得できるよう論理を一貫させて理由を述べたりして、自分の考えや気持ちなどを発表している。</p> <p>③書くこと 相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、具体的かつ一貫した繋がりを持たせ希望を述べている。また、相手が納得できるよう論理を一貫させて理由を述べたりして、自分の考えや気持ちなどを書いて伝えている。</p> </td> <td> <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>①話すこと〈やり取り〉 自身の活動を振り返りながら、相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、具体的かつ一貫した繋がりを持たせ希望を述べるために繰り返し活動に取り組もうとしている。</p> <p>②話すこと〈発表〉 自身の活動を振り返りながら、相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、具体的かつ一貫した繋がりを持たせ希望を述べるために繰り返し活動に取り組もうとしている。</p> <p>③書くこと 自身の活動を振り返りながら、相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、具体的かつ一貫した繋がりを持たせ希望を述べるために繰り返し活動に取り組もうとしている。また、相手が納得できるよう論理を一貫させて理由を述べたりして、自分の言葉で考えや気持ちなどを書いて伝えようとしている。</p> </td> </tr> </table>		<p>知識、技能</p> <p>①話すこと〈やり取り〉 希望を述べる、理由を述べるときの表現の形・意味・用法を理解し、それらを用いて、関連する表現を適切に運用している。自分の考えや気持ちなどを伝え合う基本的な技能を身につけている。</p> <p>②話すこと〈発表〉 希望を述べる、理由を述べるときの表現の形・意味・用法を理解し、それらを用いて、関連する表現を適切に運用している。自分の考えや気持ちなどを発表する基本的な技能を身につけている。</p> <p>③書くこと 希望を述べる、理由を述べるときの表現の形・意味・用法を理解し、それらを用いて、関連する表現を適切に運用している。自分の考えや気持ちなどを書く基本的な技能を身につけている。</p>	<p>思考、判断、表現</p> <p>①話すこと〈やり取り〉 相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、具体的かつ一貫した繋がりを持たせ希望を述べている。また、相手が納得できるよう論理を一貫させて理由を述べたりして、自分の考えや気持ちなどを書いて伝え合っている。</p> <p>②話すこと〈発表〉 相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、具体的かつ一貫した繋がりを持たせ希望を述べている。また、相手が納得できるよう論理を一貫させて理由を述べたりして、自分の考えや気持ちなどを発表している。</p> <p>③書くこと 相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、具体的かつ一貫した繋がりを持たせ希望を述べている。また、相手が納得できるよう論理を一貫させて理由を述べたりして、自分の考えや気持ちなどを書いて伝えている。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>①話すこと〈やり取り〉 自身の活動を振り返りながら、相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、具体的かつ一貫した繋がりを持たせ希望を述べるために繰り返し活動に取り組もうとしている。</p> <p>②話すこと〈発表〉 自身の活動を振り返りながら、相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、具体的かつ一貫した繋がりを持たせ希望を述べるために繰り返し活動に取り組もうとしている。</p> <p>③書くこと 自身の活動を振り返りながら、相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、具体的かつ一貫した繋がりを持たせ希望を述べるために繰り返し活動に取り組もうとしている。また、相手が納得できるよう論理を一貫させて理由を述べたりして、自分の言葉で考えや気持ちなどを書いて伝えようとしている。</p>
<p>知識、技能</p> <p>①話すこと〈やり取り〉 希望を述べる、理由を述べるときの表現の形・意味・用法を理解し、それらを用いて、関連する表現を適切に運用している。自分の考えや気持ちなどを伝え合う基本的な技能を身につけている。</p> <p>②話すこと〈発表〉 希望を述べる、理由を述べるときの表現の形・意味・用法を理解し、それらを用いて、関連する表現を適切に運用している。自分の考えや気持ちなどを発表する基本的な技能を身につけている。</p> <p>③書くこと 希望を述べる、理由を述べるときの表現の形・意味・用法を理解し、それらを用いて、関連する表現を適切に運用している。自分の考えや気持ちなどを書く基本的な技能を身につけている。</p>	<p>思考、判断、表現</p> <p>①話すこと〈やり取り〉 相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、具体的かつ一貫した繋がりを持たせ希望を述べている。また、相手が納得できるよう論理を一貫させて理由を述べたりして、自分の考えや気持ちなどを書いて伝え合っている。</p> <p>②話すこと〈発表〉 相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、具体的かつ一貫した繋がりを持たせ希望を述べている。また、相手が納得できるよう論理を一貫させて理由を述べたりして、自分の考えや気持ちなどを発表している。</p> <p>③書くこと 相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、具体的かつ一貫した繋がりを持たせ希望を述べている。また、相手が納得できるよう論理を一貫させて理由を述べたりして、自分の考えや気持ちなどを書いて伝えている。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>①話すこと〈やり取り〉 自身の活動を振り返りながら、相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、具体的かつ一貫した繋がりを持たせ希望を述べるために繰り返し活動に取り組もうとしている。</p> <p>②話すこと〈発表〉 自身の活動を振り返りながら、相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、具体的かつ一貫した繋がりを持たせ希望を述べるために繰り返し活動に取り組もうとしている。</p> <p>③書くこと 自身の活動を振り返りながら、相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、具体的かつ一貫した繋がりを持たせ希望を述べるために繰り返し活動に取り組もうとしている。また、相手が納得できるよう論理を一貫させて理由を述べたりして、自分の言葉で考えや気持ちなどを書いて伝えようとしている。</p>		
<p><u>教材範囲</u> 教科書P. 44～49</p>	<p><u>内容のまとめり</u> I 希望を述べる、理由を述べる</p>	<p><u>学習時期(予定)</u> 10月下旬～11月中旬</p>	<p><u>配当時間</u> 6 時間</p>	

学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価						備考
	知、技		思、判、表		態度		
	規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法	
Warm-up Give it a try	②	単元テスト	②	単元テスト	②	スピーキング	
	③	スピーキング	③	スピーキング	③	ライティング	
		ライティング		ライティング			
Model	①	単元テスト	①	単元テスト	①	スピーキング	
	②	スピーキング	②	スピーキング	②	ライティング	
	③	ライティング	③	ライティング	③		
Expand Your English 1	①	単元テスト	①	単元テスト	①	スピーキング	
	②	スピーキング	②	スピーキング	②	ライティング	
	③	ライティング	③	ライティング	③		
Expand Your English 2	①	単元テスト	①	単元テスト	①	スピーキング	
	②	スピーキング	②	スピーキング	②	ライティング	
	③	ライティング	③	ライティング	③		
Make Your Own 1	①	単元テスト	①	単元テスト	①	スピーキング	
	②	スピーキング	②	スピーキング	②	ライティング	
	③	ライティング	③	ライティング	③		
Make Your Own 2	①	単元テスト	①	単元テスト	①	スピーキング	
	②	スピーキング	②	スピーキング	②	ライティング	
	③	ライティング	③	ライティング	③		

(8) 単元：Lesson 7 イベントに誘われる

<p>単元の目標</p> <p>知識及び技能 誘う、誘いを受ける、誘いを断るときの表現の形・意味・用法を理解し、それらを用いて、関連する表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。</p>		<p>思考力、判断力、表現力等 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、計画などの魅力を伝えて誘ったり、計画などに対する期待感を伝えたりしている。また、誘いを受けたり、相手に配慮した形で理由を述べて誘いを断ったりして、自分の考えや気持ちなどを表現している。</p>
<p>観点別評価規準</p>		
<p>知識、技能</p> <p>①話すこと〈やり取り〉 誘う、誘いを受ける、誘いを断るときの表現の形・意味・用法を理解し、それらを用いて、関連する表現を適切に運用している。自分の考えや気持ちなどを伝え合う基本的な技能を身につけている。</p> <p>②話すこと〈発表〉 誘う、誘いを受ける、誘いを断るときの表現の形・意味・用法を理解し、それらを用いて、関連する表現を適切に運用している。自分の考えや気持ちなどを発表する基本的な技能を身につけている。</p> <p>③書くこと 誘う、誘いを受ける、誘いを断るときの表現の形・意味・用法を理解し、それらを用いて、関連する表現を適切に運用している。自分の考えや気持ちなどを書く基本的な技能を身につけている。</p>	<p>思考、判断、表現</p> <p>①話すこと〈やり取り〉 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、計画などの魅力を伝えて誘ったり、計画などに対する期待感を伝えたりしている。また、誘いを受けたり、相手に配慮した形で理由を述べて誘いを断ったりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。</p> <p>②話すこと〈発表〉 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、計画などの魅力を伝えて誘ったり、計画などに対する期待感を伝えたりしている。また、誘いを受けたり、相手に配慮した形で理由を述べて誘いを断ったりして、自分の考えや気持ちなどを発表している。</p> <p>③書くこと 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、計画などの魅力を伝えて誘ったり、計画などに対する期待感を伝えたりしている。また、誘いを受けたり、相手に配慮した形で理由を述べて誘いを断ったりして、自分の考えや気持ちなどを書いて伝えている。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>①話すこと〈やり取り〉 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、計画などの魅力を伝えて誘ったり、計画などに対する期待感を伝えたりするために繰り返し活動に取り組もうとしている。また、誘いを受けたり、相手に配慮した形で理由を述べて誘いを断ったりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。</p> <p>②話すこと〈発表〉 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、計画などの魅力を伝えて誘ったり、計画などに対する期待感を伝えたりするために繰り返し活動に取り組もうとしている。</p> <p>③書くこと 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、計画などの魅力を伝えて誘ったり、計画などに対する期待感を伝えたりするために、繰り返し活動に取り組もうとしている。また、誘いを受けたり、相手に配慮した形で理由を述べて誘いを断ったりして、自分の考えや気持ちなどを書いて伝えようとしている。</p>

<p>教材範囲</p> <p>教科書P. 50～55</p>	<p>内容のまとめり I</p> <p>誘う、誘いを受ける、誘いを断る</p>	<p>学習時期(予定)</p> <p>11月下旬～12月中旬</p>	<p>配当時間</p> <p>6 時間</p>				
<p>学習活動、学習のねらい、学習形式等</p>	<p>観点別学習評価</p>						<p>備考</p>
	<p>規準</p>	<p>知、技 評価方法</p>	<p>規準</p>	<p>思、判、表 評価方法</p>	<p>規準</p>	<p>態度 評価方法</p>	
<p>Warm-up Give it a try</p>	<p>② ③</p>	<p>単元テスト スピーキング ライティング</p>	<p>② ③</p>	<p>単元テスト スピーキング ライティング</p>	<p>② ③</p>	<p>スピーキング ライティング</p>	
<p>Model</p>	<p>① ② ③</p>	<p>単元テスト スピーキング ライティング</p>	<p>① ② ③</p>	<p>単元テスト スピーキング ライティング</p>	<p>① ② ③</p>	<p>スピーキング ライティング</p>	
<p>Expand Your English 1</p>	<p>① ② ③</p>	<p>単元テスト スピーキング ライティング</p>	<p>① ② ③</p>	<p>単元テスト スピーキング ライティング</p>	<p>① ② ③</p>	<p>スピーキング ライティング</p>	
<p>Expand Your English 2</p>	<p>① ② ③</p>	<p>単元テスト スピーキング ライティング</p>	<p>① ② ③</p>	<p>単元テスト スピーキング ライティング</p>	<p>① ② ③</p>	<p>スピーキング ライティング</p>	
<p>Make Your Own 1</p>	<p>① ② ③</p>	<p>単元テスト スピーキング ライティング</p>	<p>① ② ③</p>	<p>単元テスト スピーキング ライティング</p>	<p>① ② ③</p>	<p>スピーキング ライティング</p>	
<p>Make Your Own 2</p>	<p>① ② ③</p>	<p>単元テスト スピーキング ライティング</p>	<p>① ② ③</p>	<p>単元テスト スピーキング ライティング</p>	<p>① ② ③</p>	<p>スピーキング ライティング</p>	

(9) 単元：Lesson 8 スクールカウンセラーに相談

<p>単元の目標</p>		
<p>知識及び技能</p> <p>状況を説明する、手助けを申し出る、助言・提案をする、お礼や感謝を伝えるなどの表現の形・意味・用法を理解し、それらを用いて、関連する表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。</p>	<p>思考力、判断力、表現力等</p> <p>自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、状況を整理して説明したり、手助けを申し出たり、助言・提案をしたりするために繰り返し活動に取り組もうとしている。また、お礼や感謝を伝えたりして、自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。</p>	
<p>観点別評価規準</p>		
<p>知識、技能</p> <p>①話すこと〈やり取り〉</p> <p>状況を説明する、手助けを申し出る、助言・提案をする、お礼や感謝を伝えるなどの表現の形・意味・用法を理解し、それらを用いて、関連する表現を適切に運用している。自分の考えや気持ちなどを伝え合う基本的な技能を身につけている。</p> <p>②話すこと〈発表〉</p> <p>状況を説明する、手助けを申し出る、助言・提案をする、お礼や感謝を伝えるなどの表現の形・意味・用法を理解し、それらを用いて、関連する表現を適切に運用している。自分の考えや気持ちなどを発表する基本的な技能を身につけている。</p> <p>③書くこと</p> <p>状況を説明する、手助けを申し出る、助言・提案をする、お礼や感謝を伝えるなどの表現の形・意味・用法を理解し、それらを用いて、関連する表現を適切に運用している。自分の考えや気持ちなどを書く基本的な技能を身につけている。</p>	<p>思考、判断、表現</p> <p>①話すこと〈やり取り〉</p> <p>場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、状況を整理して説明したり、手助けを申し出たりしている。また、助言・提案をしたり、お礼や感謝を伝えたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。</p> <p>②話すこと〈発表〉</p> <p>場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、状況を整理して説明したり、手助けを申し出たりしている。また、助言・提案をしたり、お礼や感謝を伝えたりして、自分の考えや気持ちなどを発表している。</p> <p>③書くこと</p> <p>場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、状況を整理して説明したり、手助けを申し出たりしている。また、助言・提案をしたり、お礼や感謝を伝えたりして、自分の考えや気持ちなどを書いて伝えている。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>①話すこと〈やり取り〉</p> <p>自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、状況を整理して説明したり、手助けを申し出たり、助言・提案をしたりするために繰り返し活動に取り組もうとしている。また、お礼や感謝を伝えたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。</p> <p>②話すこと〈発表〉</p> <p>自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、状況を整理して説明したり、手助けを申し出たり、助言・提案をしたりするために繰り返し活動に取り組もうとしている。また、お礼や感謝を伝えたりして、自分の考えや気持ちなどを発表しようとしている。</p> <p>③書くこと</p> <p>自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、状況を整理して説明したり、手助けを申し出たり、助言・提案をしたりするために繰り返し活動に取り組もうとしている。また、お礼や感謝を伝えたりして、自分の考えや気持ちなどを書いて伝えようとしている。</p>

<p>教材範囲</p> <p>教科書P. 56～61</p>	<p>内容のまとめり I</p> <p>状況説明、申し出、助言提案、お礼感謝</p>	<p>学習時期(予定)</p> <p>1月上旬～1月下旬</p>	<p>配当時間</p> <p>6 時間</p>
--------------------------------	--	----------------------------------	-------------------------

学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価						備考
	知、技		思、判、表		態度		
	規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法	
Warm-up Give it a try	②	単元テスト	②	単元テスト	②	スピーキング	
	③	スピーキング	③	スピーキング	③	ライティング	
		ライティング		ライティング			
Model	①	単元テスト	①	単元テスト	①	スピーキング	
	②	スピーキング	②	スピーキング	②	ライティング	
	③	ライティング	③	ライティング	③		
Expand Your English 1	①	単元テスト	①	単元テスト	①	スピーキング	
	②	スピーキング	②	スピーキング	②	ライティング	
	③	ライティング	③	ライティング	③		
Expand Your English 2	①	単元テスト	①	単元テスト	①	スピーキング	
	②	スピーキング	②	スピーキング	②	ライティング	
	③	ライティング	③	ライティング	③		
Make Your Own 1	①	単元テスト	①	単元テスト	①	スピーキング	
	②	スピーキング	②	スピーキング	②	ライティング	
	③	ライティング	③	ライティング	③		
Make Your Own 2	①	単元テスト	①	単元テスト	①	スピーキング	
	②	スピーキング	②	スピーキング	②	ライティング	
	③	ライティング	③	ライティング	③		

# 令和6年度（2024年度）シラバス

## 1 科目概要

教科 <b>農業</b>	科目 <b>課題研究</b>	担当者(主) 中原 武徳	履修年次(今年度) 3年	単位数(今年度) 3単位	
履修対象 全員必履修	前学年からの 継続履修 -	次学年での 継続履修 -			
教材(出版社)	教科書 教科書はないため、指導案をもとに授業展開する	副教材 課題解決に向けた関係本、資料・プリントを使用			
定期考査の実施 ※ 変更可能性あり	1学期中間 ※5月中旬あたり -	1学期期末 ※7月上旬あたり -	2学期中間 ※10月中旬あたり -	2学期期末 ※12月上旬あたり -	学年末 ※3年：1月末 -
<b>科目の目標</b> 泉町の森林や自然に関係する課題を設定し、野外活動や木材加工等による学習活動(作品作り)を通して自然環境を守り、活用する能力と態度を育てる。また、各種検定(資格取得)に向けた学習活動を行い、基本的な知識と技術を身につける。					
知識及び技術 林業やアウトドアライフを総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関係する技術を身に付けるようにする。	思考力、判断力、表現力等 林業やアウトドアライフに関する課題を設定し、林業や関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	学びに向かう力、人間性等(全単元共通) 林業やアウトドアライフに関する総合的な知識や技術が身に付くよう自ら学び、林業やアウトドアライフの振興・社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
<b>具体的な評価の方法</b> 実技・実習・作品及び学習に取り組む態度を中心に評価します。					
知識、技術 ・実習(実技)	思考、判断、表現 ・実習(実技) ・成果発表	主体的に学習に取り組む態度 ・授業・実習中の学習態度 ・提出物の提出			
<b>担当者から受講上のアドバイス</b> ・課題設定過程に十分時間をかけてください。 ・作品制作では、様々な機械・器具を使用します。怪我の危険性の高いものもありますので注意してください。 ・実習には正しい服装で参加してください。					

## 2 年間指導計画

学習時期(予定)	学習内容		備考
	野外活動班	木材工芸班	
1学期	4月	課題の設定	
	5月	課題に沿った研究① (調査及び実習)	
	6月	課題に沿った研究② (調査及び実習)	
	7月	課題に沿った研究② (調査及び実習)	
2学期	9月	課題に沿った研究③ (調査及び実習)	
	10月	課題に沿った研究④ (調査及び実習)	
	11月	課題に沿った研究④ (調査及び実習)	
	12月	全体発表へ向けての取り組み プレゼンテーション作成	
3学期	1月	発表会	
	2月		
	3月		

3 指導と評価の計画

(1) 内容：課題の設定

<u>目標</u> 知識及び技術 ・林業やアウトドアライフを総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関係する技術を身に付けるようにする。		思考力、判断力、表現力等 ・林業やアウトドアライフに関する課題を設定し、林業や関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。		
<u>観点別評価規準</u> 知識、技術 ①課題設定の目的が理解できる。 ②課題解決のための知識・技術が自分のものとなっている。		思考、判断、表現 ①課題設定の必要性が判断できる。 ②必要な作業工程・過程を設定できる。		
主体的に学習に取り組む態度 ①主体的に課題設定に取り組む力を養う。				
<u>教材範囲</u> プリント	内容のまとめり I 課題設定	<u>学習時期（予定）</u> 年度当初～5月上旬	<u>配当時間</u> 6 時間	
<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>	<u>観点別学習評価</u>			<u>備考</u>
	知、技 規準 評価方法 ①② 計画書	思、判、表 規準 評価方法 ①② 実習	態度 規準 評価方法 ① 取り組み	
課題の設定				

(2) 内容：課題に沿った研究①②③④

<u>目標</u> 知識及び技術 ・林業やアウトドアライフを総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関係する技術を身に付けるようにする。		思考力、判断力、表現力等 ・林業やアウトドアライフに関する課題を設定し、林業や関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。		
<u>観点別評価規準</u> 知識、技術 ①課題設定の目的が理解できる。 ②課題解決のための知識・技術が自分のものとなっている。		思考、判断、表現 ①課題設定の必要性が判断できる。 ②必要な作業工程・過程に沿った作業ができる。		
主体的に学習に取り組む態度 ①主体的に課題解決に取り組む力を養う。				
<u>教材範囲</u>	内容のまとめり I 調査、作品制作	<u>学習時期（予定）</u> 5月中旬～11月下旬	<u>配当時間</u> 40時間	
<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>	<u>観点別学習評価</u>			<u>備考</u>
	知、技 規準 評価方法 ①② 実習	思、判、表 規準 評価方法 ①② 計画・実習	態度 規準 評価方法 ① 取り組み	
調査、作品制作				

(3) 内容：プレゼンテーション作成

<u>目標</u> <p style="text-align: center;">知識及び技術</p> ・林業やアウトドアライフを総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関係する技術を身に付けるようにする。		<p style="text-align: center;">思考力、判断力、表現力等</p> ・林業やアウトドアライフに関する課題を設定し、林業や関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。					
<u>観点別評価規準</u> <p style="text-align: center;">知識、技術</p> ①課題設定の目的が理解できる。 ②課題解決のための知識・技術が自分のものとなっている。		<p style="text-align: center;">思考、判断、表現</p> ①発表会においてわかりやすく自分のものとして発表ができる。					
		<p style="text-align: center;">主体的に学習に取り組む態度</p> ①一年間の学習の内容を主体的にまとめ、わかりやすく発表する能力と態度を養う。					
<u>教材範囲</u>		<u>内容のまとめり I</u> プレゼンテーション作成					
		<u>学習時期（予定）</u> 12月上旬～1月中旬					
		<u>配当時間</u> 8 時間					
<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>	<u>観点別学習評価</u>			<u>備考</u>			
	<p style="text-align: center;">知、技</p> <p style="text-align: center;">規準</p>	<p style="text-align: center;">評価方法</p>	<p style="text-align: center;">思、判、表</p> <p style="text-align: center;">規準</p>		<p style="text-align: center;">態度</p> <p style="text-align: center;">規準</p>		
プレゼンテーション作成・発表会	①②	作品	①	発表	①	取り組み	

# 令和6年度（2024年度）シラバス

## 1 科目概要

教科 <b>農業</b>	科目 <b>総合実習</b>	担当者(主) 中原 武徳	履修年次(今年度) 3年	単位数(今年度) 2単位	
履修対象 全員必履修	前学年からの 継続履修 有	次学年での 継続履修 -			
教材(出版社)	教科書 教科書はないため、指導案をもとに授業展開する	副教材 「農業と環境」や「アウトドア」関係の本、資料・プリントを使用			
定期考査の実施 ※ 変更可能性あり	1学期中間 ※5月中旬あたり -	1学期期末 ※7月上旬あたり 有	2学期中間 ※10月中旬あたり -	2学期期末 ※12月上旬あたり 有	学年末 ※3年:1月末 他:2月中旬あたり 有
<b>科目の目標</b> 農業やアウトドアライフの見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業・アウトドアライフの各分野の改善を図る実践的な資質・能力を育成することを目指す。					
知識及び技術 農業やアウトドアライフを総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関係する技術を身に付けるようにする。		思考力、判断力、表現力等 農業、アウトドアライフに関する総合的な課題を発見し、農業や関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。		学びに向かう力、人間性等(全単元共通) 農業、アウトドアライフの総合的な知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業、アウトドアライフの振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	
<b>具体的な評価の方法</b> 定期考査と実技・実習を中心に評価します。					
知識、技術 ・定期考査 ・実習(実技)		思考、判断、表現 ・定期考査(記述) ・実習(実技)		主体的に学習に取り組む態度 ・授業・実習中の学習態度 ・提出物の提出	
<b>担当者から受講上のアドバイス</b> ・授業内容と実習内容がリンクしていきますので日々の授業・実習を大切にしてください。 ・実習後、実習ノートの記入があります。後で見えてわかるように丁寧に記入してください。また、提出の必要があります。 ・実習では、様々な道具を使用します。怪我の危険性の高いものもありますので注意してください。					

## 2 年間指導計画

学習時期(予定)	学習単元	学習単元内の内容のまとめり	備考
年度当初～6月上旬	家庭菜園を作ろう	栽培植物の選定	
		耕耘・畝立て・マルチ張り	
		播種・育苗	
		定植・管理(7月から収穫)	
6月上旬～7月上旬	釣りに行こう	仕掛け作り 溪流釣り	
7月上旬～9月上旬	キャンプに行こう	テント張り キャンプ飯づくり	
9月上旬～10月上旬	カヌーに乗ろう	カヌーの基本操作 溪流での実技	
10月中旬～12月中旬	マウンテンバイク	マウンテンバイクの基礎・基本 マウンテンバイク実技①グラウンド マウンテンバイク実技②コース マウンテンバイク実技③ロード	
9月上旬～12月上旬	花苗を作ろう	耐寒性草花の選定 播種・育苗 仮植・育苗 花壇整備・植え付け	
1月～3月	プレゼンテーション作成	泉分校の農業この1年 泉分校の活動この1年	

3 指導と評価の計画

(1) **単元：家庭菜園を作ろう**

<u>単元の目標</u>		知識及び技術		思考力、判断力、表現力等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>植物の栽培管理について総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関係する技術を身に付けるようにする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>農業の総合的な知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</li> </ul>			
<u>観点別評価規準</u>					
知識、技術		思考、判断、表現		主体的に学習に取り組む態度	
<ul style="list-style-type: none"> <li>①各作業工程（栽培・管理）の目的を理解する。</li> <li>②植物の生育にとって環境条件が大切であることを理解する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>①植物の成長過程における適切な管理の必要性が判断できる。</li> <li>②植物の成長過程における適切な作業ができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>①植物の生育過程における状況を把握し、事前に対応できる能力と態度を養う。</li> </ul>	
<u>教材範囲</u>		<u>内容のまとめり I</u>		<u>学習時期（予定）</u>	
プリント		家庭菜園を作ろう		年度当初～6月上旬	
				配当時間 12時間	
<u>観点別学習評価</u>					
<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>					
		知、技		思、判、表	
		規準		規準	
		評価方法		評価方法	
				態度	
				規準	
				評価方法	
				備考	
栽培植物の選定				① 取り組み	
耕耘・畝立て・マルチ張り		①② 実習		① 取り組み	
播種・育苗		①② 実習		① 取り組み	
定植・管理（7月から収穫）		①② 実習		① 取り組み	

(2) **単元：アウトドアライフ**

<u>単元の目標</u>		知識及び技術		思考力、判断力、表現力等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>アウトドアライフについての基礎・基本を理解し、実際にアウトドアライフができる。</li> <li>自然との関わりの中でアウトドアライフが心身に良い影響を及ぼすことが理解できる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>得た知識と経験を活かし、様々な野外活動にチャレンジし、自ら考え行動できる態度を養う。</li> </ul>			
<u>観点別評価規準</u>					
知識、技術		思考、判断、表現		主体的に学習に取り組む態度	
<ul style="list-style-type: none"> <li>①アウトドアライフについての基礎・基本を理解し、実際にアウトドアライフができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>①アウトドアライフを仲間と協力して実施できるように主体的な思考・判断・表現ができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>①自然環境はもとより自分の生き方にも関心を持ち、意欲的に行動する能力と態度を養う。</li> </ul>	
<u>教材範囲</u>		<u>内容のまとめり I</u>		<u>学習時期（予定）</u>	
学習内容別プリント		アウトドアライフ		6月上旬～12月	
				配当時間 40時間	
<u>観点別学習評価</u>					
<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>					
		知、技		思、判、表	
		規準		規準	
		評価方法		評価方法	
				態度	
				規準	
				評価方法	
				備考	
溪流釣りに行こう		① 確認テスト		① 計画・実施	
キャンプに行こう		① 確認テスト		① 計画・実施	
トレッキングに行こう		① 確認テスト		① 計画・実施	
マウンテンバイク		① 確認テスト		① 計画・実施	

(3) **単元：花苗を作ろう**

<u>単元の目標</u>		<u>知識及び技術</u>		<u>思考力、判断力、表現力等</u>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>植物の栽培管理について総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関係する技術を身に付けるようにする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>植物の成長過程における適切な管理の必要性が判断できる。</li> <li>植物の成長過程における適切な作業ができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>植物の生育過程における状況を把握し、事前に対応できる能力と態度を養う。</li> </ul>		
<u>観点別評価規準</u>		<u>知識、技術</u>		<u>思考、判断、表現</u>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>①各作業工程（栽培・管理）の目的を理解する。</li> <li>②植物の生育にとって環境条件が大切であることを理解する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>①植物の成長過程における適切な管理の必要性が判断できる。</li> <li>②植物の成長過程における適切な作業ができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>①植物の生育過程における状況を把握し、事前に対応できる能力と態度を養う。</li> </ul>		
<u>教材範囲</u>		<u>内容のまとめり I</u>		<u>学習時期（予定）</u>		
プリント		花苗を作ろう		9月上旬～12月上旬		
				<u>配当時間</u>		
				10時間		
<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>		<u>観点別学習評価</u>				<u>備考</u>
		<u>知、技</u>		<u>思、判、表</u>		
		<u>規準</u>	<u>評価方法</u>	<u>規準</u>	<u>評価方法</u>	<u>態度</u>
						<u>規準</u>
耐寒性草花の選定						① 取り組み
播種・育苗		①②	実習	①②	実習	① 取り組み
仮植・育苗		①②	実習	①②	実習	① 取り組み
花壇整備・植え付け		①②	実習	①②	実習	① 取り組み

(4) **単元：プレゼンテーション作成**

<u>単元の目標</u>		<u>知識及び技術</u>		<u>思考力、判断力、表現力等</u>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>実際に実施したアウトドアライフや調査・観察したものごとを系統立ててまとめることができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>発表会においてわかりやすく自分のものとして発表ができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>発表会においてわかりやすく自分のものとして発表ができる。</li> </ul>		
<u>観点別評価規準</u>		<u>知識、技術</u>		<u>思考、判断、表現</u>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>①アウトドアライフ各項目別の目的が理解できる。</li> <li>②アウトドアライフ各項目別の知識・技能が自分のものとなっている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>①発表会においてわかりやすく自分のものとして発表ができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>①一年間の学習の内容を主体的にまとめ、わかりやすく発表する能力と態度を養う。</li> </ul>		
<u>教材範囲</u>		<u>内容のまとめり I</u>		<u>学習時期（予定）</u>		
プリント		プレゼンテーション作成		1月～3月		
				<u>配当時間</u>		
				8時間		
<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>		<u>観点別学習評価</u>				<u>備考</u>
		<u>知、技</u>		<u>思、判、表</u>		
		<u>規準</u>	<u>評価方法</u>	<u>規準</u>	<u>評価方法</u>	<u>態度</u>
						<u>規準</u>
アウトドアライフのまとめ		①②	作品	①	発表	① 取り組み

# 令和6年度（2024年度）シラバス

## 1 科目概要

教科 <b>農業</b>	科目 <b>森林科学</b>	担当者(主) 山口 淳也	履修年次(今年度) 3年	単位数(今年度) 2単位	
履修対象 全員必履修	前学年からの 継続履修 有	次学年での 継続履修 -			
教材(出版社)	教科書 森林科学(実教出版)	副教材			
定期考査の実施 ※変更可能性あり	1学期中間 ※5月中旬あたり -	1学期期末 ※7月上旬あたり 有	2学期中間 ※10月中旬あたり -	2学期期末 ※12月上旬あたり 有	学年末 ※3年:1月末 他:2月中旬あたり 有
<b>科目の目標</b> 農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、森林の構造や機能並びに保全技術などを科学的に捉えるために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。					
知識及び技能 森林科学について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につける。	思考力、判断力、表現力等 森林科学に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	学びに向かう力、人間性等(全単元共通) 森林を科学的に捉えるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
<b>具体的な評価の方法</b> 授業や実習を通した3つの観点について、それぞれ次に示す方法で評価する。					
知識・技能 ・定期考査 ・小テスト(農業鑑定競技を含む)	思考・判断・表現 ・定期考査 ・レポート(提出物) ・小テスト(農業鑑定競技を含む)	主体的に学習に取り組む態度 ・授業に取り組む態度 ・レポート(提出物) ・小テスト(農業鑑定競技を含む)			
<b>担当者から受講上のアドバイス</b> 1 授業には「教科書」「ファイル」「ChromeBook」「実習服等」を使います。 2 定期考査では「知識・技能」「思考・判断・表現」を重点的に評価します。 3 「主体的に学習に取り組む態度」については、授業に取り組む姿勢を重点的に評価します。 4 レポートについては、提出期限を重視します。 5 実習については、忘れ物の確認を行い、実習に取り組む姿勢を重点的に評価します。 6 農業クラブ活動(農業鑑定競技等)についても評価に含めます。					

## 2 年間指導計画

学習時期(予定)	学習単元	学習単元内の内容のまとめ	備考
年度当初～5月	第4章 森林の機能と目標林型	第1節 生態系サービスと森林の機能の発揮 第2節 目標林型とゾーニング	
5月～9月	第5章 森林の施業技術や管理技術	第1節 生産林の施業技術 第2節 環境林の管理技術 第3節 森林の健全性を維持するための管理技術	
9月～12月	第6章 木材の収穫	第1節 作業システム 第2節 路網 第3節 伐採, 造材, 集材 第4節 労働安全	
12月～2月	第7章 森林の育成と活用の実践	第1節 森林の育成と活用の実践 第2節 従来の林業地の取組	

(1) **単元：第4章 森林の機能と目標林型**

<u>単元の目標</u> 知識及び技能 森林の機能と生態系サービスとの関係、目標林型、生態系サービスと目標林型との関係などの技術を身につける。		思考力、判断力、表現力等 森林の機能と生態系サービスとの関係、目標林型、生態系サービスと目標林型との関係などについて、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する。			
<u>観点別評価規準</u> 知識・技能 ①森林の機能と目標林型について、理解するとともに、関連する技術を身につける。		思考・判断・表現 ①森林の機能と目標林型に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する。			
主体的に学習に取り組む態度 ①森林の機能と目標林型について自ら学び、生態系の健全な管理へ向けて主体的かつ協働的に取り組む。					
<u>教材範囲</u> 教科書P109～113	<u>内容のまとめり I</u> <b>第1節 生態系サービスと森林の機能の発揮</b>	<u>学習時期(予定)</u> 年度当初～5月	<u>配当時間</u> 4 時間		
<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>	<u>観点別学習評価</u>			<u>備考</u>	
	知・技		思・判・表		態度
	規準	評価方法	規準		評価方法
1. 生態系サービス	① 定期考査 小テスト	① レポート	① 授業への 取り組み		
2. 保安林と保護林	① 定期考査 小テスト	① レポート	① 授業への 取り組み		
<u>教材範囲</u> 教科書P114～124	<u>内容のまとめり II</u> <b>第2節 目標林型とゾーニング</b>	<u>学習時期(予定)</u> 年度当初～5月	<u>配当時間</u> 3 時間		
<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>	<u>観点別学習評価</u>			<u>備考</u>	
	知・技		思・判・表		態度
	規準	評価方法	規準		評価方法
1. 目標林型	① 定期考査 小テスト	① レポート	① 授業への 取り組み		
2. ゾーニング	① 定期考査 小テスト	① レポート	① 授業への 取り組み		

(2) **単元：第5章 森林の施業技術や管理技術**

<u>単元の目標</u> 知識及び技能 森林の施業・管理技術について、現実の森林を目標林型(生産林、環境林)へ向けて取り組む観点から捉えることについて理解する。		思考力、判断力、表現力等 森林の施業・管理技術について、現実の森林を目標林型(生産林、環境林)へ向けて取り組む観点から捉えることについて科学的な根拠に基づいて創造的に学習を進めることができる。			
<u>観点別評価規準</u> 知識・技能 ①森林の施業や管理技術について、理解するとともに、関連する技術を身につける。		思考・判断・表現 ①森林の施業や管理技術に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する。			
主体的に学習に取り組む態度 ①森林の施業や管理技術について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。					
<u>教材範囲</u> 教科書P125～206	<u>内容のまとめり I</u> <b>第1節 生産林の施業技術</b>	<u>学習時期(予定)</u> 5月～9月	<u>配当時間</u> 15時間		
<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>	<u>観点別学習評価</u>			<u>備考</u>	
	知・技		思・判・表		態度
	規準	評価方法	規準		評価方法
1 木材生産の更新技術	① 定期考査 小テスト	① 定期考査 レポート	① 授業への 取り組み		
2 初期保育技術	① 定期考査 小テスト	① 定期考査 レポート	① 授業への 取り組み		

3	樹冠管理技術	①	定期考査 小テスト	①	定期考査 レポート	①	授業への 取り組み	
4	木材生産の施業体系	①	定期考査 小テスト	①	定期考査 レポート	①	授業への 取り組み	
<u>教材範囲</u> 教科書P207～210		<u>内容のまとめ</u> II <b>第2節 環境林の管理技術</b>			<u>学習時期 (予定)</u> 5月～9月		<u>配当時間</u> 2 時間	
<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>		<u>観点別学習評価</u>					<u>備考</u>	
		<u>知・技</u>		<u>思・判・表</u>		<u>態度</u>		
		<u>規準</u>	<u>評価方法</u>	<u>規準</u>	<u>評価方法</u>	<u>規準</u>	<u>評価方法</u>	
1	誘導法	①	定期考査 小テスト	①	定期考査 レポート	①	授業への 取り組み	
<u>教材範囲</u> 教科書P211～238		<u>内容のまとめ</u> III <b>第3節 森林の健全性を維持するための管理技術</b>			<u>学習時期 (予定)</u> 5月～9月		<u>配当時間</u> 10時間	
<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>		<u>観点別学習評価</u>					<u>備考</u>	
		<u>知・技</u>		<u>思・判・表</u>		<u>態度</u>		
		<u>規準</u>	<u>評価方法</u>	<u>規準</u>	<u>評価方法</u>	<u>規準</u>	<u>評価方法</u>	
1	世界で起こっている森林破壊	①	定期考査	①	レポート	①	授業への 取り組み	
2	日本で起こっている森林被害	①	定期考査 小テスト	①	レポート	①	授業への 取り組み	
3	森林の健全性を維持するための基本的な考え	①	定期考査 小テスト	①	レポート	①	授業への 取り組み	

(3) **単元：第6章 木材の収穫**

<u>単元の目標</u>	
知識及び技能 木材の収穫について、その個別技術を、全体システムとして捉える学習活動を通して、実際の木材の収穫について理解する。	思考力、判断力、表現力等 木材の収穫について、その個別技術を、全体システムとして捉える学習活動を通して、実際の木材の収穫について、科学的な根拠に基づいて創造的に学習を進める。
<u>観点別評価規準</u>	
知識・技能 ①木材の収穫について理解するとともに関連する技術を身につける。	思考・判断・表現 ①木材の収穫に関する課題を発見し、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する。
主体的に学習に取り組む態度 ①木材の収穫について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。	

<u>教材範囲</u> 教科書P239～242		<u>内容のまとめ</u> I <b>第1節 作業システム</b>			<u>学習時期 (予定)</u> 9月～12月		<u>配当時間</u> 3 時間	
<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>		<u>観点別学習評価</u>					<u>備考</u>	
		<u>知・技</u>		<u>思・判・表</u>		<u>態度</u>		
		<u>規準</u>	<u>評価方法</u>	<u>規準</u>	<u>評価方法</u>	<u>規準</u>	<u>評価方法</u>	
1	作業計画	①	定期考査	①	定期考査 レポート	①	授業への 取り組み	
2	労働生産性と環境保全への配慮	①	定期考査	①	定期考査 レポート	①	授業への 取り組み	
<u>教材範囲</u> 教科書P243～259		<u>内容のまとめ</u> II <b>第2節 路網</b>			<u>学習時期 (予定)</u> 9月～12月		<u>配当時間</u> 5 時間	
<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>		<u>観点別学習評価</u>					<u>備考</u>	
		<u>知・技</u>		<u>思・判・表</u>		<u>態度</u>		
		<u>規準</u>	<u>評価方法</u>	<u>規準</u>	<u>評価方法</u>	<u>規準</u>	<u>評価方法</u>	
1	路網の意義と役割	①	定期考査	①	レポート	①	授業への 取り組み	
2	林道網計画と設計	①	定期考査	①	レポート	①	授業への 取り組み	
3	林道の施行と保守管理	①	定期考査	①	レポート	①	授業への 取り組み	
4	森林作業道計画と設計	①	定期考査	①	レポート	①	授業への 取り組み	
5	林道等の保守管理	①	定期考査	①	レポート	①	授業への 取り組み	

教材範囲 教科書P260～273		内容のまとめり III <b>第3節 伐採、造材、集材</b>				学習時期(予定) 9月～12月		配当時間 7 時間	
学習活動、学習のねらい、学習形式等		観点別学習評価						備考	
		知・技		思・判・表		態度			
		規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法		
1	林木の伐採	①	定期考査 小テスト	①	定期考査	①	授業への 取り組み		
2	造材と集材	①	定期考査 小テスト	①	定期考査	①	授業への 取り組み		
3	木材の運搬	①	定期考査 小テスト	①	定期考査	①	授業への 取り組み		

  

教材範囲 教科書P274～282		内容のまとめり III <b>第4節 労働安全</b>				学習時期(予定) 9月～12月		配当時間 6 時間	
学習活動、学習のねらい、学習形式等		観点別学習評価						備考	
		知・技		思・判・表		態度			
		規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法		
1	林業における災害の発生 状況	①	定期考査 小テスト	①	定期考査	①	授業への 取り組み		
2	安全管理の基本	①	定期考査 小テスト	①	定期考査	①	授業への 取り組み		
3	チェーンソーの取扱いと 安全対策	①	定期考査 小テスト	①	定期考査	①	授業への 取り組み		
4	労働災害のない林業に向 けて	①	定期考査 小テスト	①	定期考査	①	授業への 取り組み		

(4) **単元：第7章 森林の育成と活用の実践**

単元の目標		
知識及び技能 森林の育成と活用について、実践的なプロジェクト学習や地域連携活動などを通して、主要な森林の育成や地域特有な森林の活用などについて理解する。	思考力、判断力、表現力等 森林の育成と活用について、実践的なプロジェクト学習や地域連携活動などを通して、主要な森林の育成や地域特有な森林の活用などについて科学的な根拠に基づいて創造的に学習を進めることができる。	
観点別評価規準		
知識・技能 ①森林の育成と活用の実践について、理解するとともに、関連する技術を身につける。	思考・判断・表現 ①森林の育成と活用に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する。	主体的に学習に取り組む態度 ①森林の育成と活用の実践について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。

教材範囲 教科書P283～299		内容のまとめり I <b>第1節 森林の育成と活用の実践</b>				学習時期(予定) 12月～2月		配当時間 5 時間	
学習活動、学習のねらい、学習形式等		観点別学習評価						備考	
		知・技		思・判・表		態度			
		規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法		
1	育林に関する研究	①	定期考査 小テスト	①	定期考査 レポート	①	授業への 取り組み		
2	森づくりに関する研究	①	定期考査 小テスト	①	定期考査 レポート	①	授業への 取り組み		
3	野生動物による森林被害 に関する研究	①	定期考査 小テスト	①	定期考査 レポート	①	授業への 取り組み		
4	森林の活用に関する研究	①	定期考査 小テスト	①	定期考査 レポート	①	授業への 取り組み		

  

教材範囲 教科書P300～306		内容のまとめり II <b>第2節 従来の林業地の取組</b>				学習時期(予定) 12月～2月		配当時間 2 時間	
学習活動、学習のねらい、学習形式等		観点別学習評価						備考	
		知・技		思・判・表		態度			
		規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法		
1	従来の林業地の取組	①	定期考査 小テスト	①	定期考査 レポート	①	授業への 取り組み		

# 令和6年度（2024年度）シラバス

## 1 科目概要

教科 <b>農業</b>	科目 <b>林産物利用</b>	担当者(主) 山口 淳也	履修年次(今年度) 3年	単位数(今年度) 2単位	
履修対象 グリーンコース必履修	前学年からの 継続履修 有	次学年での 継続履修 -			
教材(出版社)	教科書 林産物利用(実教出版)	副教材 なし			
定期考査の実施 ※変更可能性あり	1学期中間 ※5月中旬あたり -	1学期期末 ※7月上旬あたり 有	2学期中間 ※10月中旬あたり -	2学期期末 ※12月上旬あたり 有	学年末 ※3年:1月末 他:2月中旬あたり 有
<b>科目の目標</b> 農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、林産物の利用に必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。 (1) 林産物の利用について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。 (2) 林産物の利用に関する課題を発見し、農業や農業関連作業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3) 林産物が多様な利用につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。					
知識及び技能 森林資源の活用、林産業の概要、製材・加工と木工、木材や特用林産物の加工と利用に必要な知識と技術を体系的・系統的に理解し、身につけるようにする。	思考力、判断力、表現力等 森林資源の活用、林産業の概要、製材・加工と木工、木材や特用林産物の加工と利用に関する課題を発見し、地域の林産業や社会的な意義と役割を踏まえ科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する力を養う。	学びに向かう力、人間性等(全単元共通) 森林資源を活用する林産物利用の学習を通して、林産業が「地球の未来を創る産業」「地域を創造する産業」であることを理解し、循環資源としての森林の多面的な利用を図るとともに地域振興に向け主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
<b>具体的な評価の方法</b> 授業や実習を通じた3つの観点について、それぞれ次に示す方法で評価する。					
知識・技能 ①定期考査・小テスト ②農業鑑定競技 ③授業記録・レポート等	思考・判断・表現 ①定期テスト・小テスト ②木材加工実技 ③授業記録・レポート等 ④農業クラブ活動(意見発表等)	主体的に学習に取り組む態度 ①授業に取り組む態度 ②木材加工実技 ③授業記録・レポート等 ④授業態度			
<b>担当者から受講上のアドバイス</b> 1 授業では座学・実習・ICT機器の活用を行います。 2 定期考査では特に2つの観点「知識・技能」「思考・判断・表現」を重視します。 3 テスト・小テストは単元ごとの理解状況を把握します(農業クラブ活動を含む)。 4 実習では特に安全面に配慮しながら根気強く丁寧に実施できるのかを重視して評価します。 5 授業記録・レポート等(ワークシートを含む)は、提出期限までの取り組み状況を重視して評価します。 6 「主体的に学習に取り組む態度」は、積極性や活動状況、課題やテストに対する取り組みを重視します。					

## 2 年間指導計画

学習時期(予定)	学習単元	学習単元内の内容のまとめ	備考
年度当初～6月	第3章 製材と木材の工作	第1節 製材 第2節 木材の乾燥と保存 第3節 木材の工作	実習を含む
6月～11月	第4章 木材の加工と利用	第1節 改良木材の構造 第2節 木材パルプと和紙 第3節 木炭 第4節 バイオマスの変換技術	実習を含む
11月～3月	第5章 特用生産物の生産と加工	第1節 きこの生産と加工 第2節 山菜の加工 第3節 薬用植物の生産と加工 第4節 つる等の加工	実習を含む

(1) 単元：第3章 製材と木材の工作

<u>単元の目標</u>		
知識及び技能 ・製材・加工と木工について理解するとともに、関連する技術を身につけること。	思考力、判断力、表現力等 ・製材・加工と木工に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する。 ・製材・加工と木工について身近な事例を自ら学び、その活用について考察する。	
<u>観点別評価規準</u>		
知識・技能 ①製材・加工と木工について理解している。 ②木材の乾燥と保存について理解している。 ③木材の工作について理解している。	思考・判断・表現 ①製材・加工と木工に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する ②木材の乾燥と保存に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する。 ③木材の工作に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する。	主体的に学習に取り組む態度 ①製材・加工と木工について身近な事例を自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。 ②木材の乾燥と保存について身近な事例を自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。 ③木材の工作について身近な事例を自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。

<u>教材範囲</u> 教科書 P 8 1 ~ 9 6	<u>内容のまとめり I</u> <b>第1節 製材</b>	<u>学習時期(予定)</u> 4月~6月	<u>配当時間</u> 4 時間	
<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>	<u>観点別学習評価</u>			<u>備考</u>
	知・技 規準 評価方法	思・判・表 規準 評価方法	態度 規準 評価方法	
1. 鋸	① 定期考査	① レポート 実習	① 授業への 取り組み	
2. 製材作業	① 定期考査	① レポート 実習	① 授業への 取り組み	
3. 製材機械	① 定期考査	① レポート 実習	① 授業への 取り組み	

<u>教材範囲</u> 教科書 P 9 6 ~ 1 2 2	<u>内容のまとめり II</u> <b>第2節 木材の乾燥と保存</b>	<u>学習時期(予定)</u> 4月~6月	<u>配当時間</u> 4 時間	
<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>	<u>観点別学習評価</u>			<u>備考</u>
	知・技 規準 評価方法	思・判・表 規準 評価方法	態度 規準 評価方法	
1. 木材の乾燥と保存	② 定期考査	② レポート	② 授業への 取り組み	
2. 木材の保存	② 定期考査	② レポート	② 授業への 取り組み	

<u>教材範囲</u> 教科書 1 2 3 ~ 1 5 2	<u>内容のまとめり III</u> <b>第3節 木材の工作</b>	<u>学習時期(予定)</u> 4月~6月	<u>配当時間</u> 4 時間	
<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>	<u>観点別学習評価</u>			<u>備考</u>
	知・技 規準 評価方法	思・判・表 規準 評価方法	態度 規準 評価方法	
1. 工作法	③ 定期考査	③ レポート 実習	③ 授業への 取り組み	
2. 木材加工機械	③ 定期考査	③ レポート 実習	③ 授業への 取り組み	
3. 塗装	③ 定期考査	③ レポート 実習	③ 授業への 取り組み	

(2) 単元：第4章 木材の加工と利用

<u>単元の目標</u> <p style="text-align: center;">知識及び技能</p> <p>・木材の改良と成分の利用について、合板など改良木材、木材パルプと和紙、木炭、バイオマスの変換利用との関連について理解するとともに、関連する技術を身につけること。</p>		<p style="text-align: center;">思考力、判断力、表現力等</p> <p>・木材の改良と成分の利用について、合板など改良木材、木材パルプと和紙、木炭、バイオマスの変換利用との関連について課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する。</p> <p>・木材の改良と成分の利用について、合板など改良木材、木材パルプと和紙、木炭、バイオマスの変換利用との関連について身近な事例を自ら学び、その活用について考察する。</p>	
<u>観点別評価規準</u>			
<p style="text-align: center;">知識・技能</p> <p>①木材の改良と成分の利用について理解している。</p> <p>②合板など改良木材について理解している。</p> <p>③木材パルプと和紙について理解している。</p> <p>④バイオマスの変換利用との関連について理解している。</p>		<p style="text-align: center;">思考・判断・表現</p> <p>①木材の改良と成分の利用に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する</p> <p>②合板など改良木材に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する。</p> <p>③木材パルプと和紙に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する。</p> <p>④バイオマスの変換利用に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する。</p>	
		<p style="text-align: center;">主体的に学習に取り組む態度</p> <p>①木材の改良と成分の利用について身近な事例を自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。</p> <p>②合板など改良木材について身近な事例を自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。</p> <p>③木材パルプと和紙について身近な事例を自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。</p> <p>④バイオマスの変換利用について身近な事例を自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。</p>	

<u>教材範囲</u> 教科書P 153～194	<u>内容のまとめり I</u> <b>第1節 改良木材の製造</b>	<u>学習時期 (予定)</u> 6月～9月	<u>配当時間</u> 12時間
-----------------------------	--	---------------------------	---------------------

学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価						備考
	知・技		思・判・表		態度		
	規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法	
1. 合板	①	定期考査	①	レポート 実習	①	授業への 取り組み	
2. 集成材	①	定期考査	①	レポート 実習	①	授業への 取り組み	
3. 木質ボード類	①	定期考査	①	レポート 実習	①	授業への 取り組み	
4. その他の木質材料	①	定期考査	①	レポート 実習	①	授業への 取り組み	
5. 木材の化学加工	①	定期考査	①	レポート 実習	①	授業への 取り組み	
6. 接着剤と接着法	①	定期考査	①	レポート 実習	①	授業への 取り組み	

<u>教材範囲</u> 教科書P 195～228	<u>内容のまとめり II</u> <b>第2節 木材パルプと和紙</b>	<u>学習時期 (予定)</u> 9月～10月	<u>配当時間</u> 8時間
-----------------------------	--	----------------------------	--------------------

学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価						備考
	知・技		思・判・表		態度		
	規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法	
1. 木材パルプ	②	定期考査	②	レポート	②	授業への 取り組み	
2. 木材パルプの製造法	②	定期考査	②	レポート	②	授業への 取り組み	
3. 製紙	②	定期考査	②	レポート	②	授業への 取り組み	

<u>教材範囲</u> 教科書P 229～237	<u>内容のまとめり III</u> <b>第3節 木炭</b>	<u>学習時期 (予定)</u> 10月～10月	<u>配当時間</u> 6時間
-----------------------------	-------------------------------------	-----------------------------	--------------------

学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価						備考
	知・技		思・判・表		態度		
	規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法	
1. 製炭法	③	定期考査	③	レポート 実習	③	授業への 取り組み	
2. 木炭の特性と用途	③	定期考査	③	レポート 実習	③	授業への 取り組み	

教材範囲 教科書P 238～249	内容のまとめり II <b>第4節 バイオマスの変換技術と利用</b>	学習時期 (予定) 10月～11月	配当時間 7 時間			
学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価			備考		
	知・技		思・判・表		態度	
	規準	評価方法	規準		評価方法	評価方法
	④	定期考査	④		レポート	④
1. バイオマスとは	④	定期考査	④	レポート	④	授業への 取り組み
2. バイオマスの利用	④	定期考査	④	レポート	④	授業への 取り組み
3. バイオマス利用の課題	④	定期考査	④	レポート	④	授業への 取り組み

(1) 単元：第5章 特用林産物の生産と加工

単元の目標		
知識及び技能 ・特用林産物の生産と加工について理解するとともに、関連する技術を身につけること。	思考力、判断力、表現力等 ・特用林産物の生産と加工に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する。 ・特用林産物の生産と加工について身近な事例を自ら学び、その活用について考察する。	
観点別評価規準		
知識・技能 ①きのこの生産と加工について理解している。 ②山菜の加工について理解している。 ③薬用植物の生産と加工について理解している。 ④つる等の加工について理解している。	思考・判断・表現 ①きのこの生産と加工に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する。 ②山菜の加工に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する。 ③薬用植物の生産と加工に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する。 ④つる等の加工について理解している。	主体的に学習に取り組む態度 ①きのこの生産と加工について身近な事例を自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。 ②山菜の加工について身近な事例を自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。 ③薬用植物の生産と加工について身近な事例を自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。 ④つる等の加工について身近な事例を自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。

教材範囲 教科書P 250～264	内容のまとめり I <b>第1節 きのこの生産と加工</b>	学習時期 (予定) 11月～12月	配当時間 8 時間			
学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価			備考		
	知・技		思・判・表		態度	
	規準	評価方法	規準		評価方法	評価方法
	①	定期考査	①		レポート 実習	①
1. きのこの生態	①	定期考査	①	レポート 実習	①	授業への 取り組み
2. 主なきのこの栽培	①	定期考査	①	レポート 実習	①	授業への 取り組み
3. きのこの加工	①	定期考査	①	レポート 実習	①	授業への 取り組み

教材範囲 教科書P 265～271	内容のまとめり II <b>第2節 山菜の加工</b>	学習時期 (予定) 12月～1月	配当時間 6 時間			
学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価			備考		
	知・技		思・判・表		態度	
	規準	評価方法	規準		評価方法	評価方法
	②	定期考査	②		レポート	②
1. 主な山菜の植物学的特徴と栽培	②	定期考査	②	レポート	②	授業への 取り組み
2. 山菜の加工	②	定期考査	②	レポート	②	授業への 取り組み

教材範囲 教科書P 272～274	内容のまとめり III <b>第3節 薬用植物の生産と加工</b>	学習時期 (予定) 1月～2月	配当時間 7 時間			
学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価			備考		
	知・技		思・判・表		態度	
	規準	評価方法	規準		評価方法	評価方法
	③	定期考査	③		レポート 実習	③
1. 主な薬用植物の植物学的特徴と薬効	③	定期考査	③	レポート 実習	③	授業への 取り組み
2. 薬用植物の栽培	③	定期考査	③	レポート 実習	③	授業への 取り組み
3. 薬用植物の加工	③	定期考査	③	レポート	③	授業への 取り組み

			実習		取り組み	
<u>教材範囲</u> 教科書P 275～277		<u>内容のまとめり II</u> <b>第4節 つる等の加工</b>			<u>学習時期 (予定)</u> 1月～2月	<u>配当時間</u> 4 時間
<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>	<u>観点別学習評価</u>					<u>備考</u>
	<u>知・技</u>		<u>思・判・表</u>		<u>態度</u>	
	<u>規準</u>	<u>評価方法</u>	<u>規準</u>	<u>評価方法</u>	<u>規準</u>	<u>評価方法</u>
1. つる植物の加工	④	定期考査	④	レポート	④	授業への 取り組み
2. 竹材の加工	④	定期考査	④	レポート	④	授業への 取り組み

# 令和6年度（2024年度）シラバス

## 1 科目概要

教科 <b>農業</b>	科目 <b>森で学ぶ</b>	担当者（主） 中原 武徳	履修年次（今年度） 3年	単位数（今年度） 2単位	
履修対象 全員必履修	前学年からの 継続履修 有	次学年での 継続履修 -			
教材（出版社）	教科書 教科書はないため、指導案をもとに授業展開する	副教材 動植物やアウトドア関係の本、資料・プリントを使用			
定期考査の実施 ※ 変更可能性あり	1学期中間 ※5月中旬あたり -	1学期期末 ※7月上旬あたり 有	2学期中間 ※10月中旬あたり -	2学期期末 ※12月上旬あたり 有	学年末 ※3年：1月末 他：2月中旬あたり 有
<b>科目の目標</b> 「森で学ぶ」の学習では、森の動植物、山の生活文化、森林観光、アウトドアライフといった内容について、実習や観察・調査・記録などの学習活動とおおして、自然のすばらしさと効果について理解し、その活かし方についての知識と技術の習得を目指す。					
<b>知識及び技術</b> 「森で学ぶ」の学習・実技内容について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。		<b>思考力、判断力、表現力等</b> 学習・実技内容に関する各自の課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を養う。		<b>学びに向かう力、人間性等（全単元共通）</b> 学習・実技で習得した基礎的な知識と技術が社会生活の中で活用できるよう自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	
<b>具体的な評価の方法</b> 定期考査と実技を中心に評価します。					
<b>知識、技術</b> ・定期考査 ・実習（実技）		<b>思考、判断、表現</b> ・定期考査（記述） ・実習（実技）		<b>主体的に学習に取り組む態度</b> ・授業・実習中の学習態度 ・提出物の提出	
<b>担当者から受講上のアドバイス</b> ・授業内容と実習内容がリンクしていきますので日々の授業・実習を大切にしてください。 ・実習後、実習ノートの記入があります。後で見えてわかるように丁寧に記入してください。また、提出の必要があります。 ・実習では、様々な道具を使用します。怪我の危険性の高いものもありますので注意してください。					

## 2 年間指導計画

学習時期（予定）	学習単元	学習単元内の内容のまとめ	備考
年度当初～5月上旬	森の動植物	泉町の植物 泉町の動物	
5月中旬～6月上旬	山の生活文化	山村生活 郷土芸能	
6月上旬～12月	アウトドアライフ	溪流釣り キャンプ トレッキング マウンテンバイク	
1月～3月	プレゼンテーション作成	アウトドアライフのまとめ	

3 指導と評価の計画

(1) 単元：森の動植物

<u>単元の目標</u> 知識及び技術 ・自然環境のすばらしさ、仲間の大切さに関心を持ち、それらについて体感し、必要な知識を得る。		思考力、判断力、表現力等 ・得た知識と経験を活かし、様々な野外活動にチャレンジし、自ら考え行動できる態度を養う。		
<u>観点別評価規準</u> 知識、技術 ① 泉町に生息する動植物が理解できる。 ② 泉町の動植物の生態について理解できる。		思考、判断、表現 ① 動物の生態や季節毎の植物について理解を深め、泉町の自然環境下に置ける現状を主体的に考えられる。		
		主体的に学習に取り組む態度 ① 自然環境はもとより自分の生き方にも関心を持ち、意欲的に行動する能力と態度を養う。		
<u>教材範囲</u> プリント	<u>内容のまとめり I</u> 森の動植物	<u>学習時期 (予定)</u> 年度当初～5月上旬	<u>配当時間</u> 6 時間	
<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>	<u>観点別学習評価</u>			<u>備考</u>
	知、技 規準 評価方法	思、判、表 規準 評価方法	態度 規準 評価方法	
泉町の植物	①② 確認テスト	① 調査報告	① 取り組み	
泉町の動物	①② 確認テスト	① 調査報告	① 取り組み	

(2) 単元：山の生活文化

<u>単元の目標</u> 知識及び技術 ・山の生活文化や自然環境のすばらしさ、仲間の大切さに関心を持ち、それらについて体感し、必要な知識を得る。		思考力、判断力、表現力等 ・得た知識と経験を活かし、様々な野外活動にチャレンジし、自ら考え行動できる態度を養う。		
<u>観点別評価規準</u> 知識、技術 ① 山村の様々な生活文化について理解できる。		思考、判断、表現 ① 山村と都市の生活様式の違いを理解し、山村文化の魅力、不便さが理解できる。		
		主体的に学習に取り組む態度 ① 山村の置かれている現状を理解し、生活文化を維持・改善して行く能力と態度を養う。		
<u>教材範囲</u> プリント	<u>内容のまとめり I</u> 山の生活文化	<u>学習時期 (予定)</u> 5月中旬～6月上旬	<u>配当時間</u> 6 時間	
<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>	<u>観点別学習評価</u>			<u>備考</u>
	知、技 規準 評価方法	思、判、表 規準 評価方法	態度 規準 評価方法	
山村生活	① 確認テスト	① レポート	① 取り組み	
郷土芸能	① 確認テスト	① レポート		



# 令和6年度（2024年度）シラバス

## 1 科目概要

教科 <b>農業</b>	科目 <b>森を活かすA</b>	担当者(主) 米村 慎悟	履修年次(今年度) 3年	単位数(今年度) 2単位	
履修対象 グリーンコース必履修	前学年からの 継続履修 有	次学年での 継続履修 -			
教材(出版社)	教科書	学校設定科目であるため、自作教材を用いて授業を展開します。			
	副教材	資源活用やアウトドア関係の書籍、資料、画像等を使用します。			
定期考査の実施 ※変更可能性あり	1学期中間 ※5月中旬あたり -	1学期期末 ※7月上旬あたり 有	2学期中間 ※10月中旬あたり -	2学期期末 ※12月上旬あたり 有	学年末 ※3年：1月末 他：2月中旬あたり 有
<b>科目の目標</b> 森林や河川に関する環境の重要性を認識するとともに、森林資源等に関する諸問題について研究を行う。また、有効活用に必要な知識と技術を習得し、地域産業の振興を図る能力と態度を育てる。					
知識及び技能 ① 自分一人で行う (例)・知識の応用 ・技術力発揮 ・集中力 等		思考力、判断力、表現力等 ② 班員と一緒に (例)・コミュニケーション ・協調性 ・段取り 等		学びに向かう力、人間性等(全単元共通) ③ ①②を応用 (例)・リーダーシップ ・課題解決能力 ・主体性 等	
<b>具体的な評価の方法</b> 3つの観点について、それぞれ次に示す方法で評価する。					
知識・技能 学期末考査・実習		思考・判断・表現 学期末考査・実習		主体的に学習に取り組む態度 学期末考査・実習	
担当者から受講上のアドバイス <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内容と実習内容がリンクしていきますので日々の授業・実習を大切にしてください。</li> <li>・実習後、実習ノートの記入があります。後で見えてわかるように丁寧に記入して下さい。また、必要に応じて提出してもらったことがあります。</li> <li>・実習では、様々な道具を使用します。怪我の危険性の高いものもありますので注意してください。</li> </ul>					

## 2 年間指導計画

学習時期(予定)	学習単元	学習単元内の内容のまとめ	備考
年度当初～4月	1年間の計画とファイル作り	年間の計画を理解させ、ポートフォリオのファイル作成づくりを行う。	
4～7月	溪流魚(資源を学ぶ)	ヤマメについての学習	
9～10月	竹と竹炭(資源を活かす)	竹と炭についての学習	
10月～1月	鳥獣被害対策(地域資源を考える)	鳥獣被害の現状についての学習	

3 指導と評価の計画

※「単元の目標」 - 「学びに向かう人間性等」は、すべて前ページ「科目の目標」のものに準じるので、割愛

(1) **単元：学校設定科目（一括単元）**

<u>単元の目標</u>		知識及び技能 溪流魚（ヤマメ）について必要な知識や技能を身につける。	思考力、判断力、表現力等 溪流魚（ヤマメ）についての課題を解決する力を身につける。
<u>観点別評価規準</u>		知識・技能 ①意欲的に調査ができています ②ヤマメがなぜ海へ一度下るのかに理解したか ③槽内の水温を調査し、1週間置きに体重測定を行う	思考・判断・表現 ①社会的要因に絡め考察ができる。【記録】 ②資料から具体的数値を読み取り現状理解ができています【記録】 ③魚は変温動物であるため、水温が上がると食べる量が増え体重が増量することがを考える【記録】
		主体的に学習に取り組む態度 ①実習態度は良好か	
<u>教材範囲</u> プリント	<u>内容のまとめり</u> I <b>ヤマメについての学習</b>	<u>学習時期（予定）</u> 4月～7月	<u>配当時間</u> 24時間
<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>	<u>観点別学習評価</u>		
	知・技 規準 評価方法	思・判・表 規準 評価方法	態度 規準 評価方法
ヤマメ養殖の現状を学ぶ	① 実習	① 記録	① 実習
ヤマメ養殖の課題		② 記録	① 実習
ヤマメの生態理解	② 記録		① 実習
給餌と水温の関係を調査地域資源を考える	③ 実習	③ 記録	① 実習
養魚槽の水質改善			① 実習
研究の応用			① 実習
ヤマメの保存食について考える			① 実習
			備考
			* 定期考査課題

(2) **単元：学校設定科目（一括単元）**

<u>単元の目標</u>		知識及び技能 タケについて必要な知識や技能を身につける。	思考力、判断力、表現力等 タケについての課題を解決する力を身につける。
<u>観点別評価規準</u>		知識・技能 ①なぜ山が荒廃するのか理解できているか。 ②竹の特製を理解して調理ができていますか。 ③道具の使い方は適切か。 ④竹の特製を理解して調理ができていますか	思考・判断・表現 ①連携や協力、今自分が何をすべきかあ危機管理・安全管理ができていますか ②安全性と衛生管理に気を配って実習ができていますか
		主体的に学習に取り組む態度 ①授業に興味関心を持って挑んでいるか	
<u>教材範囲</u> プリント	<u>内容のまとめり</u> I <b>竹と竹炭</b>	<u>学習時期（予定）</u> 9月～10月下旬	<u>配当時間</u> 8時間
<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>	<u>観点別学習評価</u>		
	知・技 規準 評価方法	思・判・表 規準 評価方法	態度 規準 評価方法
竹の影響で林間が荒廃している理由を理解しよう	① 実習・記録		① 実習
竹の伐採・搬出・加工	③ 実習	① 実習	① 実習
自分達の作った炭と生竹の器で炊飯をしてみよう	④ 実習	② 実習	① 実習
			備考
			* 定期考査課題
			* 定期考査課題
			* 定期考査課題

(3) 単元：学校設定科目（一括単元）

<u>単元の目標</u> <table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="width:50%; border:none;"> <u>知識及び技能</u>            鳥獣被害について必要な知識や技能を身につける。         </td> <td style="width:50%; border:none;"> <u>思考力、判断力、表現力等</u>            鳥獣被害についての課題を解決する力を身につける。         </td> </tr> </table>								<u>知識及び技能</u> 鳥獣被害について必要な知識や技能を身につける。	<u>思考力、判断力、表現力等</u> 鳥獣被害についての課題を解決する力を身につける。	
<u>知識及び技能</u> 鳥獣被害について必要な知識や技能を身につける。	<u>思考力、判断力、表現力等</u> 鳥獣被害についての課題を解決する力を身につける。									
<u>観点別評価規準</u> <table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="width:33%; border:none;"> <u>知識・技能</u>            ①被害の起きる原因を理解したか            ②対策手段を理解したか            ③罾の使い方を理解したか         </td> <td style="width:33%; border:none;"> <u>思考・判断・表現</u>            ①罾を扱うことができるか            ②効果的な対策を考えることができたか。            ③効果的な対策を表現することができたか。         </td> <td style="width:33%; border:none;"> <u>主体的に学習に取り組む態度</u>            ①授業に興味関心を持って挑んでいるか【実習】         </td> </tr> </table>								<u>知識・技能</u> ①被害の起きる原因を理解したか ②対策手段を理解したか ③罾の使い方を理解したか	<u>思考・判断・表現</u> ①罾を扱うことができるか ②効果的な対策を考えることができたか。 ③効果的な対策を表現することができたか。	<u>主体的に学習に取り組む態度</u> ①授業に興味関心を持って挑んでいるか【実習】
<u>知識・技能</u> ①被害の起きる原因を理解したか ②対策手段を理解したか ③罾の使い方を理解したか	<u>思考・判断・表現</u> ①罾を扱うことができるか ②効果的な対策を考えることができたか。 ③効果的な対策を表現することができたか。	<u>主体的に学習に取り組む態度</u> ①授業に興味関心を持って挑んでいるか【実習】								
<u>教材範囲</u> プリント		<u>内容のまとめり I</u> 鳥獣被害対策			<u>学習時期（予定）</u> 11月～1月		<u>配当時間</u> 20時間			
<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>	<u>観点別学習評価</u>						<u>備考</u>			
	<u>知・技</u> 規準   評価方法		<u>思・判・表</u> 規準   評価方法		<u>態度</u> 規準   評価方法					
八代市の農林業における鳥獣被害の現状を理解する。	①	実習・記録			①	実習	*定期考査課題			
高校生にでもできる鳥獣被害対策を考案する。	②	実習・記録	② ③	実習・記録			*定期考査課題			
圃場、山林で鳥獣の防除、捕獲を実践する。			① ②	実習・記録	①	実習	*定期考査課題			
1年間のまとめとして泉町にはどのような資源と人材がいるかを考えてみる。					①	実習	*定期考査課題			

# 令和6年度（2024年度）シラバス

## 1 科目概要

教科 <b>農業</b>	科目 <b>森を活かすB</b>	担当者(主) 米村 慎悟	履修年次(今年度) 3年	単位数(今年度) 3単位
履修対象 選択履修	前学年からの 継続履修 -	次学年での 継続履修 -		
教材(出版社)	教科書			
	副教材			
定期考査の実施 ※変更可能性あり	1学期中間 ※5月中旬あたり -	1学期期末 ※7月上旬あたり 有	2学期中間 ※10月中旬あたり -	2学期期末 ※12月上旬あたり 有
				学年末 ※3年:1月末 他:2月中旬あたり 有
<p><u>科目の目標</u></p> <p>森林や河川に関する環境保全の重要性を認識するとともに、河川や森林資源等の有効活用に必要な知識と技術を習得し、地域産業の振興を図る能力と態度を育てる。</p>				
<p>知識及び技能</p> <p>① 自分一人で行う (例)・知識の応用 ・技術力発揮 ・集中力 等</p>		<p>思考力、判断力、表現力等</p> <p>② 班員と一緒に (例)・コミュニケーション ・協調性 ・段取り 等</p>		<p>学びに向かう力、人間性等(全単元共通)</p> <p>③ ①②の応用と主体性を高める (例)・リーダーシップ ・課題解決能力 ・主体性 等</p>
<p><u>具体的な評価の方法</u></p> <p>3つの観点について、それぞれ次に示す方法で評価する。</p>				
<p>知識・技能</p> <p>学期末考査・実習</p>		<p>思考・判断・表現</p> <p>学期末考査・実習</p>		<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>学期末考査・実習</p>
<p><u>担当者から受講上のアドバイス</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内容と実習内容がリンクしていきますので日々の授業・実習を大切にしてください。</li> <li>・実習後、実習ノートの記入があります。後で見えてわかるように丁寧に記入して下さい。また、必要に応じて提出してもらったことがあります。</li> <li>・実習では、様々な道具を使用します。怪我の危険性の高いものもありますので注意してください。</li> </ul>				

## 2 年間指導計画

学習時期(予定)	学習単元	学習単元内の内容のまとめ	備考
年度当初～	1年間の計画とファイル作り	年間の計画を理解させ、ポートフォリオのファイル作成づくりを行う	
4～7月	内水面養殖について(資源を学ぶ)	内水面養殖について学習する	
9～12月	燻製の実際(資源を活かす)	保存食について学習する	
12～1月	コケの活用(資源を活かす)	コケ種類や生育環境を知る。	

(1) **単元：学校設定科目（一括単元）**

<u>単元の目標</u>		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		
内水面養殖について必要な知識や技能を身につける。		内水面養殖について課題を解決する力を身につける。				
<u>観点別評価規準</u>		知識・技能		思考・判断・表現		
①内水面養殖の現状を知る ②体重増加と温度の関係を ③飼料の種類を知る ④消化吸収の仕組みを知る ⑤飼料の給餌方法を知る		①資料を読み取ることができる ②資料を読み取り適切な答えを出すことができる		主体的に学習に取り組む態度 ①積極的に授業に取り組む ②積極的に発言する		
<u>教材範囲</u>	<u>内容のまとめり I</u>			<u>学習時期（予定）</u>	<u>配当時間</u>	
プリント	内水面養殖			4月～7月	40時間	
<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>	<u>観点別学習評価</u>					
	知・技		思・判・表		態度	
	規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法
内水面養殖の現状	①	記録	①	記録	①②	授業
温度と体重の関係	②	記録	②	記録	①②	授業
飼料について	③	記録	②	記録	①②	授業
魚類の摂取、消化、吸収について	④	記録	①	記録	①②	授業
飼料給餌の計算について	⑤	記録	②	記録	①②	授業
飼料の吸収について	⑤	記録	②	記録	①②	授業
栄養要求について	⑤	記録	①	記録	①②	授業
						備考
						*定期考査を含む
						*定期考査を含む
						*定期考査を含む
						*定期考査を含む
						*定期考査を含む
						*定期考査を含む

(2) **単元：学校設定科目（一括単元）**

<u>単元の目標</u>		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		
燻製について必要な知識や技能を身につける。		燻製について課題を解決する力を身につける。				
<u>観点別評価規準</u>		知識・技能		思考・判断・表現		
①保存食について知る ②チップの種類を知る ③燻製の製作方法を知る		①食材にあったチップを選ぶことができる ②食材に適した方法で燻製を作ることができる		主体的に学習に取り組む態度 ①積極的に授業に取り組む ②積極的に発言する		
<u>教材範囲</u>	<u>内容のまとめり I</u>			<u>学習時期（予定）</u>	<u>配当時間</u>	
プリント	燻製の実際			9月～12月	40時間	
<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>	<u>観点別学習評価</u>					
	知・技		思・判・表		態度	
	規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法
燻製・保存食について	①	記録			①②	授業
燻製チップについて	②	記録	①	記録	①②	授業
燻製の製作	③	実習	②	実習	①②	授業
						備考
						*定期考査を含む
						*定期考査を含む
						*定期考査を含む

(3) 単元：学校設定科目（一括単元）

<u>単元の目標</u>							
知識及び技能 コケについて必要な知識や技能を身につける。				思考力、判断力、表現力等 コケについて課題を解決する力を身につける。			
<u>観点別評価規準</u>							
知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
①コケの種類を知る ②コケを採取することができる ③採取したコケを同定することができる		①周辺環境とコケの生育特徴をリンクさせることができる。 ②様々なツールを使い、コケを観察することができる			①積極的に授業に取り組む ②積極的に発言する		
<u>教材範囲</u> プリント		<u>内容のまとめり I</u> コケの活用			<u>学習時期（予定）</u> 12月～1月		<u>配当時間</u> 12時間
<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>	<u>観点別学習評価</u>						<u>備考</u>
	知・技		思・判・表		態度		
	規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法	
コケ種類や生育環境を知る。	①	授業・実習	①	授業・実習	①②	授業	*定期考査を含む
学校周辺に生息しているコケを採取し名称を調べる。	②	授業・実習	②	授業・実習	①②	授業	*定期考査を含む
採取したコケを観察する。	③	授業・実習	②	授業・実習	①②	授業	*定期考査を含む

# 令和6年度（2024年度）シラバス

## 1 科目概要

教科 <b>家庭</b>	科目 <b>生活と福祉</b>	担当者（主） 西山 智美	履修年次（今年度） 3年	単位数（今年度） 2単位	
履修対象 ライフコース必履修	前学年からの 継続履修 -	次学年での 継続履修 -			
教材（出版社）	教科書 生活と福祉（実教出版）				
	副教材				
定期考査の実施 ※ 変更可能性あり	1学期中間 ※5月中旬あたり -	1学期期末 ※7月上旬あたり 有	2学期中間 ※10月中旬あたり -	2学期期末 ※12月上旬あたり 有	学年末 ※3年：1月末 他：2月中旬あたり 有
<b>科目の目標</b> 家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、高齢者の自立生活支援と福祉の充実を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。					
<b>知識及び技能</b> 高齢者の健康と生活、介護などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。		<b>思考力、判断力、表現力等</b> 高齢者の健康と生活、介護などに関する課題を発見し、高齢者の自立生活支援と福祉の充実を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。		<b>学びに向かう力、人間性等（全単元共通）</b> 家族や地域の人々の豊かな生活の実現を目指して自ら学び、高齢者の生活の質の向上と自立生活支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	
<b>具体的な評価の方法</b> 3つの観点について、それぞれに示す方法で評価する。					
<b>知識・技能</b> ・定期考査 ・実習 ・ワークシート		<b>思考・判断・表現</b> ・実習や映像視聴、資料等の感想記述 ・行動観察、活動参加状況 ・課題解決学習、発表		<b>主体的に学習に取り組む態度</b> ・行動観察 ・学習プリント記述 ・課題解決学習	
<b>担当者から受講上のアドバイス</b> 家庭科は「自分の生活」が教材です。しっかりと「自分」を振り返りながら学習に臨んでください。授業で思ったこと、感じたこと、考えたことは積極的に発言しましょう。そして、他の人がどのような考えを持っているかを知り、聞きましょう。多様な生き方に触れ、豊かな人生となるような学習にしてください。期限や時間は守りましょう。また、苦手な分野があっても、意欲的に取り組んで欲しいと思います。					

## 2 年間指導計画

学習時期（予定）	学習単元	学習単元内の内容のまとめ	備考
年度当初～7月中旬	第1章 健康と生活	(1) 健康と生活 ア 健康の概念 イ ライフステージと健康管理	
	第2章 少子高齢化の現状と高齢者の特徴	(2) 高齢者の自立生活支援と介護 ア 高齢者の心身の特徴 (3) 高齢者福祉の制度とサービス ア 人口減少社会と社会福祉	
	第5章 介護の実習	(1) 健康と生活 ウ 家庭看護の基礎 (2) 高齢者の自立生活支援と介護 ウ 高齢者介護の基礎 (4) 生活支援サービスと介護の実習 イ 介護の実習	
	第6章 看護の実習	(1) 健康と生活 ウ 家庭看護の基礎	
9月中旬～12月中旬	第3章 高齢者の自立支援	(2) 高齢者の自立生活支援と介護 イ 人間の尊厳と自立生活支援の考え方 ウ 高齢者介護の基礎	
	第7章 生活支援	(4) 生活支援サービスと介護の実習 ア 生活支援サービスの実習 イ 介護の実習	

		ウ レクリエーションの実習	
	第5章 介護の実習	(1) 健康と生活 ウ 家庭看護の基礎 (2) 高齢者の自立生活支援と介護 ウ 高齢者介護の基礎 (4) 生活支援サービスと介護の実習 イ 介護の実習	
	第6章 看護の実習	(1) 健康と生活 ウ 家庭看護の基礎	
1月中旬～3月中旬	第4章 高齢者支援の法律と制度	(3) 高齢者福祉の制度とサービス イ 高齢者福祉の法規と制度 ウ 保健・医療・福祉サービス	

(1) 単元：第1章 健康と生活

<p><u>単元の目標</u></p> <p style="text-align: center;">知識及び技能</p> <p>○健康の概念とライフステージごとの健康管理について理解する。</p>		<p style="text-align: center;">思考力、判断力、表現力等</p> <p>○ライフステージごとの健康問題を踏まえ、生活習慣病の予防など高齢期に至るまでの課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。</p>					
<p><u>観点別評価規準</u></p>							
<p style="text-align: center;">知識・技能</p> <p>①健康の概念とライフステージごとの健康管理について理解している。</p>		<p style="text-align: center;">思考・判断・表現</p> <p>①ライフステージごとの健康問題について、生涯を見通して課題を設定している。 ②ライフステージごとの健康問題と課題について考え、工夫している。 ③生涯を見通した健康問題について、実践を評価したり、改善したりしている。 ④生涯を見通した健康課題について、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している。</p>		<p style="text-align: center;">主体的に学習に取り組む態度</p> <p>①ライフステージごとの健康課題について、生涯を見通した課題に対して、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>※提出物の提出状況やアンケートへの回答状況、感想記入状況等より、日常的に評価する。</p>			
<p><u>教材範囲</u></p> <p>教科書 p 8～27</p>		<p><u>内容のまとめり I</u></p> <p>(1) 健康と生活 ア 健康の概念 イ ライフステージと健康管理</p>		<p><u>学習時期 (予定)</u></p> <p>年度当初～7月中旬</p>		<p><u>配当時間</u></p> <p>10時間</p>	
<p><u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u></p>		<p><u>観点別学習評価</u></p>				<p><u>備考</u></p>	
		<p style="text-align: center;">知・技</p>		<p style="text-align: center;">思・判・表</p>		<p style="text-align: center;">態度</p>	
		<p style="text-align: center;">規準</p>		<p style="text-align: center;">規準</p>		<p style="text-align: center;">規準</p>	
		<p style="text-align: center;">評価方法</p>		<p style="text-align: center;">評価方法</p>		<p style="text-align: center;">評価方法</p>	
<p>第1節 健康に関する諸概念</p>		<p>①② ・定期考査 ・ワークシート</p>		<p>①② ・ノートやレポートにおける記述 ・行動観察</p>		<p>・ワークシート ・行動観察 ・提出状況</p>	
<p>第2節 ライフステージと健康管理</p>		<p>② ・行動観察</p>		<p>③</p>			

(2) 単元：第2章 少子高齢化の現状と高齢者の特徴

<p><u>単元の目標</u></p> <p style="text-align: center;">知識及び技能</p> <p>○加齢に伴う心身の変化を踏まえ、高齢者の自己決定に基づく自立生活について理解する。 ○高齢者福祉の法規と制度の概要について理解する。</p>		<p style="text-align: center;">思考力、判断力、表現力等</p> <p>○高齢者が地域において自立生活を送るための課題を発見し、その解決に向けて考察する。 ○日本の高齢化の特徴と人口減少社会の課題を発見し、その解決に向けて考察する。</p>					
<p><u>観点別評価規準</u></p>							
<p style="text-align: center;">知識・技能</p> <p>①加齢に伴う心身の変化を踏まえ、高齢者の自己決定に基づく自立生活について理解している。 ②高齢者福祉の法規と制度の概要について理解している。</p>		<p style="text-align: center;">思考・判断・表現</p> <p>①高齢者が自立生活を送ることについて問題を見いだして課題を設定している。 ②高齢者が自立生活を送ることについて考え、工夫している。 ③高齢者が自立生活を送ることについて、実践を評価したり、改善したりしている。 ④高齢者が自立生活を送ることの課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している。</p>		<p style="text-align: center;">主体的に学習に取り組む態度</p> <p>高齢者が自立生活を送ることについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>※提出物の提出状況やアンケートへの回答状況、感想記入状況等より、日常的に評価する。</p>			
<p><u>教材範囲</u></p> <p>教科書 p 28～39</p>		<p><u>内容のまとめり I</u></p> <p>(2) 高齢者の自立生活支援と介護 ア 高齢者の心身の特徴</p>		<p><u>学習時期 (予定)</u></p> <p>年度当初～7月中旬</p>		<p><u>配当時間</u></p> <p>6時間</p>	

(3) 高齢者福祉の制度とサービス ア 人口減少社会と社会福祉						
学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価					備考
	規準	知・技 評価方法	規準	思・判・表 評価方法	規準	
1節 少子高齢化の現状	①	・定期考査 ・ワークシート ・行動観察	①② ③	・ノートやレ ポートにおけ る記述 ・行動観察		・ワークシート ・行動観察 ・提出状況
2節 家族・地域の変化	②		④			
3節 高齢者の心身の特徴						
4節 高齢者の病気						
5節 高齢者に見られる主な疾患や賞状						
6節 高齢者の生活課題と施策						

(3) 単元：第5章 介護の実習

<u>単元の目標</u> 知識及び技能 ○生活支援サービスと介護の実習について、家事援助や基本的な介護技術を身に付ける。		思考力、判断力、表現力等 ○生活支援サービスと介護の実習に関する課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。		
<u>観点別評価規準</u>				
知識・技能 ①生活支援サービスと介護の実習について、家事援助や基本的な介護技術を身に付けている。	思考・判断・表現 ①生活支援サービスと介護の実習について、問題を見出して課題を設定している。 ②生活支援サービスと介護の実習について考え、工夫している。 ③生活支援サービスと介護の実習について、実践を評価したり、改善したりしている。 ④生活支援サービスと介護の実習について、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している。		主体的に学習に取り組む態度 ①生活支援サービスと介護の実習について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。  ※提出物の提出状況やアンケートへの回答状況、感想記入状況等より、日常的に評価する。	
<u>教材範囲</u> 教科書 p 90～129	<u>内容のまとめり I</u> (1) 健康と生活 ウ 家庭看護の基礎 (2) 高齢者の自立生活支援と介護 ウ 高齢者介護の基礎 (4) 生活支援サービスと介護の実習 イ 介護の実習		<u>学習時期 (予定)</u> 年度当初～12月中旬	<u>配当時間</u> 22時間

学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価					備考
	規準	知・技 評価方法	規準	思・判・表 評価方法	規準	
1節 体位変換	①② ③ ④ ⑤	・定期考査 ・ワークシート ・行動観察	②③	・ノートやレ ポートにおけ る記述 ・行動観察		・ワークシート ・行動観察 ・提出状況
2節 歩行介助			①② ③			
3節 車いすの移乗・移動の介護						
4節 食事の介護						
5節 ベッドメイキング						
6節 衣服の着脱の介護						
7節 からだの清潔の介護						
8節 排泄の介護						
9節 褥瘡の予防						
10節 災害時の介護						

(4) 単元：第6章 看護の実習

<u>単元の目標</u>	
知識及び技能 ○家庭看護の基礎的な技術を身に付ける。	思考力、判断力、表現力等 ○家庭看護に関する課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。
<u>観点別評価規準</u>	
知識・技能 ①家庭看護の基礎的な技術を身に付けている。	思考・判断・表現 ①家庭看護について、問題を見出して課題を設定している。 ②家庭看護について考え、工夫している。 ③家庭看護について、実践を評価したり、改善したりしている。 ④家庭看護について、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度 ①家庭看護について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。  ※提出物の提出状況やアンケートへの回答状況、感想記入状況等より、日常的に評価する。
<u>教材範囲</u> 教科書 p 130～153	<u>内容のまとめり I</u> (1) 健康と生活 ウ 家庭看護の基礎
<u>学習時期 (予定)</u> 年度当初～12月中旬	<u>配当時間</u> 14時間

<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>	<u>観点別学習評価</u>						<u>備考</u>
	<u>知・技</u>		<u>思・判・表</u>		<u>態度</u>		
	<u>規準</u>	<u>評価方法</u>	<u>規準</u>	<u>評価方法</u>	<u>規準</u>	<u>評価方法</u>	
1節 家庭看護の意味	①② ③ ④ ⑤		②③				・応急手当(普通救命講習と兼ねる)  ・ワークシート ・行動観察 ・提出状況
2節 バイタルサイン(生命徴候)の見方		・定期考査 ・ワークシート ・行動観察	①② ③	・ノートやレポートにおける記述 ・行動観察			
3節 口腔の清潔							
4節 誤嚥と窒息							
5節 転倒と骨折							
6節 低温やけど(低温熱傷)							
7節 脱水							
8節 熱中症							
9節 高血圧と低血圧							
10節 糖尿病							

(5) 単元：第3章 高齢者の自立支援

<u>単元の目標</u>	
知識及び技能 ○加齢に伴う心身の変化を踏まえ、高齢者の自己決定に基づく自立生活について理解する。	思考力、判断力、表現力等 ○高齢者が地域において自立生活を送るための課題を発見し、その解決に向けて考察する。
<u>観点別評価規準</u>	
知識・技能 ①加齢に伴う心身の変化を踏まえ、高齢者の自己決定に基づく自立生活について理解している。 ②高齢者福祉の法規と制度の概要について理解している。	思考・判断・表現 ①高齢者が自立生活を送ることについて問題を見だして課題を設定している。 ②高齢者が自立生活を送ることについて考え、工夫している。
	主体的に学習に取り組む態度 高齢者が自立生活を送ることについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。

	③高齢者が自立生活を送ることに ついて、実践を評価したり、改善 したりしている。 ④高齢者が自立生活を送ることの 課題解決に向けた一連の活動に ついて、考察したことを根拠に基 づいて論理的に表現している。	※提出物の提出状況やアンケート への回答状況、感想記入状況等よ り、日常的に評価する。
--	--	---

<u>教材範囲</u> 教科書 p 52～65	<u>内容のまとめり I</u> (2) 高齢者の自立生活支援と介護 イ 人間の尊厳と自立生活支援の 考え方 ウ 高齢者介護の基礎	<u>学習時期 (予定)</u> 9月中旬～12月中旬	<u>配当時間</u> 4 時間
----------------------------	---	--------------------------------	---------------------

<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>	<u>観点別学習評価</u>						<u>備考</u>
	<u>知・技</u>		<u>思・判・表</u>		<u>態度</u>		
	<u>規準</u>	<u>評価方法</u>	<u>規準</u>	<u>評価方法</u>	<u>規準</u>	<u>評価方法</u>	
1 節 人間の尊厳	①② ③ ④ ⑤	・定期考査 ・ワークシート ・行動観察	②③	・ノートやレ ポートにおけ る記述 ・行動観察		・ワークシート ・行動観察 ・提出状況	・高齢者にインタビ ュー
2 節 高齢者介護の考え方			①② ③				
3 節 コミュニケーションと 介護							

(6) **単元：第7章 生活支援**

<u>単元の目標</u>		
<u>知識及び技能</u> ○生活支援サービスと介護の実習について、家事援助 や基本的な介護技術を身に付ける。	<u>思考力、判断力、表現力等</u> ○生活支援サービスと介護の実習に関する課題を発見 し、その解決に向けて考察し、工夫する。	
<u>観点別評価規準</u>		
<u>知識・技能</u> ○生活支援サービスと介護の実習 について、家事援助や基本的な介 護技術を身に付けている。	<u>思考・判断・表現</u> ①生活支援サービスと介護の実習 について問題を見だして課題 を設定している。 ②生活支援サービスと介護の実習 について考え、工夫している。 ③生活支援サービスと介護の実習 について、実践を評価したり、改 善したりしている。 ④生活支援サービスと介護の実習 の課題解決に向けた一連の活動 について、考察したことを根拠に 基づいて論理的に表現している。	<u>主体的に学習に取り組む態度</u> 生活支援サービスと介護の実習に について、課題の解決に主体的に取 り組もうとしている。  ※提出物の提出状況やアンケート への回答状況、感想記入状況等よ り、日常的に評価する。

<u>教材範囲</u> 教科書 p 154～177	<u>内容のまとめり I</u> (4) 生活支援サービスと介護の実習 ア 生活支援サービスの実習 イ 介護の実習 ウ レクリエーションの実習	<u>学習時期 (予定)</u> 9月中旬～12月中旬	<u>配当時間</u> 10時間
------------------------------	---	--------------------------------	---------------------

<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>	<u>観点別学習評価</u>						<u>備考</u>
	<u>知・技</u>		<u>思・判・表</u>		<u>態度</u>		
	<u>規準</u>	<u>評価方法</u>	<u>規準</u>	<u>評価方法</u>	<u>規準</u>	<u>評価方法</u>	
1 節 生活支援の考え方	①② ③ ④ ⑤	・定期考査 ・ワークシート ・行動観察	②③	・ノートやレ ポートにおけ る記述 ・行動観察		・ワークシート ・行動観察 ・提出状況	・グループでレクリ エーション
2 節 レクリエーション			①② ③				
3 節 高齢者福祉施設の見学							
4 節 ボランティア活動への 参加							

(7) 単元：第4章 高齢者支援の法律と制度

<u>単元の目標</u> 知識及び技能 ○高齢者福祉の法規と制度の概要について理解する。		思考力、判断力、表現力等 ○日本の高齢化の特徴と人口減少社会の課題を発見し、その解決に向けて考察する。	
<u>観点別評価規準</u> 知識・技能 ①高齢者福祉の法規と制度の概要について理解している。		思考・判断・表現 ①日本の高齢化の特徴と人口減少社会について問題を見いだして課題を設定している。 ②日本の高齢化の特徴と人口減少社会について考え、工夫している。 ③日本の高齢化の特徴と人口減少社会について、実践を評価したり、改善したりしている。 ④日本の高齢化の特徴と人口減少社会の課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している。	
		主体的に学習に取り組む態度 日本の高齢化の特徴と人口減少社会について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。  ※提出物の提出状況やアンケートへの回答状況、感想記入状況等より、日常的に評価する。	
<u>教材範囲</u> 教科書 p 66～89	<u>内容のまとめり I</u> (3) 高齢者福祉の制度とサービス イ 高齢者福祉の法規と制度 ウ 保健・医療・福祉サービス	<u>学習時期 (予定)</u> 1月中旬～3月中旬	<u>配当時間</u> 4 時間

学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価						備考
	知・技		思・判・表		態度		
	規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法	
1 節 社会保障・社会福祉制度のしくみ	①② ③ ④ ⑤	・定期考査 ・ワークシート ・行動観察	②③	・ノートやレポートにおける記述 ・行動観察		・ワークシート ・行動観察 ・提出状況	
2 節 介護保険制度のしくみ			①② ③				
3 節 さまざまな高齢者支援のしくみ							
4 節 地域共生社会							

# 令和6年度（2024年度）シラバス

## 1 科目概要

教科 <b>家庭</b>	科目 <b>フードデザイン</b>	担当者(主) 西山 智美	履修年次(今年度) 3年	単位数(今年度) 2単位
履修対象 ライフコース必履修	前学年からの 継続履修 有	次学年での 継続履修 -		
教材(出版社)	教科書 フードデザイン(実教出版)	副教材 家庭科問題集 食物編 全国高等学校家庭科教育振興会		
定期考査の実施 ※変更可能性あり	1学期中間 ※5月中旬あたり 有	1学期期末 ※7月上旬あたり 有	2学期中間 ※10月中旬あたり 有	2学期期末 ※12月上旬あたり 有
<b>科目の目標</b> 家庭の生活に関わる見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食生活を総合的にデザインするとともに、食生活の充実向上を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。				
知識及び技能 栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	思考力、判断力、表現力等 食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を担う職業人として創造的に解決する力を養う。	学びに向かう力、人間性等(全単元共通) 食生活の充実向上を目指して自ら学び、食生活の総合的なデザインと協働的に取り組む態度を養う。		
<b>具体的な評価の方法</b> 3つの観点について、それぞれに示す方法で評価する。				
知識・技能 ・定期考査 ・実習 ・ワークシート	思考・判断・表現 ・実習や映像視聴、資料等の感想記述 ・行動観察、活動参加状況 ・ホームプロジェクト (取組、まとめ、発表の仕方)	主体的に学習に取り組む態度 ・行動観察 ・学習プリント記述 ・ホームプロジェクト		
<b>担当者から受講上のアドバイス</b> 家庭科は「自分の生活」が教材です。しっかりと「自分」を振り返りながら学習に臨んでください。授業で思ったこと、感じたこと、考えたことは積極的に発言しましょう。そして、他の人がどのような考えを持っているかを知り、聞きましょう。多様な生き方に触れ、豊かな人生となるような学習にしてください。期限や時間は守りましょう。また、苦手な分野があっても、意欲的に取り組んで欲しいと思います。				

## 2 年間指導計画

学習時期(予定)	学習単元	学習単元内の内容のまとめ	備考
年度当初～7月中旬	第3章 食品の特徴・表示・安全	(2) フードデザインの構成要素 イ 食品	
	第6章 フードデザイン実習	(3) フードデザイン実習 イ 食品の選択と調理	
9月中旬～12月中旬	第5章 料理様式とテーブルコーディネート	(2) フードデザインの構成要素 ア 食事テーマの設定と献立作成 ウ 料理様式と献立 オ テーブルコーディネート	
	第6章 フードデザイン実習	(3) フードデザイン実習 ウ テーブルコーディネートとサービスの実習	
1月中旬～3月中旬	第7章 食育	(4) 食育と食育推進活動 ア 食育の意義	
	第6章 フードデザイン実習	イ 家庭や地域における食育推進活動	

(1) 単元：第3章 食品の特徴・表示・安全

<p><u>単元の目標</u></p> <table border="1"> <tr> <td> <p>知識及び技能</p> <p>○食品の特徴、調理上の性質及び調理による成分の変化についての知識を身に付ける。</p> <p>○輸入食品や様々な加工食品など多種多様な食品の中から、目的に応じて適切な選択ができる。</p> </td> <td> <p>思考力、判断力、表現力等</p> <p>○食品の特徴や調理上の性質を科学的に考察する。</p> <p>○食品について安全や衛生に配慮した適切な判断ができる。</p> <p>○食品の生産・流通・加工などの現状における課題について考えをまとめる。</p> </td> </tr> </table>		<p>知識及び技能</p> <p>○食品の特徴、調理上の性質及び調理による成分の変化についての知識を身に付ける。</p> <p>○輸入食品や様々な加工食品など多種多様な食品の中から、目的に応じて適切な選択ができる。</p>	<p>思考力、判断力、表現力等</p> <p>○食品の特徴や調理上の性質を科学的に考察する。</p> <p>○食品について安全や衛生に配慮した適切な判断ができる。</p> <p>○食品の生産・流通・加工などの現状における課題について考えをまとめる。</p>														
<p>知識及び技能</p> <p>○食品の特徴、調理上の性質及び調理による成分の変化についての知識を身に付ける。</p> <p>○輸入食品や様々な加工食品など多種多様な食品の中から、目的に応じて適切な選択ができる。</p>	<p>思考力、判断力、表現力等</p> <p>○食品の特徴や調理上の性質を科学的に考察する。</p> <p>○食品について安全や衛生に配慮した適切な判断ができる。</p> <p>○食品の生産・流通・加工などの現状における課題について考えをまとめる。</p>																
<p><u>観点別評価規準</u></p> <table border="1"> <tr> <td> <p>知識・技能</p> <p>①各食品の特徴、調理上の性質及び調理による成分の変化についての知識を身に付けている。</p> <p>②輸入食品や様々な加工食品などを、目的に応じて適切な選択をすることができる。</p> </td> <td> <p>思考・判断・表現</p> <p>①各食品の特徴や調理上の性質について、課題を設定している。</p> <p>②食品に関する安全や衛生について考え、工夫している。</p> <p>③食品に関する安全や衛生について、実践を評価したり、改善したりしている。</p> <p>④食品の生産・流通・加工などの現状における課題について、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している。</p> </td> <td> <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>①食品の特徴や調理上の特性を踏まえた安全で適切な選択の仕方について、主体的に取り組もうとしている。</p> </td> </tr> </table>		<p>知識・技能</p> <p>①各食品の特徴、調理上の性質及び調理による成分の変化についての知識を身に付けている。</p> <p>②輸入食品や様々な加工食品などを、目的に応じて適切な選択をすることができる。</p>	<p>思考・判断・表現</p> <p>①各食品の特徴や調理上の性質について、課題を設定している。</p> <p>②食品に関する安全や衛生について考え、工夫している。</p> <p>③食品に関する安全や衛生について、実践を評価したり、改善したりしている。</p> <p>④食品の生産・流通・加工などの現状における課題について、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>①食品の特徴や調理上の特性を踏まえた安全で適切な選択の仕方について、主体的に取り組もうとしている。</p>													
<p>知識・技能</p> <p>①各食品の特徴、調理上の性質及び調理による成分の変化についての知識を身に付けている。</p> <p>②輸入食品や様々な加工食品などを、目的に応じて適切な選択をすることができる。</p>	<p>思考・判断・表現</p> <p>①各食品の特徴や調理上の性質について、課題を設定している。</p> <p>②食品に関する安全や衛生について考え、工夫している。</p> <p>③食品に関する安全や衛生について、実践を評価したり、改善したりしている。</p> <p>④食品の生産・流通・加工などの現状における課題について、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>①食品の特徴や調理上の特性を踏まえた安全で適切な選択の仕方について、主体的に取り組もうとしている。</p>															
<p><u>教材範囲</u></p> <p>教科書 p 80～91</p>	<p><u>内容のまとめり I</u></p> <p>(2) フードデザインの構成要素 イ 食品</p> <p>(3) フードデザイン実習 イ 食品の選択と調理</p>	<p><u>学習時期 (予定)</u></p> <p>年度当初～7月中旬</p>	<p><u>配当時間</u></p> <p>30時間</p>														
<p><u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u></p>	<p><u>観点別学習評価</u></p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">知・技</th> <th colspan="2">思・判・表</th> <th colspan="2">態度</th> </tr> <tr> <th>規準</th> <th>評価方法</th> <th>規準</th> <th>評価方法</th> <th>規準</th> <th>評価方法</th> </tr> </table>				知・技		思・判・表		態度		規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法	<p><u>備考</u></p>
	知・技		思・判・表		態度												
規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法												
<p>2節 食品の生産と流通</p>	<p>①②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・ワークシート</li> </ul>	<p>①②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートやレポートにおける記述</li> </ul>	<p>③④</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> </ul>	<p>③</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・行動観察</li> <li>・提出状況</li> </ul>												
<p>第6章 フードデザイン実習</p>	<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> </ul>	<p>③</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・旬の食材を使った調理 (草もち)</li> <li>・和食 (炊き込みご飯・茶碗蒸し・酢の物)</li> <li>・洋食 (クリームパスタ・野菜サラダ・二色ゼリー)</li> <li>・中華 (餃子・わかめスープ)</li> <li>・マドレーヌ</li> <li>・中華おこわ</li> <li>・中華 (青椒牛肉絲・卵スープ・蒸しパン)</li> </ul>												

(2) 単元：第5章 料理様式とテーブルコーディネート

<p>単元の目標</p> <p>知識及び技能</p> <p>○日本料理、西洋料理及び中国料理など代表的な料理様式について、それぞれの特徴や献立構成を理解する。 ○食事を心豊かにおいしく食べるために、テーブルコーディネートがあることを理解する。 ○日本料理、西洋料理及び中国料理など代表的な料理様式について、それぞれの食器の種類や特徴、盛り付け方など、料理に応じた適切な選択ができる。</p>		<p>思考力、判断力、表現力等</p> <p>○献立作成の要点や手順などを踏まえ、目的や条件に応じた献立について考察し、工夫する。 ○食事のテーマに応じたテーブルセッティングについて考察し、工夫する。</p>
<p>観点別評価規準</p>		
<p>知識・技能</p> <p>①日本料理、西洋料理及び中国料理など代表的な料理様式について、それぞれの特徴や献立構成を理解している。 ②食事を心豊かにおいしく食べるために、テーブルコーディネートがあることを理解している。 ③日本料理、西洋料理及び中国料理など代表的な料理様式について、それぞれの食器の種類や特徴、盛り付け方など、料理に応じた適切な選択についての技術を身に付けている。</p>	<p>思考・判断・表現</p> <p>①目的や条件に応じた献立について問題を見いだして課題を設定している。 ②目的や条件に応じた献立について考え、それに応じたテーブルコーディネートを工夫している。 ③献立作成やテーブルコーディネートについて、実践を評価したり、改善したりしている。 ④食事を心豊かにおいしく食べるための課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>料理様式や献立作成、テーブルコーディネートについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>※提出物の提出状況やアンケートへの回答状況、感想記入状況等より、日常的に評価する。</p>

<p>教材範囲</p> <p>教科書 p 116～139</p>	<p>内容のまとめり I</p> <p>(2) フードデザインの構成要素 ア 食事テーマの設定と献立作成 ウ 料理様式と献立 オ テーブルコーディネート (3) フードデザイン実習 ウ テーブルコーディネートとサービスの実習</p>	<p>学習時期(予定)</p> <p>9月中旬～12月中旬</p>	<p>配当時間</p> <p>20時間</p>
----------------------------------	--	-----------------------------------	-------------------------

学習活動、学習のねらい、学習形式等	観点別学習評価						備考
	知・技		思・判・表		態度		
	規準	評価方法	規準	評価方法	規準	評価方法	
1 節 料理様式と献立	①		①② ③				<ul style="list-style-type: none"> <li>和食(野菜の煮物・ねじ梅・いわしのつみれ汁)</li> <li>洋食(鶏肉のトマトソース煮込み・コンソメスープ・パバロア)</li> <li>和食(栗ごはん・かに絹田巻き・(かつらむき・黄身酢)・吉野鶏の吸い物)</li> <li>テーブルコーディネート(和食・洋食)</li> <li>郷土料理講習会</li> <li>行事食(ローストチキン・ブッシュドノエル・コンソメスープ)</li> <li>おもてなし料理の献立作成</li> </ul>
2 節 テーブルコーディネート	②		④				
第6章 フードデザイン実習		<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>ワークシート</li> <li>行動観察</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ノートやレポートにおける記述</li> <li>行動観察</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>行動観察</li> <li>提出状況</li> </ul>	

(3) **単元：第7章 食育**

<u>単元の目標</u> <p style="text-align: center;">知識及び技能</p> <p>○食育を推進することの重要性を理解する。 ○家庭や学校及び地域で食育推進活動を推進するための関連する技術を身に付ける。</p>		<p style="text-align: center;">思考力、判断力、表現力等</p> <p>○家庭や学校及び地域における食育の推進について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。 ○食育と食育活動について自ら学び、家庭や社会の人々の健康の保持増進や健全な食生活の実現を図るため、ホームプロジェクトなどを通して、食育の推進に主体的かつ積極的に取り組む。</p>			
<u>観点別評価規準</u>					
<p style="text-align: center;">知識・技能</p> <p>①食育を推進することの重要性を理解している。 ②家庭や学校及び地域で食育推進活動を推進するための関連する技術を身に付けている。</p>		<p style="text-align: center;">思考・判断・表現</p> <p>①食育の推進について、問題を見出して課題を設定している。 ②食育と食育活動について考え、工夫している。 ③健全な食生活の実現について、実践を評価したり、改善したりしている。 ④食育の推進について、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している。</p>			
		<p style="text-align: center;">主体的に学習に取り組む態度</p> <p>①食育の推進について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。  ※提出物の提出状況やアンケートへの回答状況、感想記入状況等より、日常的に評価する。</p>			
<u>教材範囲</u> 教科書 p 232～235		<u>内容のまとめり I</u> (4) 食育と食育推進活動 ア 食育の意義 イ 家庭や地域における食育推進活動			
		<u>学習時期 (予定)</u> 1月中旬～3月中旬	<u>配当時間</u> 30時間		
<u>学習活動、学習のねらい、学習形式等</u>		<u>観点別学習評価</u>		<u>備考</u> ・ホームプロジェクト ・おもてなし料理の献立作成 (お世話になって人への供食)	
		<p style="text-align: center;">知・技</p> <p>規準   評価方法</p> <p>①②   ③   ・定期考査 ④   ・ワークシート ⑤   ・行動観察</p>	<p style="text-align: center;">思・判・表</p> <p>規準   評価方法</p> <p>②③      ・ノートやレポートにおける記述 ①②   ・行動観察 ③  </p>		<p style="text-align: center;">態度</p> <p>規準   評価方法</p> <p>   ・ワークシート    ・行動観察    ・提出状況</p>
1節 食育の意義と推進活動					
第6章 フードデザイン実習					